

国立国語研究所学術情報リポジトリ

Research Report on Kisogawa Dialect : Endangered Languages and Dialects in Japan

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-11-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002438

国立国語研究所共同研究報告書

日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成
木曽川方言調査報告書



青井隼人・木部暢子 [編]

2019年3月

はじめに

国立国語研究所では、2016年に共同研究プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」（人間文化研究機構・機関拠点型基幹研究プロジェクト）と「方言の記録と継承による地域文化の再構築」（人間文化研究機構・広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」）をスタートさせ、各地の方言の収集と記録を行っています。このプロジェクトの前身は、2010年に始まった「消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究」（2010年～2015年）です。そのときからの調査を含めると、これまで、沖縄県宮古島・久米島、鹿児島県喜界島・与論島・沖永良部島、東京都八丈島、島根県出雲・隠岐の島、宮崎県椎葉村、石川県白山市白峰、愛知県一宮市木曾川、青森県むつ市の12の地域で合同調査を行なってきました。本書は、そのうちの木曾川方言調査（2017年8月）の調査報告書です。

調査の折りには、たくさんの方にお世話になりました。お忙しいなか、木曾川商工会館まで足を運んでくださり、親切に方言を教えてくださいました方々に深く御礼申し上げます。みなさんのおかげで、このような報告書を作成することができました。深く感謝申し上げます。

この報告書の内容は、木曾川方言全体から見ると、ごく一部のわずかなものにすぎませんが、方言の研究や記録・保存の資料として、少しでも多くの方々に使っていただければ幸いです。なお、この報告書は国立国語研究所ホームページの上記プロジェクトのページでPDF版を公開しています。こちらもぜひ、ご覧ください。

2019年3月15日

人間文化研究機構 国立国語研究所 木部 暢子

「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」

「方言の記録と継承による地域文化の再構築」

愛知県木曽川方言調査報告書

目次

概要	1
調査報告	
平子達也・久保蘭愛・山口響史「木曽川方言文法概説」	7
木部暢子「木曽川方言の疑問文の文末音調」	71
資料	
基礎語彙集	81
文法項目データ集	129

概要

1. 目的

本報告書は、国立国語研究所が2017年8月に愛知県一宮市木曽川町でおこなった調査の結果を報告するものである。本調査は、国立国語研究所における「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」(機関拠点型基幹研究プロジェクト)および「方言の記録と継承による地域文化の再構築」(人間文化研究機構・広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」)という2つのプロジェクトの共同研究として実施された。それぞれのプロジェクトの目的は以下のとおりである(国立国語研究所のホームページより)。

「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」

いま、世界中のマイナー言語(規模の小さな言語)が消滅の危機に瀕しています。現在、6,000から7,000ある世界の言語のうち、半数がこの100年のうちに確実に消滅し、最悪の場合、10分の1、20分の1にまで減ると言われています。その背景には、人口の都市集中化により周辺地域の人口が減少してしまったこと、社会的・経済的理由によりマイナー言語を使っていた人々がその言語の使用をやめてしまったこと、災害や紛争により人々が生まれた土地を離れなければならないことなどの状況があります。

マイナー言語の消滅に関しては、次のような意見もあります。言語の消滅は社会変化の結果であってしかたがない。あるいはもっと積極的に、言語は統一された方が便利だ。危機言語を守る必要はない。

しかし、そもそも、なぜ、言語が多様になったのか考えてみて下さい。おそらく、各地の言語は地域の自然や人々の生活、ものの考え方などに基づいて、長い時間をかけて形成されていったのだと思われます。それらが消滅するということは、長い歴史の中で醸成された人類の智慧が失われてしまうことを意味します。生物の多様性が地球を豊かにしているのと同じように、言語の多様性は人類を豊かにしているのです。

このような状況に警鐘を鳴らしたのが、2009年のユネスコの「消滅危機言語」の発表です。2,500の消滅危機言語のリストの中には、日本で話されている8つの言語—アイヌ語、八丈語、奄美語、国頭語、沖縄語、宮古語、八重山語、与那国語—が含まれています。しかし、消滅が危惧されるのはこれだけではありません。日本各地の伝統的な方言もまた、消滅の危機にあります。これ

らを記録し、その価値を訴え、継承活動を支援することがこのプロジェクトの目的です。

「方言の記録と継承による地域文化の再構築」

地域社会の変貌により、地域の貴重な文化資源である方言が急速に衰退しつつある。本研究では、自治体や各地の大学・研究者と連携して地域の方言の記録や方言の継承活動を行うことにより、方言を主軸とする地域文化の再構築の可能性と方言のもつ文化的意義について研究を行う。

国立国語研究所では、2010 年から奄美沖縄地方、八丈島、出雲、宮崎県椎葉、島根県隠岐の島、石川県白峰などで合同調査をおこなってきた。今回の木曽川調査は東海地方における初の合同調査である。

2. 調査地点について

本調査は愛知県一宮市木曽川町でおこなわれた。木曽川町は、愛知県の北西端、岐阜県との県境に位置する（位置については地図 1・2 も参照）。西には町名の由来にもなった木曽川が流れている。2018 年 4 月現在の人口は 34,328 名である（一宮市ホームページ¹より）。

現在の木曽川町は、一宮市の地域のひとつであるが、平成 17 年（西暦 2005 年）に一宮市に編入されるまでは独立した地方自治体だった。その始まりは、明治 34 年（西暦 1906 年）、旧黒田町（曾根村を除く）・玉ノ井村・里小牧村が合併して生まれた黒田町に遡る。それから 4 年後の明治 43 年（西暦 1910 年）、「木曽川町」に町名が変更された。なお、旧木曽川町は、東西約 4 km（玉ノ井～門間）、南北約 3 km（玉ノ井～里小牧）のほぼ長方形の地域で、面積は 9.05 km² である。

門間遺跡の遺物などから、木曽川町域に人々が住み始めたのは、弥生時代から古墳時代前期にかけての頃だったと推察される。古くから、木曽川の堆積作用によって形成された肥沃な土地が人々に恩恵をもたらしてきた一方で、度重なる木曽川の氾濫に人々は悩まされ続けてきたことが窺える。

¹ http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/002/869/30.pdf（閲覧日：2018/10/31）



地図1 愛知県一宮市木曽川町の位置（日本全図）



地図2 木曽川町の位置（愛知県）

3. 調査について

調査は2017年8月28日（月）と29日（火）に木曽川商工会館および木曽川資料館でおこなわれた。調査内容は以下のとおりである。

調査内容： 文法項目

- 数・代名詞
- 指示詞・疑問詞
- アスペクト・テンス
- ヴォイス
- 文タイプ
- 待遇
- 形容表現・名詞述語

基礎語彙

用言の活用

以下の方々が我々に方言を教えてくださいました。年齢は調査当時である。なお、ここにお名前を掲載していない方々からも方言を教えてくださいました。みなさまに深くお礼申し上げます。

川井達朗さん（1950年生，67歳）

光崎邦雄さん（1940年生，76歳）

丹下豊子さん（1961年生，56歳）

寺西洋二さん（1933年生，83歳）

丹羽桃慶さん（1938年生，79歳）

野村光司さん（1943年生，74歳）

安田知里さん（1972年生，45歳）

山口昭雄さん（1942年生，74歳）

調査者は以下のとおりである。所属は調査当時のものである。

青井隼人（東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所）

大槻知世（国立国語研究所），木部暢子（国立国語研究所）

久保蘭愛（愛知県立大学），中西太郎（目白大学），原田走一郎（国立国語研究所）

平子達也（駒澤大学）山口響史（名古屋大学）

また以下に挙げる学生が公募により集められ、調査に参加した。

石田晴香，伊藤有里，下廣日向，西尾真優，待田奈美，前田美紀，都築舞音
服部和佳子，満永璃久（以上，愛知県立大学学生）
小林ゆかり，陶天龍，高城隆一（以上，東京外国語大学）
カルリノ・サルバトーレ（一橋大学）

参考文献

(1981)『木曽川町史』，木曽川町．

謝辞

調査にご協力くださいました方々に心よりお礼申し上げます。とくに元木曽川町長の山口昭雄さんには調査の調整でお世話になっただけでなく，事前研修では学生たちの前で貴重な話を聞かせてくださいました。ありがとうございました。

木曽川方言文法概説

平子 達也¹ 久保蘭 愛² 山口 響史³

0 はじめに

本稿は、愛知県旧葉栗郡木曽川町域（現在は同県一宮市木曽川町）で話される方言（以下、木曽川方言）について、その文法の概略を記述するものである。本稿で用いるデータは、2017年8月に行われた本プロジェクトの合同調査で得られたデータと、本稿の筆者らによる調査で得られたデータである。

さて、本稿には、合同調査や筆者らの調査にご協力いただいた地元の皆様に対する調査成果の還元と、本プロジェクトの調査・研究の中間報告という2つの側面がある。

地元の皆様にとっては、やや専門的な内容ではあるかもしれないが、ご協力いただいた調査の成果がどのような形でまとめられたかをご覧ください。「今後の課題」等とされている部分も多い。それらを明らかにするためにも、今後も我々の調査・研究に引き続きご協力いただければ幸いである。

研究者・専門家の皆様には、是非とも批判的な目で読んでいただき、記述の不適切・不十分な点について、ご意見をいただきたいと思います。特に、本プロジェクトの関係者には、本プロジェクトの共通調査票を用いた調査によって、この方言の文法の何がどこまで明らかになり、また、何が明らかになっていないのかということ意識して読んでいただければと思う。その意味では、本プロジェクトの共通調査票を用いた調査に基づいて、文法概説を記述する1つの試みとして本稿を位置付けることができるかもしれない。

筆者らとしては、ひとまず文法概説という形でここまでの調査・研究の成果をまとめることで、木曽川方言の特徴について、大まかにでも把握できたという思いがある。それとともに、やはり調査・研究が不十分なところが多々あると感じている。本稿を礎として、木曽川方言のさらなる調査・研究を進めていきたい。

なお、本稿の執筆に際しては、窪蘭（監修）・森他（編）(2015)、小西(2016)、下地(2018)、占部(2018)など、既存の日本・琉球諸方言の記述文法書および下地理則氏が作成したwebページ「消滅危機方言の記述文法作成支援」⁴を参考にした。

¹ ひらこ たつや：駒澤大学・講師 ttyhrk43@gmail.com

² くぼぞの あい：愛知県立大学・准教授 i_kb2n@jps.aichi-pu.ac.jp

³ やまぐち きょうじ：愛知淑徳大学・講師 ykyoji@asu.aasa.ac.jp

⁴ <https://www.mshimoji.com/grammarwriting> (2019年1月31日閲覧)

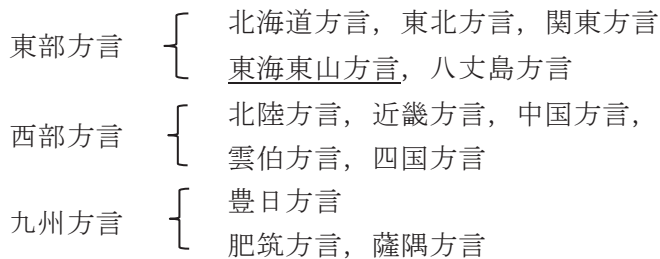
1 方言の概要

1.1 地理・系統

本稿で言う木曽川方言とは、愛知県旧葉栗郡木曽川町域において話される日本語の地理的変種のことである。木曽川町内に地域差が存在する可能性も否定はできないが、今回は、その詳細には立ち入らず、基本的には2017年8月に行われた本プロジェクトの合同調査と筆者らの調査で得られたデータを全て、木曽川方言のデータとして扱うこととする。

東條(1954)の分類によれば、木曽川方言を含む愛知県西部の方言（尾張・知多方言）は、同県東部の三河方言や岐阜県諸方言とともに、東海東山方言の一つに分類される。東海東山方言は、琉球諸方言を除く日本語諸方言を東部・西部・九州の3つに分類したときの、東部方言に分類されるものである（図1）。

図 1



一方、東條(1927)では、九州方言を除く本州の諸方言を東部・中部・西部の3つに分類し、東海東山方言は、北陸方言とともに中部方言に分類される。木曽川方言を含む東海東山方言の方言区画上の位置付けや、系統的な位置付けは、未だはつきりとしていないと言って良い。

ただし、同じ愛知県内の方言であっても、木曽川方言を含む尾張・知多方言と、県東部の三河方言とは系統が異なることは明らかである。詳細は省くが、アクセントその他の観点からすれば、尾張・知多の諸方言は岐阜県美濃地方の諸方言と系統的に近いことは明らかである。一方、三河方言は、さらに東西の2つに分けられ、そのうち、東三河方言は静岡西部（遠州）の諸方言と系統的に近いものと考えられる（金田一 1978）。

1.2 生業・文化

2005年4月、旧木曽川町は、旧尾西市とともに一宮市と合併をした。現一宮市域は、伝統的に繊維業が盛んであり、現在でも、繊維業に関わる人の割合が高いという（一宮市HPより⁵）。

1.3 話者数・危機の度合い

伝統的な木曽川方言を話す話者の数は、必ずしも明らかではないが、以下のように推計する

⁵ <http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/shisei/shinoshoukai/1002713.html>（2018年12月11日閲覧）

ことができよう。

愛知県一宮市の人口は、2018年4月現在で約38万5千人である。そのうち、旧木曽川町区の人口は約3万4千人であるが、一宮市市街地出身の筆者（平子）の感覚と、調査協力者の話から考えると、伝統的な木曽川町方言を話すのは60代後半以上の世代であると考えられる。一宮市全体で65歳以上の人口の割合は26.4%（木曽川町域のみの割合は不明）であるが、他地域からの移住者も多いことから考えると、伝統的な木曽川方言話者は、旧木曽川町区全体の人口の20%程度、つまり、6000～7000人程度かと考えられる。

話者数からすれば、危機の度合いは高くはないと考えられるが、筆者の両親の世代（70代前半から後半）においても、例えば主格助詞の=N（タローン(*taroR=N*)「太郎が」のン(=N))が使用されることは決して多くないと言う印象であり、況してや、50代以下の世代においては=Nはほとんど使用されない。また、アスペクト接辞-*joRr-*（アルキョール(*aruk-joRr-u*)「歩いている」のョール(-*joRr-*))や、当方言に特徴的なæ, y, œといった（標準語の二重母音に対応する）母音も、50代以下の世代ではほとんど観察されない。そのような観点から言えば、必ずしも世代間継承がなされているとは言えない状況にあり、危機の度合いは決して低くないと言える。

一方で、木曽川方言そのものではないが、尾張方言に関する記述の積み重ねは幾らかある（1.4節参照）。さらには、旧木曽川町時代に、当時の町長が各種の広報誌において「尾張弁講座」と題する記事を執筆するなど、方言に対する関心は地域全体にある程度根付いているようにも思われる。また、筆者（平子）の世代（30代前半）でも、「遅上がり」のアクセントや「相補型」の疑問文イントネーション体系（本報告書の木部論文を参照）など、尾張方言に特徴的と言える言語特徴は幾らか保存されている。再活性化は必ずしも容易ではないが、今回の合同調査と本報告書が、そのきっかけになる可能性は残されている。

1.4 主要な先行研究

木曽川方言それ自体のまとまった記述はこれまでにないが、尾張地方の諸方言については、愛知県教育委員会(1985)に旧西春日井郡師勝町大字高田寺（現北名古屋市高田寺）の方言に関する音韻論と形態論を中心としたまとまった記述がある。また、新修稲沢市史編纂会(1982)にも、尾張地域中部に位置する稲沢市方言に関する、音声・音韻と形態論を中心とした記述がある。その他に金田一(1978)など、アクセントを中心とした研究がいくつかある。また、文法記述や語彙集も、各地の市町村史等に見られるが、それらについては省略する。

2 音韻論

2. 1 音素目録

本方言の母音音素は以下の表 1 に示す通り 5 つである。

表1：木曽川方言の母音音素

	前	後
狭	i	u
	e	o
広	a	

音声的には, [æ:], [œ:], [y:] という音声が見れる。これらはそれぞれ, 標準語の /ai, ae/, /oi, oe/, /ui/ に対応する。一方, 本方言内部においては, /ai/, /oi/, /ui/ が表層において [æ:], [œ:], [y:] となっていると考えるべき現象は認められるが, /ae/ や /oe/ が [æ:], [œ:] となっていると認めうる証拠はない(2.4 節も参照)。ここでは, 仮に /ai/ → [æ:] という音韻規則を想定し, 例えば「大根」[dæ:kon] であれば, それは /daikoN/ という音素形(基底形)の音声的・表層的な現れであるとしておく。従って, ここでは /æ/, /œ/, /y/ という音素を認めることはしない。「赤い」であれば, //aka-i// → /akai/ → [akæ:] のような形態音韻規則を想定することにしたい。

長母音は, 母音音素に長母音音素 /R/ が続いたものとして解釈する。音声的長母音の音韻的解釈としては, 短母音音素が 2 つ並んだものとする解釈もあり得る。そして, 短母音音素が 2 つ並んだものとした方が音素の数は少なくなり, 音韻論的観点からは, その方が経済的であるとも言える。しかし, ここでは, 以下に示すように, 動詞否定形の形式に関する記述をより簡略にするために, 長母音音素 R を設定するものとする。

例えば, 子音語幹動詞 *kak-*「書く」の非過去否定形には, *kak-aN* と *kak-eseN* という形式がある。同様に, 母音語幹動詞 *mi-*「見る」や *de-*「出る」の場合にも, *mi-N*・*de-N* という形式の他に, *mi-RseN*, *de-RseN* という形式がある。また, 不規則動詞「来る」と「する」の場合には, *ko-N* と *ko-RseN*, *se-N* と *se-RseN* とがある(*si-N* と *si-RseN* という形式もあるが, 話者の感覚として「新しい」形式であるということなので, 今議論の外に置く)。

この時, 子音語幹動詞に接続する *-aN* に対して, *-N* を母音語幹動詞・不規則動詞に接続する異形態と認めることに大きな問題はないであろう。一方, 形式的には「～しはしない」という取り立て否定形に由来すると思われる *kak-eseN*, *mi-RseN*, *de-RseN*, *ko-RseN*, *se-RseN* の諸形式については, 長母音音素を認める立場をとれば, 子音語幹動詞に接続する *-eseN* に対し, *-RseN* という形式をその他の動詞に接続する異形態とすることができる。しかし, 仮に長母音音素を認めない立場をとれば, *-iseN* (*mi-iseN*), *-eseN* (*kak-eseN*, *de-eseN*, *se-eseN*), *-oseN* (*ko-oseN*) という 3 つの異形態を認めることになる。異形態の数としては, 長母音音素を認めるか否かで 1 つしか異ならないが, 長母音音素を認めない場合, *-aN* と *-N* に認められた「子音語幹」対「その他」という対立が見えにくくなる。なお考慮すべきことはあるが, 本稿ではひとまず, この点を重視して, 長母音を短母音が 2 つ並んだものとは解釈せず, 各母音音素に長母音音素 R が

続いたものと解釈をしておく⁶。

関連して、表層に現れる母音連続は[ai], [oi], [ui]は、基本的には、その連続する母音の間に形態素境界があり、また、音節境界があるものと解釈する⁷。この時、境界の前後にある形態素のうち、少なくともどちらか一方の形態素が自由形態素である（ex.「まな板」[mana.ita], *[manæ:ta];「戸板」[to.ita], *[tœ:ta]）。後に述べるアクセントの観点からも、これらの母音の間には音節境界（‘.’で表記）が存在するものと解釈される。

次に、子音音素の一覧を以下に示す。/g/は、原則として、語中で鼻濁[ŋ]、語頭では破裂音[g]で現れる。

表2：木曾川方言の子音音素

		両唇音	歯(茎)音	硬口蓋音	軟口蓋音	声門音
破裂音	無声	p	t		k	
	有声	b	d		g[g~ŋ]	
破擦音	無声		c[ts~tœ]			
	有声		z[dz~dz]			
摩擦音			s[s~œ]			h
共鳴音	鼻音	m	n			N
	接近音	w		j		
	はじき音		r[r]			

以下に、この方言のモーラ一覧を、本稿で用いる仮名表記とともに示す。

表 3-1：短母音を含むモーラ

音素表記	/a/	/i/	/u/	/e/	/o/
音声	a	i	u	e	o
仮名	ア	イ	ウ	エ	オ
音素表記	/pa/	/pi/	/pu/	/pe/	/po/
音声	pa	pi	pu	pe	po
仮名	パ	ピ	プ	ペ	ポ
音素表記	/pja/		/pju/		/pjo/
音声	p ^{ja} a		p ^{ju} u		p ^{jo} o
仮名	ピャ		ピュ		ピョ
音素表記	/ba/	/bi/	/bu/	/be/	/bo/
音声	ba	bi	bu	be	bo
仮名	バ	ビ	ブ	ベ	ボ

⁶ なお、-seNのみを取り立て否定由来の否定接辞として取り出し、その前の部分 kak-e-, miR-などを否定拡張語幹とする立場もあり得るが、今、その立場を積極的に支持する根拠もない（愛知県教育委員会 1985: 19-20 も参照）。本稿では、暫定的に上述のような分析を取っておく。

⁷ ただし、標準語の影響で現れていると思われる二重母音・母音連続もある。詳細は未調査。

音素表記	/bja/		/bjɯ/		/bjo/
音声	bja		b ^h ɯ		b ^h o
仮名	ビヤ		ビュ		ビョ
音素表記	/ma/	/mi/	/mu/	/me/	/mo/
音声	ma	mi	mu	me	mo
仮名	マ	ミ	ム	メ	モ
音素表記	/mja/		/mju/		/mjo/
音声	m ^h a		m ^h ɯ		m ^h o
仮名	ミヤ		ミユ		ミョ
音素表記	/ta/			/te/	/to/
音声	ta			te	to
仮名	タ			テ	ト
音素表記	/da/			/de/	/do/
音声	da			de	do
仮名	ダ			デ	ド
音素表記	/sa/	/si/	/su/	/se/	/so/
音声	sa	ɕi	su	se	so
仮名	サ	シ	ス	セ	ソ
音素表記	/sja/		/sju/	/sje/	/sjo/
音声	ɕa		ɕɯ	ɕe	ɕo
仮名	シヤ		シユ	シエ	ショ
音素表記	/ca/	/ci/	/cu/		/co/
音声	tsa	tei	tsu		tsɔ
仮名	ツア	チ	ツ		ツオ
音素表記	/cja/		/cju/	/cje/	/cjo/
音声	tea		teu	tee	teo
仮名	チャ		チュ	チェ	チョ
音素表記	/za/	/zi/	/zu/	/ze/	/zo/
音声	dza (~ za)	dzi (~ zi)	dzu (~ zu)	dze (~ ze)	dzo (~ zo)
仮名	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
音素表記	/zja/		/zju/	/zje/	/zjo/
音声	dza (~ za)		dzu (~ zu)	dze (~ ze)	dzo (~ zo)
仮名	ジャ		ジュ	ジェ	ジョ
音素表記	/na/	/ni/	/nu/	/ne/	/no/
音声	na	ni	nu	ne	no
仮名	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
音素表記	/nja/		/nju/		/njo/
音声	n ^h a		n ^h ɯ		n ^h o
仮名	ニヤ		ニユ		ニョ

音素表記	/ka/	/ki/	/ku/	/ke/	/ko/
音声	ka	ki	kɯ	ke	ko
仮名	カ	キ	ク	ケ	コ
音素表記	/kja/		/kju/		/kjo/
音声	kja		kju		kjo
仮名	キャ		キュ		キョ
音素表記	/ga/	/gi/	/gu/	/ge/	/go/
音声	ga ~ ŋa	gi ~ ŋi	gu ~ ŋu	ge ~ ŋe	go ~ ŋo
仮名	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
音素表記	/gja/		/gju/		/gjo/
音声	gja ~ ŋja		gju ~ ŋju		gjo ~ ŋjo
仮名	ギャ		ギュ		ギョ
音素表記	/ha/	/hi/	/hu/	/he/	/ho/
音声	ha	çi	ɸu	he	ho
仮名	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
音素表記	/hja/		/hju/		/hjo/
音声	ça		çu		ço
仮名	ヒャ		ヒュ		ヒョ
音素表記	/hwa/				/hwo/
音声	ɸa				ɸo
仮名	ファ				フォ
音素表記	/ra/	/ri/	/ru/	/re/	/ro/
音声	ra	ri	ru	re	ro
仮名	ラ	リ	ル	レ	ロ
音素表記	/rja/		/rju/		/rjo/
音声	rja		rju		rjo
仮名	リャ		リュ		リョ
音素表記	/ja/		/ju/		/jo/
音声	ja		ju		jo
仮名	ヤ		ユ		ヨ
音素表記	/wa/				
音声	wa				
仮名	ワ				

表 3-2 : 促音・撥音・長音(C は任意の子音, V は任意の母音)

音素表記	/Q/	/N/	/VR/		
音声	-CC-	n ~ m ~ ŋ ~ N	(C)a: など		
仮名	ッ	ン	アーなど		

表 3-3：二重母音を含む音節(2 モーラ)

音素表記	/ai/		/ui/		/oi/
音声	(C)æ: ~ (C)ɛ:		(C)y: ~ (C)yi		(C)œ: (~ we:)
仮名	アエー, カエーなど		ウィー, クィーなど		オエー, コエーなど

なお、以下の例文においては、1 行目に音声表記としての仮名表記、2 行目に形態素分析を施した音素表記、3 行目に各形態素の意味・機能、4 行目に標準語訳、の順で表記をする。

2. 2 音節構造とモーラ

木曽川方言において認められる音節構造は、C を子音、V を母音、S を半母音とすれば、 $(C_1)(S)V(C_2)$ と示すことが出来る。このとき、V には長母音も含まれる。なお、語頭の子音連続 CS-は第 2 子音が/j/の、いわゆる拗音音節の場合に限られる。なお、CjV-のときの C の位置に/w/と/j/は立たない。また、C₂ の位置に立ちうるのは、/N/（撥音）と/Q/（促音）のみで、それらはモーラとしては 1 拍を成す。ただし、語末音節の場合に C₂ の位置に現れるのは/N/のみである。単純語に於いては、CV 構造が最も多いと思われるが、定量的な検査には至っていない。

この方言では、他動詞の直接目的語となる名詞は対格=o を伴うこともあるが、基本的に無助詞で現れる。ただし、1 拍名詞は末尾の母音が長く発音される形で現れる（7.2.3 節）。これは、諸方言で見られる「音韻的な語は 2 拍以上なければならない」という最小語制約の反映とも思われる。しかし、7.2.3 節の(36b)にあるように、筆者らの調査では、この対格における語末母音の長呼は、1 拍名詞以外でも観察されている。本稿では、ひとまず、この方言に最小語制約があるか否かについては議論を保留し、今後の研究課題としたい。

2. 3 アクセントとイントネーション

木曽川方言のアクセント体系は、東京方言と同じく、下げ核（上野 1977）の有無と位置が弁別的な多型アクセント体系である。n 拍のアクセント単位に、可能なアクセント型のパターン数(P_n)は、 $P_n=n+1$ と定式化することができる。一方、類⁸の統合パターン（類別体系）からすると、木曽川方言のアクセントは内輪式アクセントに分類されるもので、中輪式アクセントの西三河方言や東京方言、外輪式アクセントの東三河方言と対立を成す。

今、各類の語がどのようなアクセント型で現れるかを、中輪式（東京方言）、外輪式（東三河の新城市方言、平子 2017）と比較する形で、表4～6にまとめる。表中、[はピッチの上昇位置を、] はピッチの下降位置示す。理解の便のため、挙例は仮名書き（一部漢字）とする。

⁸ 文献資料に反映されたものも含めた日本語本土諸方言アクセントの対応にもとづき、日本本土諸方言アクセントの祖体系に再建されるアクセント型によって区別されるグループのことを「類（アクセント語類）」と呼ぶ。各類は 2 拍 1 類・2 拍 2 類など番号で呼ばれる。そして、ここに言う類別体系とは、類の統合の在り方を言う。金田一(1974)を参照。

表4：1拍名詞のアクセント

	1類	2類	3類
木曽川	蚊[ガ]	[日]ガ	[木]ガ
東京	蚊[ガ]	日[ガ]	[木]ガ
新城	蚊[ガ]	日[ガ]	[木]ガ

表5：2拍名詞のアクセント

	1類	2類	3類	4類	5類
木曽川	カゼ[ガ]	ウ[タ]ガ	ア[シ]ガ	[フ]ネガ	[サ]ルガ
東京	カ[ゼ]ガ	ウ[タ]ガ	ア[シ]ガ	[フ]ネガ	[サ]ルガ
新城	カ[ゼ]ガ	ウ[タ]ガ	ア[シ]ガ	[フ]ネガ	[サ]ルガ

表6：3拍名詞のアクセント

	1類	2類	4類	5類	6類	7a類	7b類
木曽川	サカ[ナガ]	アズ[キ]ガ	アタ[マ]ガ	[イ]ノチガ	ウサ[ギガ]	[カ]プトガ	クス[リガ]
東京	サ[カナガ]	ア[ズキ]ガ	ア[タマ]ガ	[イ]ノチガ	ウ[サギガ]	[カ]プトガ	ク[スリガ]
新城	サ[カナガ]	ア[ズキガ]	ア[タ]マガ	[イ]ノチガ	ウ[サギガ]	[カ]プトガ	ク[スリガ]

この方言の句音調は、東京方言と異なり、原則、句頭2拍目の後でピッチが上昇する形で実現する。一般に「遅あがり」として知られる現象である。聴覚印象的には、句頭から句頭3拍目にかけて、徐々にピッチが上昇していくようにも感じられる。なお、句頭2拍目に、撥音、長音がある場合は、句頭から高いピッチで実現する点は、東京方言と変わらない。

また、例えば「まな板」がmana[itaであり、ma[naitaではないことは、当該の語中に形態素境界をまたいだ形で含まれるaiという母音連続が、同一音節内に含まれないことを示唆する。(第1音節が軽音節で)第2音節が長母音や促音・撥音を含む重音節である場合に、句頭の上昇が句頭1拍目の後に見られることと比較されたい(例：wa[einta]:「私たち」、o[mæ:saN「貴方様」)。

2.4 主な形態音韻規則

ここでは、主な形態音韻規則として、連濁と音便現象、母音融合について見る。

2.4.1 連濁

木曽川方言においては、多くの日本語諸方言と同様に複合語を形成する際に連濁現象が見られる。大まかには、木曽川方言における連濁は、複合語後部要素の初頭子音が無声阻害音である場合に、対応する有声阻害音に交替するものである。つまり、/k/は/g/、/t/は/d/、/s/・/c/は/z/に交替する。ただし、/h/は/b/と交替する。以下に、一部例をあげる。

- (1) a. /k/ : kame 「甕」 → g : mizu+game 「水甕」 (水+甕)
 b. /c/ : ci 「血」 → z : hana+zi 「鼻血」 (鼻+血)
 c. /h/ : hoki 「箒」 → b : niwa+boki 「庭箒」 (庭+箒)

詳細な調査には至っていないが、連濁現象は後部要素が外来語である場合には起こらない。
 /p/が語頭に現れるのは、専ら外来語の場合であり、それ故/p/が連濁によって/b/と交替することはない。

2.4.2 音便

ここにいう「音便」とは、子音語幹動詞(4.1節参照)に過去接辞//ta//や中止形副動詞接辞//te//などが続く場合に、語幹末子音に生じる音素交替現象のことである。以下のように、まとめられる。

表 7 : 子音語幹動詞における音便現象

語幹末子音	語例	活用形例(過去形)	作り方
k	書く kak-u	/kai-ta/	/k/を/i/にする。但し、「行く」ik-u は例外的に/k/をQ(促音)にする。
g	嗅ぐ kag-u	/kai-da/	/g/を/i/にする。接辞初頭の/t/は/d/となる。
s	出す das-u	/dai-ta/	/s/を/i/にする。
c	立つ tac-u	/taQ-ta/	/c/をQ(促音)にする。
n	死ぬ sin-u	/sin-da/	/n/をN(撥音)にする。接辞初頭の/t/は/d/となる。
b	飛ぶ tob-u	/toN-da/	/b/をN(撥音)にする。接辞初頭の/t/は/d/となる。
m	飲む nom-u	/non-da/	/m/をN(撥音)にする。接辞初頭の/t/は/d/となる。
r	切る kir-u	/kiQ-ta/	/r/をQ(促音)にする。
w/ø	買う ka(w)-u	/kaQ-ta/	/w/をQ(促音)にする。

2.4.3 母音融合

既に述べたように、/ai/, /oi/, /ui/は、音声的には[æ:], [œ:], [y:]という音声で現れる。これらはそれぞれ、標準語の/ai, ae/, /oi, oe/, /ui/に対応する。

本方言内部において、/ai/, /oi/, /ui/が表層で[æ:], [œ:], [y:]となっていると考えるべきと考えるのは、「赤い」という形容詞の非過去形が、[akæ:]という形で現れることにある。種々の証拠から、「赤い」という形容詞の語幹は//aka//であり、非過去終止形の接辞は//-i//と考えられる。それ故、//aka-i// → /akai/ → [akæ:]のような形態音韻規則を想定することにしたい。例えば「大根」[dæ:kɔN]であれば、それは/daikoN/という音素形(基底形)の音声的・表層的な現れだと考える。

一方で、/ae/や/oe/が[æ:], [œ:]となっていると認めうる証拠はない。よって、ここでは表層において[æ:], [œ:], [y:]という音声で現れるものは全て基底に於いて、/ai/, /oi/, /ui/という二重母音であるものと考えておく。なお、ここではjo-「良い」の非過去形//jo-i//が、[e:]と実現されるのも、/oi/ → [œ:]の音韻規則に準ずるものと考ええる。

また、[hajo:] (/haja-u/「早く」)から、形容詞の副詞形を作る接辞//-u//について、//a-u// → /o(R)/ [o(:)] という形態音韻規則を想定しておくことにする。加えて、[jasæu:] (/jasasi-u/「優しく」)や[jw:] (/i-u/「言う」)から、//i-u// → /ju(R)/ [ju(:)] という音声化規則を想定する。

3 名詞の構造

3.1 名詞の内部構造

名詞語幹に続く接辞としては、これまでのところ、複数を表す *-(N)taR / -raR / -taci* と、曖昧化を表す *-naNka* が認められ、この順で続く。*-(N)taR / -raR* の使い分けの条件や、どのような名詞にも続くことができるのか等は不明である。ただ、*-(N)taR / -raR* は、動物や無生物を複数化するのに用いにくいという話者はいた。

- (2) a. ワシンター b. ダレンター c. ダレラー
 wasi-NtaR dare-NtaR dare-raR
 1-PL 誰-PL 誰-PL
 「私たち」 「誰たち」 「誰たち」

3.2 代名詞の構造と体系

人称代名詞を、発話場面における話し手（1人称）、聞き手（2人称）、それ以外（3人称）を指示するのに用いられる専用の形式であるとすれば、木曾川方言には、1人称代名詞と2人称代名詞は存在するが、3人称代名詞は存在しないと言える。3人称の指示対象は、後に述べる指示代名詞や固有名詞などによって指示され、3人称を指示するための義務的な形式はない。

今回の調査では、1人称代名詞に *wasi*, *ore*, *watasi*, *boku* の4形式が確認されたが、伝統的な方言形として *wasi* が最もよく用いられるようであり、*wasjaR* という提題形式も見られる。

2人称代名詞としては、*omai* [omæ:], *aNta*, *omasaN* がある。*omai* を目上の者に対して用いることはできず、*omasaN* は聞き手に対して、やや敬意を示すような言い方である。この3つの中では、*aNta* の使用範囲が最も広いようで、聞き手の性別や敬意の有無に関わらず、使用可能である。

なお、再帰代名詞（「自分」）は *zibuN* で表される。

- (3) タローワ {オトトニ / オトトエー} ジブンノ イエオ ヤッタ
 taroR=wa {ototo=ni / ototo=i} zibuN=no ie=o jaQ-ta
 太郎=TOP {弟=DAT / 弟=LOC} RFL=GEN 家=ACC やる-PST
 「太郎は弟に自分の家をやった」

指示代名詞・疑問代名詞については、6節で述べる。

3.3 数詞

数詞は、格助詞（7.2節）を伴い、項となることができたり、属格助詞 *=no* を伴って名詞を修飾することできたりするなど、一般の名詞と同様の振る舞いをする。もちろん、そのままコピュラ=*ja*, *=da* をとることもあったと考えられるが、具体例は得られていない。

- (4) a. アノ カシ {アンタラ / アンタタチ} フタリガ タベタノ
 ano kasi {aNta-ra / aNta-taci} hutari=ga tabe-ta=no
 あの 菓子 {2-PL / 2-PL } 二人=NOM 食べる-PST=SFP
 「あの菓子は、あなたたち二人が食べたのですか？」
- b. フタリノ オトコガ ナグリアッタ
 hutari=no otoko=ga nagur-i+aQ-ta
 二人=GEN 男=NOM 殴る-INF+合う-PST
 「二人の男が殴り合った」

上記のような名詞としての用法以外に、副詞的に用いられる用法もある。この時、格助詞を伴わないのが普通である。

- (5) オトコガ ヒトリ アルイートル
 otoko=ga hitori arui-tor-u
 男=NOM 一人 歩く-PF-NPST
 「男が一人歩いている」

数詞は、形態論的には数詞語幹と類別接辞をとる構成となっている。以下に、代表的な数詞である「～人」(人間),「～つ」(一般的に物質の個数を数える場合に用いられる)の1から9までの表現をあげる。

表 8：数詞の表現の例

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人	<i>hitori</i>	<i>hutaRri</i>	<i>saN-nin</i>	<i>joQtari</i> <i>jo-niN</i>	<i>go-niN</i>	<i>roku-niN</i>	<i>hici-niN</i>	<i>haci-niN</i>	<i>ku-niN</i>
一般	<i>hito-cu</i>	<i>hutaR-cu</i>	<i>miQ-cu</i>	<i>joQ-cu</i>	<i>icu-cu</i>	<i>muQ-cu</i>	<i>nana-cu</i>	<i>jaQ-cu</i>	<i>kokono-cu</i>

表 8 から明らかなように、「～人」の場合には、「1 人」「2 人」「4 人」の場合に、*-ri* という特別な形式が見られる一方、他は漢語由来の形式 (*saN*, *go*, *roku*・・・など) に *-niN* を付した形式が用いられる (10 以上の場合も同様)。ただし、「4 人」の場合にはその両方が用いられる。漢語由来の形式が用いられるのは、他の類別接辞 (例えば *-hiki* 「～匹」(動物一般)) が用いられる場合でも同じであると考えられるが、データは得られていない。

4. 動詞の構造

4. 1 基本構造

動詞は、大きく文終止の形としての定動詞と、副詞節を形成する副動詞とに分けられる。定動詞は、テンス（時制）・ムードのいずれかで屈折（活用）し、また、多くの場合、肯定・否定によっても屈折する。なお、定動詞形は、連体修飾節を形成するのに用いられ、その後に種々の形式名詞を伴うことで準体節を形成するのにも用いられる。また、接続助詞を伴い、副詞節を形成する場合もある（8.1.3 節と 10.1 節）。副動詞は時制で屈折せず、基本的に文終止の機能は持たない（ただし、10.4 節参照）。

4. 1. 1 定動詞（文末終止形）の屈折

後に述べるように、木曾川方言の動詞は、規則的な活用をする動詞として、子音語幹動詞・母音語幹動詞がある。この他に *ku-*「来る」と *su-*「する」という不規則動詞がある。また、派生接辞によって派生された語幹は、子音語幹・母音語幹のどちらかに分類される。なお、コピー動詞(=ja)については、4.2 節で詳しく述べる。

表 9：定動詞の屈折

ムード	テンス	肯否	子音語幹	母音語幹		不規則	
			<i>kak-</i> 「書く」	<i>mi-</i> 「見る」	<i>de-</i> 「出る」	<i>ku-, ko-, ki-</i> 「来る」	<i>su-, se-, si-</i> 「する」
中立	非過去	肯定	<i>kak-u</i>	<i>mi-ru</i>	<i>de-ru</i>	<i>ku-ru</i>	<i>su-ru</i>
		否定	<i>kak-aN</i> <i>kak-eseN</i> ~ <i>kak-eheN</i>	<i>mi-N</i> <i>mi-RseN</i> ~ <i>mi-RheN</i>	<i>de-N</i> <i>de-RseN</i> ~ <i>de-RheN</i>	<i>ko-N</i> <i>ko-RseN</i> ~ <i>ko-RheN</i>	<i>se-N</i> ~ <i>si-N</i> <i>se-RseN</i> ~ <i>se-RheN</i> ~ <i>si-RseN</i> ~ <i>si-RheN</i>
	過去	肯定	<i>kai-ta</i>	<i>mi-ta</i>	<i>de-ta</i>	<i>ki-ta</i>	<i>si-ta</i>
		否定	<i>kak-ananda</i> <i>kak-esenaNda</i> <i>kak-ehenaNda</i>	<i>mi-nanda</i> <i>mi-RsenaNda</i> <i>mi-RhenaNda</i>	<i>de-nanda</i> <i>de-RsenaNda</i> <i>de-RhenaNda</i>	<i>ko-nanda</i> <i>ko-RsenaNda</i> <i>ko-RhenaNda</i>	<i>se-nanda</i> <i>si-nanda</i> <i>se-RhenaNda</i> <i>si-RhenaNda</i>
意志		肯定	<i>kak-o(R)</i>	<i>mi-jo(R)</i>	<i>de-jo(R)</i>	<i>ko-jo(R)</i>	<i>si-jo(R)</i>
		否定	<i>kak-a-mai</i>	<i>mi-mai</i>	<i>de-mai</i>	<i>ko-mai</i>	<i>si-mai</i>
命令			<i>kak-e</i> <i>kak-jaR</i>	<i>mi-jo</i> <i>mi-jaR</i>	<i>de-jo</i> <i>de-jaR</i>	<i>ko-i</i> <i>(ir-jaR)</i>	<i>seR</i> <i>si-jaR</i>

動詞語根に続いて、動詞語幹を派生する接辞には、以下のようなものがある。語幹のクラス（子音語幹動詞、母音語幹動詞、不規則動詞）によって、接辞は種々の異形態をとる。

表 10：派生接辞とその異形態

	子音語幹動詞	母音語幹動詞	来る	する
使役	-ase-	-sase-	ko-sase-	s-ase-
受身	-are-	-rare-	ko-rare-	s-are-
自発	-arakas-	-rakas-	(ko-rakas-)	si-rakas-
非完成 (imperfective)	-joRr-	-joRr-	ki-joRr-	si-joRr-
完了 (perfect)	-tor- ~ -dor- -ter- ~ -der-	-tor- -ter-	ki-tor- ki-ter-	si-tor- si-ter-
尊敬 1	-jaRs-	-jaRs-	ko-jaRs- ki-jaRs-	si-jaRs-
尊敬 2	-asse-	-jasse-	ko-jasse-	si-jasse-
丁寧	-imas-	-mas-	-mas-	-mas-

語幹の内部構造は、以下のように示すことができる。

(6) 語根-使役-受身-自発-アスペクト-敬意 (-屈折接辞)

完了相のアスペクトを標示する -ter- ~ -der- は、標準語形かとも思われるが、以下のように尊敬接辞 -jaRs- との共起において、-tor- ~ -dor- と差が見られる。

- (7) カノジョワ キモノー {キテリヤース / ??キトリヤース}
kanozjo=wa kimono=o {ki-ter-jaRs-u / ??ki-tor-jaRs-u}
彼女=TOP 着物=ACC {着る-PF-HON-NPST / ??着る-PF-HON-NPST}
「彼女は着物を着ていらっしゃる」

4. 1. 2 副動詞の屈折

副動詞の屈折は、以下の表 11 のようになっている。不定形も合わせてまとめる。

表 11：副動詞の屈折

		子音語幹動詞	母音語幹動詞	来る	する
不定形		-i	-φ	ki	si
中止	肯定	-te ~ -de	-te	ki-te	si-te
	否定 1	-asuto	-suto	ko-suto	se-suto
	否定 2	-azuni	-zuni	ko-zuni	se-zuni
条件 1	肯定	-ja	-ja	ko-ja	si-ja ~ se-ja
	否定	-ana	-na	ko-na	si-na se-na
条件 2	肯定	-tara ~ dara	-tara	ki-tara	si-tara
	否定	-anaNdara	-naNdara	ko-naNdara	si-naNdara
同時		-inagra	-nagara	ki-nagara	si-nagara

なお、既に触れたように、副動詞の屈折以外にも、従属節（副詞節）を形成する手段として、定動詞形に、各種の接続助詞を続ける方法がある（8.1.3 節と 10.1 節を参照）。

4.2 コピュラ

コピュラ動詞=*ja*/*=da*「～だ」は、他の動詞とは定動詞・副動詞ともに屈折が異なる。ムード・テンスで屈折するが、命令形はない。名詞が述語位置に立つ場合には、コピュラを伴う。その屈折を、表 12 にまとめる。

表 12：コピュラの屈折

	ムード	テンス	= <i>ja</i>	= <i>da</i>
定動詞	中立	非過去	= <i>ja</i>	= <i>da</i>
		過去	= <i>jaQ-ta</i>	= <i>daQ-ta</i>
	推量		= <i>ja-roR</i>	= <i>da-roR</i>
副動詞	中止形		= <i>de</i>	= <i>de</i>
	副詞形		= <i>ni</i> ~ = <i>N</i>	= <i>ni</i> ~ = <i>N</i>
	条件 1		= <i>jaQ-tara</i>	= <i>daQ-tara</i>
	条件 2		= <i>nara</i>	= <i>nara</i>

コピュラの否定は、=(*z*)*ja na*-「～ではない」の形になる。なお、*na*-の屈折は活用型形容詞と基本的には同じである（ただし 5.1 節参照）。また、=(*z*)*ja* と *na*-とは、アクセントから見て、音韻上 2 句に分かれる。そのため、ここでは *na*-を、コピュラ否定形を作る派生接辞とはせず、独立の語（幹）と見る。

5 形容詞の構造

5.1 活用型形容詞

活用型形容詞の屈折は以下のようにまとめられる。

表 13：形容詞の屈折

	<i>aka</i> 「赤い」	<i>kanasi</i> 「悲しい」
非過去・肯定	<i>aka-i</i>	<i>kanasi-i</i>
中止形「～て」	<i>aka-te</i>	<i>kanasi-te</i>
条件1「～ければ」	<i>aka-ke(r)ja(R)</i>	<i>kanasi-ke(r)ja(R)</i>
副詞形「～く」	<i>aka-u</i>	<i>kanasi-u</i>

形容詞の屈折として認められるのは上記のみで、形容詞の否定は *aka#na* のように形容詞語幹に、否定形容詞 *na*-を続ける。この時、形容詞語幹と否定形容詞とは、アクセントなどの観点から見て、それぞれ音韻的に独立していると考えられる。また、*aka-kar-* のように形容詞語根に形容詞語幹拡張接辞（形容詞動詞化接辞）の *-kar-* を伴うことで、過去(*aka-kaQ-ta*)や仮定(*aka-kaQ-tara*)の形を作ることができる。*-kar-* の屈折は、存在動詞 *ar-* 「ある」などの *r* 語幹動詞と同じである（表 14）。

表 14：形容詞否定形と *-kar-* 形容詞の屈折

ムード	テンス	肯否	<i>aka</i> 「赤い」	<i>kanasi</i> 「悲しい」
中立	過去	肯定	<i>aka-kaQ-ta</i>	<i>kanasi-kaQ-ta</i>
		否定	<i>aka#na-kaQ-ta</i>	<i>kanasi#na-kaQ-ta</i>
推量		肯定	<i>aka-kar-oR</i>	<i>kanasi-kar-oR</i>
		否定	<i>aka#na-kar-oR</i>	<i>kanasi#na-kar-oR</i>
条件2		肯定	<i>aka-kaQ-tara</i>	<i>kanasi-kaQ-tara</i>
		否定	<i>aka#na-kaQ-tara</i>	<i>kanasi#na-kaQ-tara</i>

なお、否定形容詞 *na* は、基本的に一般の形容詞と同じ活用をするが、条件形が特殊である。つまり、条件1が **na-keja* ではなく、*na-kena* となること、条件2が **na#na-kaQ-tara* ではなく、*na-kaQ-tara* となる。

5.2 非活用型形容詞

sizuka 「静か」など状態を表す名詞（形容名詞）は、コピュラ=*ja*/*=da* を付すことによって、述語位置に立つことができる。そのコピュラの屈折は、基本的に一般のコピュラと同じであるが、名詞修飾の際には=*na* という形をとる。

5.3 形容詞の用法

活用型形容詞と非活用型形容詞の用法について、具体例を挙げることで説明にかえる。

5. 3. 1 名詞修飾

- (8) アシガ ハヤエー ヒトガ ウラヤマシー
asi=ga haja-i hito=ga urajamasi-i
足=NOM 速い-NPST 人=NOM 羨ましい-NPST
「足が速い人が羨ましい」
- (9) シズカナ トコロニ スミタイ
sizuka=na tokoro=ni sum-ita-i
静か=COP ところ=LOC 住む-DES-NPST
「静なところに住みたい」

5. 3. 2 述語

- (10) タローワ アシガ ハヤエー
taroR=wa asi=ga haja-i
太郎=TOP 足=NOM 速い-NPST
「太郎は足が速い」
- (11) コノ ヘンワ トッテモ シズカヤネ
kono heN=wa toQtemo sizuka=ja=ne
この 辺=TOP とても 静か=COP=SPF
「この辺りはとても静かだね」

5. 3. 3 否定

- (12) ジローワ アシガ ハヤナエー
ziroR=wa asi=ga haja#na-i
次郎=TOP 足=NOM 速い#NEG-NPST
「次郎は足が速くない」
- (13) イマ スンドル トコワ アンマリ シズカヤナエー
ima suN-dor-u toko=wa aNmari sizuka=ja#na-i
今 住む-PF-NPST 所=TOP あんまり 静か=COP#NEG-NPST
「今住んでいるところはあまり静かではない」

5. 3. 4 軽動詞 nar-との組み合わせ

- (14) レンシューシャー アシモ ハヤ ナル
reNsjuR+si-jaR asi=mo haja nar-u
練習+する-CND 足=ADT 早い なる-NPST
「練習すれば足も速くなる」
- (15) センセーガ チューイシャー シズカン ナル
senseR=ga cjuRi+si=jaR sizuka=N nar-u
先生=NOM 注意+する-CND 静か=COP なる-NPST
「先生が注意すれば静かになる」

なお、筆者の調査によれば、活用型形容詞の場合、軽動詞 *nar-*にそれが直接続く場合には、

形容詞語幹+*nar-*の形になるが(14), 形容詞と軽動詞 *nar-*の間にとりたて助詞(=mo)が挿入されると, *aka-u=mo nar-u* (アコーモナル)「赤くもなる」や *kanasi-u=mo nar-u* (カナシューモナル)「悲しくもなる」のように, 副詞形 *aka-u* (アコー) や *kanasi-u* (カナシュー) となる。

5. 3. 5 連用修飾

- (16) モット ハヨ ハシリヤー
 moQto haja-u hasir-jaR
 もっと 速い-INF 走る-IMP
 「もっと速く走りなさい」

- (17) シズカニ ハナス
 sizuka=ni hanas-u
 静か=COP 話す-NPST
 「静かに話す」

5. 3. 6 副詞節

- (18) モット アシガ ハヤケリヤ アイツニ オイツケルニ
 moQto asi=ga haja-kerja aicu=ni oicuk-ere-ru=ni
 もっと 足=NOM 速い-CND あいつ=LOC 追いつく-POT-NPST=CNC
 「もっと足が速ければ, あいつに追いつけるのに」
- (19) タローワ アシガ ハヤエーデ オイツケヘンワナモ
 taroR=wa asi=ga haja-i=de oicuk-eheN=wa=namo
 太郎=TOP 足=NOM 速い=NPST=CSL 追いつく-NEG.NPST=SFP=SFP
 「太郎は足が速いので, 追いつけない」
- (20) アノ センシュワ アシガ ハヤエーシ シュビモ ウマエー
 ano seNsju=wa asi=ga haja-i=si sjubi=mo uma-i
 あの 選手=TOP 足=NOM 速い-NPST=CNJ 守備=ADT 上手い=NPST
 「あの選手は足が速いし, 守備も上手い」
- (21) モ スコシ シズカヤッタラ ユー コト ナイノニネ
 mo sukosi sizuka=jaQ-tara i-u koto na-i=no=ni=ne
 もう 少し 静か=COP-CND 言う-NPST コト 無い-NPST=NLZ=CNC=SFP
 「もう少し静かなら言うことないのに」
- (22) コノ ヘンワ シズカヤデ スゴシヤスイヤロナー
 kono heN=wa sizuka=ja=de sugos-i+jasu-i=ja-ro=na
 この 辺=TOP 静か=COP=CSL 過ごす-INF+易い-NPST=COP-LCTN=SFP
 「この辺は静かなので過ごしやすいだろう」
- (23) コノ ヘンワ シズカヤシ ケシキモ エーデ サイコーヤ
 kono heN=wa sizuka=ja=si kesiki=mo jo-i=de saikoR=ja
 この 辺=TOP 静か=COP=CNJ 景色=ADT 良い-NPST=CSL 最高=COP
 「この辺は静かで, 景色も良くて最高だ」

6. 指示語と疑問語

指示語・疑問語は、以下の表15に示す通り、幾つかの品詞にまたがって分布する。

表15：指示語・疑問詞の体系

	近称	中称	遠称	疑問
代名詞	<i>ko-re</i>	<i>so-re</i>	<i>a-re</i>	<i>do-re</i>
代名詞（有生物）	<i>koicu</i>	<i>soicu</i>	<i>aicu</i>	<i>doicu</i>
場所名詞	<i>koko</i>	<i>soko</i>	<i>asoko</i>	<i>doko</i>
方向名詞	<i>koQci</i>	<i>soQci</i>	<i>aQci</i>	<i>doQci</i>
副詞	<i>koR</i>	<i>soR</i>	<i>aR</i>	<i>doR</i>
連体詞1（様態）	<i>koNna</i>	<i>soNna</i>	<i>aNna</i>	<i>doNna</i>
連体詞2	<i>ko-no</i>	<i>so-no</i>	<i>a-no</i>	<i>do-no</i>

指示語の用法は、コ・ソ・アの三項対立であることも含め、標準語と変わらない。指示対象が発話場の事物であるときは（現場指示用法）、話し手側の事物には *ko* 系、聞き手側の事物には *so* 系、どちら側とも見なされない時は *a* 系が用いられる。

(24) アレワ ツキダガエー

are=wa cuki=da=gai

あれ=TOP 月=COP=SFP

（空に見える月を指差して）「あれは月だよ」

(25) コレ ミヤー

kore mi-jaR

これ 見る-IMP

（自分の手元にあるものを指差して）「これを見ろ」

(26) ソレオ ミセヤー

sore=o mise-jaR

それ=ACC 見せる-IMP

（相手の手元にあるものを指差して）「それを見せろ」

なお、文脈指示用法においては、主に *so* 系が用いられるようだが、自然談話資料を用いた分析など、詳しい調査・分析には至っていない。

(27) ソレ ヨカッタナモ

sore jo-kaQ-ta=namo

それ 良い-VLZ-PST=SFP

（相手の孫が結婚したと聞いて）「それは良かったね」

疑問語には、表15に示したもの以外に、これまでの調査で、*dare* 「誰」、*nani* 「何」、*ikucu* 「幾

つ」, *naNde* 「何故」, *icu* 「何時」が確認されている。疑問語の用法について, その具体例を挙げることで, 説明に代える。なお, 疑問文のイントネーションなどについては, 本報告書所収の木部論文を参考のこと。

(28) ダレガ オルノ

dare=ga or-u=no

誰=NOM いる-NPST=SFP

「誰がいるの？」

(29) ヤマノ ムコーニワ ナニガ アルノ

jama=no mukoR=ni=wa nani=ga ar-u=no

山=GEN 向こう=LOC=TOP 何=NOM ある-NPST=SFP

「山の向こうには何があるの？」

(30) ソノ ウチワ ヘヤハ イクツ アルノ

sono uci=wa heja=wa ikucu ar-u=no

その 家=TOP 部屋=TOP 幾つ ある-NPST=SFP

「その家, 部屋は幾つあるの？」

(31) ナンデ ソノ ウチ カヤータ(ノ)

naNde sono uci ka-jaR-ta(=no)

何故 その 家 買う-HON-PST(=SFP)

「何故, その家を買ったの？」

(32) ソノ ウチワ イツ カヤータノ

sono uci=wa icu ka-jaR-ta=no

その 家=TOP いつ 買う-HON-PST=SFP

「その家はいつ買ったの？」

なお, 疑問語に疑問助詞=*ka*を後続させることによって, 不定語が作られる(「誰」に対する「誰か」など)。

7. 名詞句の構造

7. 1 基本構造

名詞句では、修飾部が主要部に先行する。修飾部には、名詞句・形容詞・連体詞・連体節が立つ。主要部には名詞が立つ。また、格助詞・とりたて助詞は名詞句の主要部に後続する。例は、ここでは略す。

7. 2 格の種類と機能

これまでの調査では、下記の表 16 に示した格助詞が確認されている。

表 16：格助詞とその機能

格の名称	形式	格助詞としての主な機能
主格	=N / =ga	主語
属格	=no / =N	名詞句の従属部，連体節中の主語
対格	o / =o	直接目的語
与格	=i	間接目的語，方向
所格	=ni	存在の場所，間接目的語，方向
具格	=de	手段，動作の場所
共格	=to	共同
比格	=(N)jori	比較
奪格	=kara	起点
限界格	=made	限界

7. 2. 1 主格=N / =ga

主格は基本的に=Nである。語末が撥音 N の語の場合、=ga が現れる。主語を表す。

- (33) a. ソコノ ハシラン タオレタラ タェーヘンヤデ…
 soko=no hasira=N taore-tara taiheN=ja=de…
 そこ=GEN 柱=NOM 倒れる-CND 大変=COP=CNC
 「その柱が倒れたら大変だから・・・」
- b. ソコノ カンバンガ タオレタラ…
 soko=no kaNbaN=ga taore-tara …
 そこ=GEN 看板=NOM 倒れる-CND
 「その看板が倒れたら・・・」

7. 2. 2 属格=no / =N

属格は基本的に=no で表されるが、名詞句の修飾部となる場合、後続の名詞が齒（茎）音始まりであると=N となることがある。さらに、修飾部となる名詞が N（撥音）で終わり、後続の名詞句が齒（茎）音で始まる場合には、表面的には属格助詞が現れないこともある。これは、boRsaN=N（lit.「坊さんの」）の 2 つ重なった撥音 N が単純化された結果と見る。

- (34) a. タローノ イエ b. タローン トコ
 taroR=no ie taroR=N toko
 太郎=GEN 家 太郎=GEN 所
 「太郎の家」 「太郎のところ」
- c. ボーサンノ イエ d. ボーサン トコ
 boRsaN=no ie boRsaN toko
 坊さん=GEN 家 坊さん 所
 「坊さんの家」 「坊さんのところ」

7. 2. 3 対格 ϕ / =o

対格は、基本的に無助詞 (ϕ) で表される (35a)⁹。=o は、目的語名詞句と述語動詞が隣接しない場合に現れやすい (35b)。

- (35) a. イヌン オレ ミトルケド...
 inu=N ore mi-tor-u=kedo...
 犬=NOM 1 見る-PF-NPST=CNC
 「犬が俺を見ているけど (腹が減ったのだろうか)」
- b. イヌン オマエーオ ジット ミトルケド...
 inu=N omai=o zitto mi-tor-u=kedo...
 犬=NOM 2=ACC じっと 見る-PF-NPST=CNC
 「犬がお前をじっと見ているけど...」

なお、1 モーラ語は、当該母音が延長された長音形が現れる (36a)。これは、2 モーラ以上の語における無助詞に相当すると思われるが、一方で、2 モーラ以上の語でも長音形が見られる (36b)。その詳細は不明である。

- (36) a. ユー ワカス
 juR wakas-u
 湯 沸かす-NPST
 「湯を沸かす」
- b. オマエー コーモ ジョーブイー ツクエー コワエータンカ
 omai koR=mo zjoRbu-i cukueR kowai-ta=N=ka
 2 こう=ADT 丈夫-NPST 机 壊す-PAST=NLZ=Q
 「お前は、こんなに丈夫な机を壊したのか」

⁹ 現状、この対格 (目的語) の無助詞現象が、助詞の脱落と見るべきものなのか、あるいは無助詞 (ϕ) であることを積極的に対格を標示する形式として認めるべきなのか、検討が十分ではない。また、提題形 (TOP) も、無助詞で現れることがあり、両者の区別は単純にできるものではない。よって、本稿では、この点についての議論を保留し、グロス (例文の 3 行目) においては、有形の =o が現れた時のみ ACC とグロスを振ることとし、無形の場合には ACC のグロスを振らないこととする。提題形についても同様に有形の =wa が現れた時のみ TOP のグロスを付す。

7. 2. 4 与格=iと所格=ni

与格=iと所格=niは、以下の表17に示すように、その機能・用法の重なるところがある。

表17：与格と所格の機能・方法

	目 標	発 話 相 手	着 点	受 益 者 ①	受 益 者 ②	被 使 役 者	変 化 結 果	直 面 対 象	受 身 動 作 主	経 験 者	所 有 者	時 間	場 所
与格=i	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
所格=ni	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(37) タローワ {トーキョエー / *トーキョーニ} デカケヤータ (目標)

taroR=wa {toRkyo=i / *toRkyoR=ni} dekake-jaR-ta

太郎=TOP {東京=DAT / *東京=LOC} 出かける-HON-PST

「太郎は東京に出かけた」

(38) タローワ {オトトエー / オトトニ} ハナシカケタ (発話相手)

taroR=wa {ototo=i / ototo=ni} hanas-i+kake-ta

太郎=TOP {弟=DAT / 弟=LOC} 話す-INF+かける-PST

「太郎は弟に話しかけた」

(39) タローワ {トーキョエー / トーキョーニ} ツイータ (着点)

taroR=wa {toRkyo=i / toRkyoR=ni} cui-ta

太郎=TOP {東京=DAT / 東京=LOC} 着く-PST

「太郎は東京に着いた」

(40)と(41)の例からは、同じ受益者であっても直接に物質を与えられる場合とそうでない場合とで、与格=iが許容されるかに差があることが分かる。より詳細な調査が必要であろう。

(40) タローワ {オトトニ / オトトエー} ジブンノ イエオ ヤッタ (受益者1)

taroR=wa {ototo=ni / ototo=i} zibuN=no ie=o jaQ-ta

太郎=TOP {弟=LOC / 弟=DAT} RFL=GEN 家=ACC 与える-PST

「太郎は弟に自分の家をやった」

(41) タローワ {イモトニ / *イモトエー} ホン ヨンダッタ (受益者2)

taroR=wa {imoto=ni / *imoto=i} hoN joN-daQ-ta

太郎=TOP {妹=LOC / *妹=DAT} 本 読む-BEN-PST

「太郎は妹に本を読んでやった」

被使役者・変化結果・直面する対象・受身の動作主・経験者主語・所有者・時間・場所を表す場合には、基本的に=niしか許容されない。(43)で現れる=Nという形式は、=niの後に/n/で始まる語があることによる撥音化現象によるものと考えられる。

- (42) タローワ {イモトニ / *イモトエー} ヤサイオ クワセタ (被使役者)

taroR=wa {imoto=ni / *imoto=i} jasai=o kuw-ase-ta
太郎=TOP {妹=LOC / *妹=DAT} 野菜=ACC 食う-CAUS-PST

「太郎は妹に野菜を食べさせた」

- (43) タローワ {センセーニ / センセーン} ナッタ (変化結果)

taroR=wa {seNseR=ni / seNseR=N} naQ-ta
太郎=COP {先生=LOC / 先生=LOC} なる-PST

「太郎は先生になった」

- (44) タローワ ガッコーデ {トモダチニ / *トモダチー} アッタ (直面对象)

taroR=wa gaQkoR=de {tomodaci=ni / *tomodaci=i} aQ-ta
太郎=TOP 学校=INST {友達=LOC / *友達=DAT} 会う-PST

「太郎は学校で友達に会った」

- (45) タローワ {イモトニ / *イモトエー} ナグラレタ (受身動作主)

taroR=wa {imoto=ni / *imoto=i} nagur-are-ta
太郎=TOP {妹=LOC / *妹=DAT} 殴る-PASS-PST

「太郎は妹に殴られた」

- (46) タローニワ オレノ キモチン ワカラン (経験者)

taroR=ni=wa ore=no kimoci=N wakar-aN
太郎=LOC=TOP I=GEN 気持ち=NOM 分かる-NEG.NPST

「太郎には俺の気持ちは分からない」

- (47) タローニワ ヨメン ナエー (所有者)

taroR=ni=wa jome=N na-i
太郎=LOC=TOP 嫁=NOM 無い-NPST

「太郎には嫁がいらない」

- (48) タローワ サンジニ ウチー モドッタ (時間)

taroR=wa saN-zi=ni uci-i modoQ-ta
太郎=TOP 三-時=LOC 家=DAT 戻る-PST

「太郎は三時にうちに戻った」

- (49) カベニ トケーン カカトル (場所)

kabe=ni tokeR-N kakaQ-tor-u
壁=LOC 時計=NOM 掛かる-PF-NPST

「壁に時計がかかっている」

7. 2. 5 具格=*de*

道具や原因は、具格=*de* で表される。

- (50) タローワ ショッキオ オケデ アラットル
taroR=wa sjoQki=o oke=de araQ-tor-u
太郎=TOP 食器=ACC 桶=INST 洗う-PF-PST
「太郎は食器を桶で洗っている」

- (51) ホーチョーデ ユビオ キッタ
hoRcjoR=de jubi=o kiQ-ta
包丁=INST 指=ACC 切る-PST
「包丁で指を切った」

7. 2. 6 共格=*to*

共格（～とともに）は、=*to* である。

- (52) タローワ オトトト アソンドル
taroR=wa ototo=to asoN-dor-u
太郎=TOP 弟=ASC 遊ぶ-PF-NPST
「太郎は弟と遊んでいる」

7. 2. 7 比格=(N)*jori*

比較対象は、=(N)*jori* で表される。=*Njori* と=*jori* の2つの形式が確認されているが、その分布の詳細は明らかではない。

- (53) タローワ {オトト (ン) ヨリ / オヤジヨリ / *オヤジンヨリ} セン タカエー
taroR=wa {ototo=(N)*jori* / ojazi=*jori* / *ojazi=*Njori*} se=N taka-i
太郎=TOP {弟=CMP / 親父=CMP / *親父=CMP} 背=NOM 高い-NPST
「太郎は{弟より/父親より}背が高い」

7. 2. 8 奪格=*kara*

奪格=*kara* は、動作の時間的・空間的起点を表す他、「もらう」などの受取動詞文における授与者を表す。

- (54) タローワ イエカラ ソトエー デタ
taroR=wa ie=kara soto-i de-ta
太郎=TOP 家=ABL 外=DAT 出る-PST
「太郎は家から外に出た」

- (55) タローワ {オヤカラ/オヤニ} カネ モラッタ
 taroR=wa {oja=kara / oja=ni} kane moraQ-ta
 太郎=TOP {親=ABL / 親=LOC} 金 貰う-PST
 「太郎は親に金をもらった」

7. 2. 9 限界格=made

限界格=*made* は、限界点を表す。

- (56) タローワ イエマデ アルイーテ カエッテッタ
 taroR=wa ie=made arui-te kaeQ-teQ-ta
 太郎=TOP 家=LMT 歩く-SEQ 帰る-SEQ.行く-PST
 「太郎は家まで歩いて帰っていった」

7.3 とりたて助詞・提題助詞

これまでの調査では、=*mo* (累加), =*bakka* (反復), =*demo* (例示, 極限) などのとりたて助詞が確認されているが、体系的な調査には至っていない。格助詞との共起関係についても今後の調査課題である。

- (57) キョネンワ エー コトモ ワルイー コトモ アッタ
 kjoneN=wa jo-i koto=mo waru-i koto=mo aQ-ta
 去年=TOP 良い-NPST 事=ADT 悪い-NPST 事=ADT ある-PST
 「去年は良いことも悪いこともあった」

- (58) ケンカバッカ シトッタ
 keNka=bakka si-toQ-ta
 喧嘩=RPT する-PF-PST
 「喧嘩ばかりしていた」

- (59) イモデモ クットレヤ
 imo=demo kuQ-tor-e=ja
 芋=EXM 食う-PF-IMP=SFP
 「芋でも食べていろ」

主題を提示する際には、標準語の「は」に相当する助詞=*wa* が用いられる場合もあるが、無助詞である場合が多い (9.2 節も参照)。

- (60) ミズ(ワ) ドコニ アル
 mizu(=wa) doko=ni ar-u
 水(=TOP) 何処=LOC ある-NPST
 「水はどこにあるの？」

7. 4 名詞句の修飾部

修飾部には、名詞句・形容詞・連体詞・連体節が立つ。

- (61) a. タローノ オトト

taroR=no ototo

太郎=GEN 弟

「太郎の弟」

- b. サワガシー コデモ センセーガ チューイシヤー シズカン ナルワ

sawagasi-i ko=demo senseR=ga cjuRi+si-jaR sizuka-N nar-u=waR

騒がしい-NPST 子=EXM 先生=NOM 注意+する-CND 静か=LOC なる-NPST=SPF

「騒がしい子でも先生が注意すれば静かになる」

- c. コンナ イエニ スミタエー

koNna ie=ni sum-ita-i

こんな 家=LOC 住む-DES-NPST

「こんな家に住みたい」

- d. キンノー ミトッタ テレビニ タローガ デテリヤータ

kiNnoR mi-toQ-ta terebi=ni taroR=ga de-ter-jaR-ta.

昨日 見る-PF-PST テレビ=LOC 太郎=NOM 出る-PF-HON-PST

「昨日見ていたテレビに太郎が出ていた」

7. 5 名詞句の主要部

名詞句の主要部には普通名詞の他、*toko*「ところ」、*toki*「時」等の形式名詞が立つ。

- (62) ヒマナ トキニ キテチャー

hima=na toki=ni ki-te#cjoR

暇=COP 時=LOC 来る-SEQ#BEN.HON.IMP

「暇な時に来てください。」

- (63) タローン トコ

taroR=N toko

太郎=GEN 所

「太郎のところ」

また、属格助詞=noが形式名詞として機能する場合がある。

(64) キョー コンノワ ダレヤ
 kjoR ko-N=no=wa dare=ja
 今日 来る-NEG.NPST =GEN=TOP 誰=COP
 「今日来ないのは誰だ？」

8. 述語句

8. 1 動詞述語

8. 1. 1 主動詞と補助動詞

主動詞と補助動詞の句の構造は、動詞中止形（*-te* ~ *-de*）あるいは不定形に補助動詞語幹が続く形となる。補助動詞として現れる動詞は、以下のものが挙げられる。

(65) a. 中止形に続くもの

- *kure-* 「～てくれる」
- *kudare-* 「～てくださる」
- *cjoRdai(s)-* 「～てくれる」

b. 不定形に続くもの

- *kaker-* 「～しかける」
- *kakar-* 「～しかかる」
- *owar-* 「～し終える」
- *hazimer-* 「～し始める」
- *cuzuker-* 「～し続ける」

(65a)は主に授受に関わるものであり、(65b)は主にアスペクトに関わるものである。それぞれの例については、9.6.2節と9.10.2節を参照のこと。

なお、これらの他にも、*-tema(w)-* ~ *-dema(w)-*（「～てもらう」「～てしまう」）という形式と、*-tar-* ~ *-dar-*（「～てやる」「～てある」）という形式がある。2つの*-tema(w)-*は、それぞれ語源的に*-te#moraw-*と*-te#simaw-*に遡るものと考えられるが、筆者の調査では「～てもらう」「～てしまう」のどちらの意味であっても、**-te=wa ma(w)-*のように*-te*の後に他の要素を挿入することができない。つまり、文法化が相当程度進んでいると言える。なお、両者はアクセント上の区別があり、概略、「～てもらう」の意味では、動詞述語全体が平板型、「～てしまう」の意味では起伏型となる。

一方、*-tar-*の場合は、*-te=wa jar-*（「～てはやる」）や*-te=wa ar-*（「～てはある」）のように、*-te*の後に*=wa*など他要素を挿入することができる（9.10.2節）。なお、これらの2つの*-tar-*についても、アクセント上の区別があり、概略、「～てやる」の意味では動詞述語全体が平板型、「～てある」の意味では起伏型となる。

木曾川方言では、この他に、動詞中止形*-te*、*-de*に種々の補助動詞が融合した形式が複数見られる（9.10.2節）。本稿では、（完了相接辞*-tor-*を除き）便宜的にこれらの形式を「中止形+しまう」などとして記述することとする（グロスは「SEQ.しまう」などとする）。これは、もちろん共時的な分析に通時的な語源意識を持ち込む形になり、やや共時的な記述としては妥当性を欠

くものとなる。しかし、これら「中止形＋補助動詞」に由来する諸形式の文法化の度合いが様々であり、また、その詳細な調査も不十分であるため、あくまで暫定的な処置として、このように記述することとしたい。

8. 1. 2 終助詞

これまでの調査で、終助詞としては、勧誘を表す=*mai*[=*mæ:*], 疑問を表す=*ka*, =*kai*[=*kæ:*], 禁止の=*na*, 依頼など行為指示表現と共起する=*eka*, 伝達態度に係わる=*ne(R)*, =*jo*, =*wa.i*, =*zo*, =*gaja* ~ *gjaR*, =*gana*, =*gane*, 丁寧さと伝達態度を表す=*namo*, =*gai*[*gæ:*], 非対話的な=*na(R)*, =*wa*などが認められている。その詳細については、今後の課題である。なお、例は9.9節にまとめてあげる¹⁰。

8. 1. 3 接続助詞

副詞節を導く接続助詞としては、=*de* (原因・理由), =*to* (条件・継起), =*ni* (逆接 1), =*kedo* (逆接 2), =*ga* (逆接 3) がある。これらは、動詞（コピュラ含む）や形容詞の終止形に接続する。なお、このうち、=*to* は、テンス標示はなく、非過去形にしか続かない。

- (66) キンノー アタマン イタカッタデ イツモヨリ ハヨ ネタ
 kiNnoR atama=N ita-kaQ-ta=de icumo=jori haja-u ne-ta
 昨日 頭=NOM 痛い-VLZ-PST=CSL いつも=CMP 早い-INF 寝る-PST
 「昨日は、頭が痛かったので、いつもより早く寝た」

- (67) マド アケルト ツメタエー カゼン ハエーッテキタ
 mado aker-u=to cumeta-i kaze=N haiQ-te#ki-ta
 窓 開ける-NPST=CND 冷たい-NPST 風=NOM 入る-SEQ#来る-PST
 「窓を開けると冷たい風が入ってきた」

- (68) コノ リンゴワ タカカッタニ チョットモ アマナエー
 kono riNgo=wa taka-kaQ-ta=ni cjoQto=mo ama#na-i
 この りんご=TOP 高い-VLZ-PST=CNC 少し=ADT 甘い#NEG-NPST
 「この林檎は高かったのに、少しも甘くない」

- (69) イエニ イッテミタケド オラナンダ
 ie=ni iQ-te#mi-ta=kedo or-anaNda
 家=LOC 行く-SEQ#見る-PST=CNC 居る-NEG.PST
 「家に行ってみたけれど、いなかった」

補文を導くものには、引用を表す=*to* 「って」、疑問文を埋め込む疑問助詞=*ka* とがある。

¹⁰ =*kai* や=*gai* に共通して現れる-*i* という形式を、「同等以上あるいは丁寧」を標示するものとする見方もある（愛知県教育委員会 1985: 29）。関連して、筆者らの調査では、コピュラ-*ja(R)* に対して、=*jai*[*jæ:*] という形の方が丁寧である、という話者もいた。この点については、さらなる調査が必要である。

- (70) イシャニ ナッタ ヒトガ オルト キートッタガ ダレガ イシャヤノ
 isja=ni naQ-ta hito=ga or-u=to kiR-toQ-ta=ga dare=ga isja=ja=no
 医者=LOC なる-PST 人=NOM 居る-NPST=QT 聞く-PF-PST=CNC 誰=NOM 医者=COP=SFP
 「医者になった人がいると聞いたけど、誰が医者なの？」
- (71) オレワ オヤジガ ナニオ ノムカ シラン
 ore=wa ojazi=ga nani=o nom-u=ka sir-aN
 I=TOP 親父=NOM 何=ACC 飲む-NPST=Q 知る-NEG.NPST
 「俺は、おやじが何を飲むか知らない。」

8. 2 名詞述語

名詞述語は、名詞句にコピュラ動詞で構成される。さらに終助詞が続く場合もあるが、コピュラ動詞・終助詞はどちらも必須要素ではない。ただし、コピュラの出没の条件については、不明である。

- (72) アシタワ ヤスミヤ(ワ)(ナモ)
 asita=wa jasumi=ja(=wa)(=namo)
 明日=TOP 休み=COP(=SFP)(=SFP)
 「明日は休みだ(よ)」
- (73) ワシャー ウナギ
 wasjaR unagi
 I.TOP 鰻
 (注文の際に)「俺は、うなぎ」

9. 構文とその機能

9. 1 基本語順

この方言の基本語順は、自動詞主語・他動詞主語をまとめて S, 直接目的語を O, 二重目的語他動詞文における間接目的語を E で表せば, S(E)(O)V である。

9. 2 格配列と語順と主題

木曾川方言の格配列パターンは、自動詞主語 S と他動詞主語 A とが同じ格標示 (=N / =ga) となる一方、他動詞目的語 O がそれらとは異なる格標示となる (ϕ / =o), 主格対格型の格配列パターンである。主格に有形の格標示が現れる一方、基本的には対格が無形となる、典型的な有標主格タイプの方言であると言える。これまでの調査からは、この方言では、主語・目的語の有生性や動作主性や特定性などが格配列に影響を与える証拠は得られていない。

ただし、この方言では主題となる名詞句も無助詞 (ϕ) で現れるために、主語が主題となる場合、主語名詞句も目的語名詞句もどちらも無助詞で現れることがあり得る。この場合、「主語 (=主題) + 目的語 + 述語」の語順であれば、主語 (=主題)・目的語共に無助詞が許容されるが、「目的語 + 主語 (=主題) + 述語」の語順となる場合には、目的語は有形の格標示 (=o) とならなければならない。

- (74) a. オレノ トモダチ コドモンター ミトル
 ore=no tomodaci kodomo-NtaR mi-tor-u
 俺=GEN 友達 子供-PL 見る-PF-NPST
- b. コドモンターオ オレノ トモダチ ミトル
 kodomo-NtaR=o ore=no tomodaci mi-tor-u
 子供-PL=ACC 俺=GEN 友達 見る-PF-NPST
- c. *コドモンター オレノ トモダチ ミトル
 *kodomo-NtaR ore=no tomodaci mi-tor-u
 *子供-PL 俺=GEN 友達 見る-PF-NPST
 「俺の友達は子どもたちを見ている」

また、文頭で無助詞の名詞句は主題として解釈されやすいためか、主語名詞句が主格助詞によってマークされ、文法関係が明らかな場合にあっては、目的語名詞句が主題でない場合には、それを文頭に置くことができない。目的語および主題提示における無助詞現象と語順の関係についての詳細は、今後の調査課題である。

- (75) a. カゼン ボーシ フキトバエータ
 kaze=N boRsi huk-i+tobai-ta
 風=NOM 帽子 吹く-INF+飛ばす-PST

- b. *ボーシ カゼン フキトバエータ
*boRsi kaze=N huk-i+tobai-ta
帽子 風=NOM 吹く-INF+飛ばす-PST
「風が帽子を吹き飛ばした」

9. 3 項数による文の分類と他動性

9. 3. 1 1 項文(SV)

主語と述語のみからなる1項文においては、述語の種類によらず、主語は=N/=gaで標示される。

(76) タローン アルイートッタ

taroR=N arui-toQ-ta
太郎=NOM 歩く-PF-PST
「太郎が歩いていた」

(77) ヨーキガ エー

joRki=ga jo-i
天気=NOM 良い-NPST
「天気が良い」

9. 3. 2 2 項文(AOV)

主語と目的語と述語からなる2項文においては、主語名詞句と目的語名詞句の有生性などに関わらず、主語は=N/=ga、目的語はφ/=oで標示される。=oは、基本語順を逸脱する場合や、目的語と述語動詞が隣接しない場合などに現れやすい。なお、使役接辞で派生された動詞による他動詞文における格配列については9.6.1節を参照。

(78) センセーガ ツクエ ハコンドッタ

seNseR=ga cukue hakoN-doQ-ta
先生=NOM 机 運ぶ-PF-PST
(ふと見ると)「先生が机を運んでいた」

(79) タローン ソト ミトル

taroR=N soto mi-tor-u
太郎=NOM 外 見る-PF-NPST
「太郎が外を見ている」

9. 3. 3 3 項文(AEOV)

主語(A)・直接目的語(O)・間接目的語(E)をとる非派生の3項述語としては、jar-「やる」などの授与動詞の他、okur-「送る」などが確認されている。この時、間接目的語となるE項の格標示は=i(与格)でも=ni(所格)でも可能である。

- (80) タローワ {オトトニ / オトトエー} ジブンノ イエオ ヤッタ
 taroR=wa {ototo=ni / ototo=i} zibuN=no ie=o jaQ-ta
 太郎=TOP {弟=LOC / 弟=DAT} RFL=GEN 家=ACC やる-PST
 「太郎は弟に自分の家をやった」

- (81) タローワ {オトトニ / オトトエー} オカネ オクッタ
 taroR=wa {ototo=ni / ototo=i} o-kane okuQ-ta
 太郎=TOP {弟=LOC / 弟=DAT} POL-金 送る-PST
 「太郎は弟にお金を送った」

一方、2項文から使役によって派生された3項文の場合、E（被使役者）の格標示として=*i*は許容されず、=*ni*のみ用いられる。

- (82) タローワ {イモトニ / *イモトエー} ヤサイオ クワセタ
 taroR=wa {imoto=ni / *imoto=i} jasai=o kuw-ase-ta
 太郎=TOP {妹=LOC / *妹=DAT} 野菜=ACC 食う-CAUS-PST
 「太郎は妹に野菜を食べさせた」

9. 4 文タイプ

動詞述語文の平叙文、疑問文（疑問詞・諾否）、命令文の例を挙げる。

- (83) オレノ オヤジワ マエーバン サケ ノンドル
 ore=no ojazi=wa maibaN sake noN-dor-u
 I=GEN 親父=TOP 毎晩 酒 飲む-PF-NPST
 「俺の父親は毎晩酒を飲んでいる」
- (84) オマエーサンノ オトツツァンワ マエーバン サケ ノムノ
 omai-saN=no otoQcaN=wa maibaN sake nom-u=no
 2-HON=GEN お父さん=TOP 毎晩 酒 飲む-NPST=SFP
 「あなたのお父さんは毎晩酒を飲むのか？」
- (85) オヤジワ ナニ ノムカエーノー
 ojazi=wa nani nom-u=kai=noR
 親父=TOP 何 飲む-NPST=Q=SFP
 「父親は何を飲むかな」
- (86) グズグズシトラズニ ハヨ ノメ
 guzuguzu+si-tor-azuni haja-u nom-e
 ぐずぐず+する-PF-SEQ.NEG 早い-INF 飲む-IMP
 「ぐずぐずしていないで、早く飲め」

名詞述語文の平叙文、疑問文（疑問詞・諾否）の例を挙げる。

- (87) オレノ オヤジワ イシャヤ
ore=no ojazi=wa isja=ja
I=GEN 親父=TOP 医者=COP
「俺の父親は医者だ」
- (88) ツレカラ キータケンド オマエーサンノ オトツツァンワ イシャカエ
cure=kara kiR-ta=keNdo omai-saN=no otoQcaN=wa isja=kai
友達=ABL 聞く-PST=CNC 2-さん=GEN お父さん=TOP 医者=Q
「友達から聞いたんだけど、君のお父さんは医者なの？」
- (89) イシャニ ナッタ ヒトガ オルト キートッタガ ダレガ イシャヤノ
isja=ni naQ-ta hito=ga or-u=to kiR-toQ-ta=ga dare=ga isja=ja=no
医者=LOC なる-PST 人=NOM いる-NPST=QT 聞く-PF-PST=CNC 誰=NOM 医者=COP=SFP
「医者になった人がいると聞いたけど、誰が医者なの？」

形容詞述語文の平叙文、疑問文（疑問詞・諾否）の例を挙げる。

- (90) オレノ オヤジワ オソガエー
ore=no ojazi=wa osoga-i
I=GEN 親父=TOP 怖い-NPST
「俺の父親は怖い」
- (91) ハナシニ キートッタケンド オマエーサンノ オトツツァンワ オソガエーノ
hanasi=ni kiR-toQ-ta=keNdo omai-saN=no otoQcaN=wa osoga-i=no
話=LOC 聞く-PF-PST=CNC 2-さん=GEN お父さん=TOP 怖い-NPST=SFP
「話に聞いたんだけど、君のお父さんは怖いの？」
- (92) センセーノ ナカデワ ダレガ イチバン オソガエーノ
seNseR=no naka=de=wa dare=ga ici-baN osoga-i=no
先生=GEN 中=INST=TOP 誰=NOM 一-番 怖い-NPST=SFP
「先生の中では誰が一番怖いの？」

9. 5 肯否

動詞述語文の否定は否定接辞によって表される。

- (93) a. ワシャー ネルト イツモ ユメオ ミルワナモ
 wasjaR ner-u=to icumo jume=o mir-u=wa=namo
 1.TOP 寝る-NPST=CND いつも 夢=ACC 見る-NPST=SFP=SFP
 「私は寝るといつも夢を見る」
- b. ワシャー ネテモ ユメワ ミーヘンワ
 wasjaR ne-temo jume=wa mi-RheN=wa
 1.TOP 寝る-CNC 夢=TOP 見る-NEG.NPST=SFP
 「私は寝ても夢は見ない」

形容詞述語文、名詞述語文の否定は、否定形容詞によって表される。

- (94) a. タローワ アシガ ハヤエー
 taroR=wa asi=ga haja-i
 太郎=TOP 足=NOM 速い-NPST
 「太郎は足が速い」
- b. ジローワ アシガ ハヤナイ
 ziroR=wa asi=ga haja#na-i
 次郎=TOP 足=NOM 速く #NEG-NPST
 「次郎は足が速くない」
- (95) a. ワシャー センセーヤッタワイ
 wasjaR seNseR=jaQ-ta=wa.i
 1.TOP 先生=COP-PST=SFP
 「私は先生だった」
- b. ワシャー センセーヤナカッタ
 wasjaR seNseR=ja#na-kaQ-ta
 1.TOP 先生=COP#NEG-VLZ-PST
 「私は先生でなかった」

9. 6 ヴォイス

9. 6. 1 受動と使役

使役は接辞-(s)ase-を前接する動詞に接続して表す。使役者の項を主語に追加し、被使役者（元の能動文の主語）は=oまたは=niで標示する。但し、前接動詞が他動詞の場合は必ず=niで標示する（=96a）。自動詞の場合のみ、=oと=niのいずれでも標示が可能である（=96b,c）。強制・許

可・放任用法における接辞の別はない。

- (96) a. タローニ オモチャオ カワセタ
taroR=ni omocja=o kaw-ase-ta
太郎=LOC おもちゃ=ACC 買う-CAUS-PST
「太郎におもちゃを買わせた」
- b. オトトオ アルカセタ
ototo=o aruk-ase-ta
弟=ACC 歩く-CAUS-PST
「弟を歩かせた」
- c. オトトニ アルカセタ
ototo=ni aruk-ase-ta
弟=LOC 歩く-CAUS-PST
「弟に歩かせた。」

受動は接辞-(r)are-を前接する動詞に接続して表す。対応する能動文の目的語を主語とし、元の主語（動作主）は補語（=niあるいは=karaで標示）とする。但し、受動文の主語が前接動詞の表す事態の項とならない場合は、追加項を主語にすえる。受動文の動作主は=niまたは=karaで標示し、動作対象は=oで標示する。なお、標準語と同様、間接受身文では動作主を=karaで標示することは許容されない。他動詞を前接動詞とする受身文（97a,b,c）とともに、自動詞を前接動詞とする受身文も生産できる（=97d）。

- (97) a. タローワ {センセーニ / センセーカラ} ナグラレヤータ
taroR=wa {seNseR=ni / seNseR=kara} nagur-are-jaR-ta
太郎=TOP {先生=LOC / 先生=ABL} 殴る-PASS-HON-PST
「太郎は先生に殴られた」
- b. タローワ {ダレヤシャンニ / ダレヤシャンカラ} サエーフオ ヌスマレタ
taroR=wa {darejasjaN=ni / darejasjaN=kara} saihu=o nusum-are-ta
太郎=TOP {誰か=LOC / 誰か=ABL} 財布=ACC 盗む-PASS-PST
「太郎は誰かに財布を盗まれた」
- c. タローワ ムスコー ホメラレヤータ
taroR=wa musuko=o home-rare-jaR-ta
太郎=TOP 息子=ACC 褒める-PASS-HON-PST
「太郎は息子を褒められた」

- d. セキオ トットッタノニ シラナエ ヒトニ スワラレテマッタ
 seki=o toQ-toQ-ta=no=ni sira-na-i hito=ni suwar-are-temaQ-ta
 席=ACC 取る-PF-PST=NLZ=CNC 知る-NEG-NPST 人=DAT 座る-PASS-SEQ.しもう-PST
 「席をとっていたのに、知らない人に座られてしまった」

使役と受動の組み合わせも可能である (98)。

- (98) タローワ センサーニ キョーカショー ミサセラレタ
 taroR=wa seNseR=ni kjoRkasjo=o mi-sase-rare-ta
 太郎=TOP 先生=LOC 教科書=ACC 見る-CAUS-PASS-PST
 「太郎は先生に教科書を見させられた」

9. 6. 2 自他交替, 逆使役, 相互文

自他交替は、以下のような代表的なパターンが標準語と同様に使用される。但し、+kas-パターンでは、標準語にはみられない *her-*・*herakas-* のような組み合わせも使用される。その外延の調査が課題として残される。

- ・ 自動詞を基本とする組み合わせ: *ak-*・*aker-*「開く・開ける」(+e), *sir-*・*siras-*「知る・知らせる」(+as), *nor-*・*noser-*「乗る・乗せる」(+se), *ner-*・*nekas-*「寝る・寝かす」(+kas)
- ・ 他動詞を基本とする組み合わせ: *sas-*・*sasar-*「刺す・刺さる」(+ar), *war-*・*warer-*「割る・割れる」(+er)
- ・ 自他同形: (=ga / =o) *hirak-*「開く」
- ・ 意味的に対応する組み合わせ: *sin-*・*koros-*「死ぬ・殺す」
- ・ 上記以外: *kimar-*・*kimer-*「決まる・決める」, *taorer-*・*taos-*「倒れる・倒す」, *okir-*・*okos-*「起きる・起こす」, *mitir-*・*mitas-*「満ちる・満たす」, *arer-*・*aras-*「荒れる・荒らす」, *toRr-*・*toRs-*「通る・通す」

逆使役(自発)は、*kitawar-*(「鍛える」の逆使役・自発形), *obowar-*(「覚える」の逆使役・自発形), *akar-*(「空く」の逆使役・自発形)が確認できたが、他の例は確認できなかった。+a*r-*による逆使役の生産性については今後の課題である。

以上のヴォイスに関わる形式の他、標準語と同様、*aw-*による相互文も使用する (99)。

- (99) {オトコタチガ / オトコンターガ} ナグリアットル
 {otoko-taci=ga / otoko-NtaR=ga} nagur-i+aQ-tor-u
 {男-PL=NOM / 男-PL=NOM} 殴る-INF+合う-PF-NPST
 「男たちが殴り合っている」

9. 6. 3 可能

肯定可能は、子音語幹動詞の場合、接辞-*e*-または-(*e*)*re*-を前接する動詞に接続する (100)。母音語幹動詞の場合は、前接する動詞の語幹末尾の母音を消去して接辞-*e*-を接続する (101)、いわゆる「ら抜き言葉」を使用する。「ら抜き言葉」の場合は、接辞-(*e*)*re*-は許容されない。なお、肯定可能において能力可能と状況可能の形式による区別は存在しない。

- (100) a. タエーチョーガ イーデ¹¹ {イケル / イケレル}
 taicjoR=ga i-i=de {ik-e-ru / ik-ere-ru}
 体調=NOM 良い-NPST=CSL {行く-POT-NPST / 行く-POT-NPST}
 「体調が良いので行ける」
- b. テンキガ イーデ {イケルワ / イケレルワ}
 teNki=ga i-i=de {ik-e-ru=wa / ik-ere-ru=wa}
 天気=NOM 良い-NPST=CSL {行く-POT-NPST=SFP / 行く-POT-NPST=SFP}
 「天気が良いので行けるわ」
- (101) a. キョーワ テンキガ エーデ フジサンガ ミレル
 kjoR=wa teNki=ga jo-i=de huzisaN=ga mi-re-ru
 今日=TOP 天気=NOM 良い-NPST=CSL 富士山=NOM 見る-POT-NPST
 「今日は天気が良いから富士山が見られる」
- b. キョーワ タエーチョーガ エーデ ソトニ デレル
 kjoR=wa taicjoR=ga jo-i=de soto=ni de-re-ru
 今日=TOP 体調=NOM 良い-NPST=CSL 外=LOC 出る-POT-NPST
 「今日は体調が良いから外に出られる」

否定可能は、肯定可能の接辞-*e*及び-(*e*)*re*の否定形に加え、*joR*+否定形によって表す。なお、肯定可能において*joR*は使用しない。否定可能においての、能力可能と状況可能の形式による区別は存在しない。

¹¹ *jo-i=de* (エーデ)「良いので」の標準語形かと思われるも詳細は未調査。

- (102) a. アシガ イタエーノデ キョーワ
 asi=ga itai=node kjoR=wa
 足=NOM 痛い=CSL 今日=TOP
 {ヨー イカン / イケーセン / イケレーセン}
 {joR ik-aN / ik-e-RseN / ik-ere-Rse-N}
 {よく 行く -NEG.NPST / 行く -POT-NEG.NOST / 行く -POT-NEG.NPST }
 「足が痛いので今日は行けない。」
- b. アメガ フッテルデ
 ame=ga huQ-ter-u-de
 雨=NOM 降る -PF-NPST-CSL
 {ヨー イカン / イケーセン / イケレーセン}
 {joR ik-aN / ik-e-RseN / ik-ere-RseN}
 {よく 行く -NEG.NPST / 行く -POT-NEG.NPST / 行く -POT-NEG.NPST }
 「雨が降っているので行けない」

9. 6. 4 やりもらい

やりもらいは以下のように使用する。

表18：木曽川方言のやりもらい

		求心的恩恵		遠心的恩恵	
		非敬語形	敬語形	非敬語形	敬語形
与え手主語	本動詞	<i>kure-</i>	<i>kudarer- cjoRdai(s)-</i>	<i>jar-</i>	<i>age-</i>
	補助動詞	<i>te#kure-</i>	<i>te#kudarer- te#cjoRdai(s)-</i>	<i>te#jar-</i>	<i>te#age-</i>
受け手主語	本動詞	<i>moraw-</i>	<i>cjoRdai(s)-</i>		
	補助動詞	<i>-temaw-</i>	<i>-temaw-^{1 2}</i>		

標準語のやりもらいの体系とは主に以下の点において異なる。

- ・ 与え手を主語として求心的恩恵を表す場合、*kudarer-*及びその補助動詞形に加え、*cjoRdai(s)-*及びその補助動詞形を使用する（103）。
- ・ 受け手を主語として求心的恩恵を表す場合、敬語形において *itadak-*「頂く」は用いず、非

^{1 2} 目上に対しても非敬語形と同じ形を使用するが、*-temaw-*が敬語形であるかどうかは検討する余地がある。

敬語形の *moraw*-「貰う」または *cjoRdai(s)*-「頂戴する」を使用する。補助動詞形については、非敬語形、敬語形のいずれも *-temaw*-「～てもらう」を使用する (104)。

- ・ 求心的恩恵の行為指示を表す場合、敬語形には、*cjoRdai*「頂戴」及び *-te#cjoRdai*「～て頂戴」を使用する (105)¹³。動詞語幹 *cjoR* 及びその補助動詞形で行為指示を表す場合もある¹⁴が、この場合の敬意は他の形よりも下がる。なお、*moraw*-「貰う」及び *-temaw*-「～てもらう」によって行為指示を表すことはできるが、*kudarer*-「くださる」及び *-te#kudarer*-「てくださる」によって行為指示を表すことはできない。

- (103) a. センセーガ ホンオ {チョーダエーシタ / チョーダエータ / チョータ}
seNseR=ga hoN=o {cjoRdaisi-ta / cjoRdai-ta / cjoR-ta}
先生=NOM 本=ACC {頂戴する-PST / 頂戴する-PST / 頂戴する-PST}
「先生が本をくださった」
- b. センセーガ ホン クダレタ
seNseR=ga hoN kudare-ta.
先生=NOM 本 下さる-PST
「先生が本をくださった」
- c. センセーガ ホンオ {ヨンデチョーダエーシタ / ヨンデチョータ}
seNseR=ga hoN=o {joN-de#cjoRdaisi-ta / joN-de#cjoR-ta}
先生=NOM 本=ACC {読む-SEQ#BEN.HON-PST / 読む-SEQ#BEN.HON-PST}
「先生が本を読んでくださった」
- d. イツモ センセーワ ホンオ ヨンデクダレル
icumo seNseR=wa hoN=o joN-de#kudare-ru
いつも 先生=TOP 本=ACC 読む-SEQ#BEN.HON-NPST
「いつも先生は本を読んでくださる」
- (104) a. センセーカラ ホンオ チョーダイシタ
seNseR=kara hoN=o cjoRdaisi-ta
先生=ABL 本=ACC 頂戴する.BEN.HON-PST
「先生から本をいただいた」
- b. センセーニ ホンオ ヨンデマッタ
seNse=ni hoN=o joN-demaQ-ta
先生=LOC 本=ACC 読む-SEQ.もらう-PST
「先生に本を読んでいただいた」

¹³ 「チョーダイ」に関しては、*cjoRs*-「チョース」<*cjoRdai(s)*-「チョーダエース」<*cjoRdai(s)*-「チョーダイスル」の順に丁寧さが増す。補助動詞形もこれに準ずる。

¹⁴ 動詞語幹による行為指示は、*cjo*「チョ」及びその補助動詞形は許容されない。

(105) a. ソノ ホンオ チョーダイ

sono hoN=o cjoRdai

その 本=ACC くれる .BEN.IMP

「(孫に対して) その本をくれ」

b. ホンオ {ヨンデチョーダイマセ / ヨンデマエンカ}

hoN=o {joN-de#cjoRdai-mas-e / joN-dema-e-N=ka}

本=ACC {読む-SEQ#BEN.POL-POL-IMP/ 読む-SEQ. もらう -POT-NEG.NPST=Q}

「本を読んでください」

9. 7 コピュラ文とその周辺

名詞述語文は=jaを名詞句に付接して作られる。個人差があり、話者によっては=daを用いることもある。名詞句のタイプによって包摂(106a)と等価(106b)がありうるが、構文的相違は存在しない。

(106) a. タローワ ガクセーヤワ

taroR=wa gakuseR=ja=wa

太郎=TOP 学生=COP=SFP

「太郎は学生だ」

b. タローワ ワシノ チョーナンヤ

taroR=wa wasi=no cjoRnaN=ja

太郎=TOP I=GEN 長男=COP

「太郎は私の長男だ」

モノや有生物の場所または存在を表す表現はいずれも「ある」「おる」で表される。場所を表す場合、A=wa B=ni ar-u または B=ni {A=ga / A=N} ar-u という構文をとる(107a,b)。一方、A=ga B=ni ar-uはとれない(107c)。

(107) (お宅はどこにあるのかと聞かれて)

a. イエワ キソガワニ アル

ie=wa kisogawa=ni ar-u

家=TOP 木曽川=LOC ある-NPST

「家は木曽川にある」

b. キソガワニ イエン アル

kisogawa=ni ie=N ar-u

木曽川=LOC 家=NOM ある-NPST

「木曽川に家がある」

- c. *イエガ キソガワニ アル
*ie=ga kisogawa=ni ar-u
家=NOM 木曽川=LOC ある-NPST
「*家が木曽川にある」

存在を表す表現は B=ni(=wa) {A=ga / A=N / A=wa} ar-uという構文をとる (108)。

(108) (木曽川に何がある？と聞かれて)

- a. キソガワニ クロダジョーシガ アル
kisogawa=ni kurodazjoRsi=ga ar-u
木曽川=LOC 黒田城趾=NOM ある-NPST
「木曽川に黒田城趾がある」
- b. キソガワチョーニ(ワ) クロダジョーシン アル
kisogawa+cjoR=ni(=wa) kurodazjoRsi=N ar-u
木曽川+町=LOC(=TOP) 黒田城趾=NOM ある-NPST
「木曽川に(は)黒田城址がある」
- c. キソガワチョーニ クロダジョーシワ アル
kisogawa+cjoR=ni kurodazjoRsi=wa ar-u
木曽川+町=LOC 黒田城趾=TOP ある-NPST
「木曽川に黒田城趾はある」

また、述語部分は主格名詞句の有生性によって「ある」(107, 108)と「おる」(109a)が使い分けられるが、移動可能な無生物も「おる」をとることができる(109b,c)。

- (109) a. アソコノ ヒロバニ ウマガ オルワナモ
asoko=no hiroba=ni uma=ga or-u=wa=namo
あそこ=GEN 広場=LOC 馬=NOM いる-NPST=SFP=SFP
「あそこの広場に馬がいるね」
- b. キョーワ タクシー ヨーケ オルナモ
kjoR=wa takusiR joRke or-u=namo
今日=TOP タクシー たくさん いる-NPST=SFP
「今日はタクシーがたくさんいるね」

- c. アソコニ コワケタ タクシーガ アル
 asoko=ni kowake-ta takusiR=ga ar-u
 あそこ=LOC 壊れる-PST タクシー=NOM ある-NPST
 「あそこに壊れたタクシーがある」

所有を表す述語は「持つ」のみならず「ある」「おる」も許容される (110)。

- (110) a. ワシャー クルマ ニダエー モットルワイ
 wasjaR kuruma ni-dai moQ-tor-u=wai
 1.TOP 車 二-台 持つ-PF-NPST=SEF
 「私は車を二台持っている」
- b. ワシワ イエニ クルマ ニダエー モットル
 wasi=wa ie=ni kuruma ni-dai mot-tor-u
 1=TOP 家=LOC 車 二-台 持つ-PF-NPST
 「私は家に車を二台持っている」
- c. ワシニワ (イエニ) クルマ ニダエー アル
 wasi=ni=wa (ie=ni) kuruma ni-dai ar-u
 1=LOC=TOP (家=LOC) 車 二-台 ある-NPST
 「私には家に車が二台ある」
- d. ワシニワ コキョーニ オトトン フターリ {アル / オル}
 wasi=ni=wa kokjoR=ni ototo=N hutaRri {ar-u / or-u}
 1=LOC=TOP 故郷=LOC 弟=NOM 二人 {ある-NPST / いる-NPST}
 「私には故郷に弟が二人ある/いる」

所有表現と場所・存在表現は、存在動詞を用いる点や、「キシガワニ」「ワシニワ」「イエニ」のように場所を示しうる点など共通するところがある (=107, 108と110b,c,d)。ただし、場所・存在表現にあった有生性や移動の可否による存在動詞の使い分けは、所有表現においては中和し、有生物主語でも「ある」を用いることができる。他方、所有表現とコピュラ文は述語のタイプも述語の取り得る項の数も異なっている (=106と110)。なお、所有表現に「持つ」を用いることから、この言語が基本的には主格対格型であることを示唆する。

名詞句内部の所有表現は属格の=no / =Nで表す (111. 7.2.2節も参照)。所有者名詞句の有生性による違いはない (=111a,bと111c)。また被所有名詞句の有生性による違いもない (111aと111b)。譲渡可能性の違いによる句構造の違いも特になさそうである (=111bと111d)。

(111) a. オレノ オヤジワ オソガエー

ore=no ojazi=wa osoga-i

俺=GEN 親父=TOP 怖い-NPST

「俺の親父は怖い」

b. ワシノ メオ ミテチョー

wasi=no me=o mi-te#cjoR

1=GEN 目=ACC 見る-SEQ#BEN.IMP

「私の目を見てください」

c. サエーコロノ メン ソロットタ

saikoro=no me=N soroQ-ta

さいころ=GEN 目=NOM そろろ-PST

「さいころの目が揃った」

d. ワシノ ハタオ アンタニ アエーマス

wasi=no hata=o aNta=ni ai-mas-u

1=GEN 畑=ACC 2=DAT あげる-POL-NPST

「私の畑をあなたにあげます」

9. 8 テンス

動詞述語文のテンスは非過去-*(r)u* (=112, 113) と過去-*ta* (114) の対立を持つ。現在を表す場合、動作動詞では動詞語幹に-*joRr*-や-*tor*-を接続するが(9.10節)、状態動詞の場合や、動作動詞で習慣や一般真理を表す場合には-*u*で現在を表すことができる(113)。また、接辞-*u*を接続した動作動詞は、動詞のタイプや文脈、人称によって意志や希求を表しうる(112)。未来を表す専用の接辞は存在しない。

(112) アシタワ ワシン イク

asita=wa wasi=N ik-u

明日=TOP 1=NOM 行く-NPST

「明日は私が行く」

(113) ニワニ {イヌガ / イヌン} オル

niwa=ni {inu=ga / inu=N} or-u

庭=LOC {犬=NOM / 犬=NOM} いる-NPST

「庭に犬がいる」

- (114) ワシワ キンノー イエニ オッタ
 wasi=wa kiNnoR ie=ni oQ-ta
 I=TOP 昨日 家=LOC いる-PST
 「私は昨日家にいた」

形容詞述語の場合も非過去-*i* (115) と過去-*ta* (116) の対立がある。ただし、過去形を作る場合、非過去の接辞-*i*が形容詞語幹に取り込まれている形容詞もある (116b)。

- (115) オレノ オヤジワ オソガエー
 ore=no ojazi=wa osoga-i
 I=GEN 親父=TOP 怖い-NPST
 「俺の親父は怖い」

- (116) a. ソレ ヨカッタナモ
 sore jok-aQ-ta=namo
 それ 良い-VLZ-PST=SFP
 「それはよかったね」
- b. オレノ オヤジワ ムカシワ オソガエーカッタナー
 ore=no ojazi=wa mukasi=wa osogai-kaQ-ta=naR
 I=GEN 親父=TOP 昔=TOP 怖い-VLZ-PST=SFP
 「俺の親父は昔は怖かったなあ」

9. 9 モダリティ

屈折の語尾として現れるモダリティは、意志・命令である。このうち意志は、子音語幹動詞に -*o(R)* (117a), 母音語幹動詞及び「する」など変則的な活用の動詞に -*joR* (117b) を接続させて表現する。これらは対話的な申し出 (117a) や非対話的な意志の表出 (117b) として用いられることが多い。聞き手に対する行為の実行宣言は屈折接辞 -*u* で表す方が一般的である (9. 8節の (112) も参照)。これらの機能分担は標準語と共通点がある¹⁵。

- (117) a. アンタガ イカンノヤッタラ ワシン イコカ
 aNta=ga ik-aN=no=jaQ=tara wasi=N ik-o=ka
 2=NOM 行く-NEG.NPST=NLZ=COP=CND I=NOM 行く-INT=Q
 「あなたが行かないのなら私が行こうか」

¹⁵ 標準語の「う」と動詞の言い切り形の機能分担については日本語記述文法研究会編 (2003) を参照した。

- b. ワシャー アシタ シビヤーオ ミヨーカナ
wasjaR asita sibjaR=o mi-joR=ka=na
1.TOP 明日 芝居=ACC 見る-INT=Q=SFP
「私は明日芝居を見ようかな」

命令の形として少なくとも2つのタイプがある。一つは所謂命令形命令で違反矯正的な命令として現れる傾向にある(118)。子音語幹動詞の場合は $-e$ を、母音語幹動詞の場合は $-jo$ 、「来る」の場合は $-i$ 、「する」の場合は $-jo$ を動詞語幹に付接して作られる。もう一つは、動詞語幹に $-jaR$ を付接した形をとる。こちらは現場指示的な命令として用いられる傾向にある(119)¹⁶。

- (118) a. オイ グズグズシトラズニ ハヨ ノメ
oi guzuguzu+si-tor-azuni haja-u nom-e
おい ぐずぐず+する-PF-SEQ.NEG 早い-INF 飲む-IMP
「おい、ぐずぐずしていないで早く飲め」
- b. アンショーバンゴー オソエヨ
aNsjorBanGoR osoe-jo
暗証番号 教える-IMP
「(強盗に襲われて) 暗証番号を教えろ」
- c. コッチ コイ
koQci ko-i
こっち 来る-IMP
「こっちに来い」
- d. グズグズシトラスト ハヨ ベンキョーシヨ
guzuguzu+si-tor-asuto haja-u beNkjoR+si-jo
ぐずぐず+する-PF-SEQ.NEG 早い-INF 勉強+する-IMP
「ぐずぐずしていないで早く勉強しろ」
- (119) a. オチャ イレタデー ノミヤー
ocja ire-ta=deR nom-jaR
お茶 淹れる-PST=CSL 飲む-IMP
「お茶淹れたから飲んでね」

¹⁶ $-jaR$ は話し手以外に利益がある場合に用いられている可能性もある。行為の「利益」や「選択性」の観点からさらに調査が必要である。なお、10.4節も参照。

- b. ハヨー コージ ヤリヤー
 haja-u koRzi jar-jaR
 早い-INF 工事 やる-IMP
 「早く工事しろ」

終助詞には次のものがある；意志形-(j)o(R)に接続し、勧誘を表す=*mai* [=mæ:], 疑問を表す=*ka*, =*kai* [=kæ:], 禁止の=*na*, 依頼など行為指示表現と共に起する=*eka*, 伝達態度に係わる=*ne(R)*, =*jo*, =*wa.i*, =*zo*, =*gaja* ~ *gjaR*, =*gana*, =*gane*, 丁寧さと伝達態度を表す=*namo*, =*gai* [gæ:], 認識や詠嘆¹⁷を表す非対話的な=*na(R)*, =*wa*など。終助詞の詳細な記述は現段階の調査結果からは難しいため、用例を列挙するに留め、今後の課題としたい。

- (120) ココエ イリヤー イッシヨニ サケ ノモマエー
 koko=i¹⁸ ir-jaR issjoni sake nom-o=mai
 ここ=DAT 来る.HON-IMP 一緒に 酒 飲む-INT=SFP
 「ここにおいで、一緒に酒を飲もうよ」

- (121) アノ カシワ アレラ(一)ガ タベタンカ
 ano kasi=wa are-ra(R)=ga tabe-ta=N=ka
 あの 菓子=TOP あいつ-PL=NOM 食べる-PST=NLZ=Q
 「あの菓子はあいつらが食べたのか？」

- (122) ヤマノ ムコーニワ ナンカ アルカエー
 jama=no mukoR=ni=wa naN=ka ar-u=kai
 山=GEN 向こう=LOC=TOP 何=Q ある-NPST=Q
 「山の向こうには何かあるの？」

- (123) モー タローノ シュクダエー ミヤースナ
 moR taroR=no sjukudai mi-jaRs-u=na
 もう 太郎=GEN 宿題 見る-HON-NPST=SFP
 「(ためにならないから) もう太郎の宿題を見ないで」

¹⁷ この用語は不適切だが、現時点でこの終助詞が何を表しているのかははっきりしないため、このように記述しておく。

¹⁸ 音声的には[koko.e]であり、eの部分には標準語の方向格=e「へ」とも考えられる。しかし、ここでは、=eという助詞が本方言においては現在のところ認められていない点、oiという二重母音が融合した結果として、しばしば[œ:]ではなく[oe]と実現する点なども考慮して、[kokoe]の[e]は、与格=eがo終わりの名詞に続いて生じた二重母音o-iが融合した結果生じたものだと考えておく。なお詳細な調査が必要であろう。

- (124) チョット デカケルデ トジマリシトエーテエカ
cjoQto deka-ke-ru=de tozimari+si-toi-te=eka
ちょっと 出かける-NPST=CSL 戸締まり+ する-SEQ.おく-SEQ=SFP
「ちょっと出かけるから戸締まりしておいてね」
- (125) コノ ヘンワ トッテモ シズカヤネー
kono heN=wa toQtemo sizuka=ja=neR
この 辺=TOP とても 静か=COP=SFP
「この辺はとっても静かだね」
- (126) ソレ ワタシヤヨ
sore watasi=ja=jo
それ 1=COP=SFP
「(写真に写っている人をさして) それは私だよ」
- (127) ワシャー クルマ ニダエー モットルワイ
wasjaR kuruma ni-dai mot-tor-u=wai
1.TOP 車 二-台 持つ-PF-NPST=SFP
「私は車を二台持っている。」
- (128) アノ カシワ オレターガ タベルノデ オマエニワ ヤランゾ
ano kasi=wa ore-taR=ga tabe-ru=node omae=ni=wa jar-aN=zo
あの 菓子=TOP 1-PL=NOM 食べる-NPST=CSL 2=LOC=TOP やる-NEG.NPST=SFP
「あの菓子は俺たちが食べるから、お前にはやらないぞ。」
- (129) タローガ ワカカタラ エーギャー
taroR=ga waka-kaQ=tara jo-i=gjaR
太郎=NOM 若い-VLZ=CND 良い-NPST=SFP
「太郎が若かったらいいのになあ」
- (130) アメヤガナ
ame=ja=gana
雨=COP=SFP
「雨じゃないか」
- (131) ソレ アンタヤガネ
sore aNta=ja=gane
それ 2=COP=SFP
「それはあなたじゃないか」

- (132) アシタワ ヤスミヤワナモ
 asita=wa jasumi=ja=wa=namo
 明日=TOP 休み=COP=SFP=SFP
 「明日は休み（です）よ」

- (133) アシタ アメヤガエー
 asita ame=ja=gai
 明日 雨=COP=SFP
 「明日は雨ですよ」

- (134) アレ タベタエーナー
 are tabe-ta-i=naR
 あれ 食べる-DES-NPST=SFP
 「あれを食べたいな」

- (135) アソコカラ オチタンヤワ。
 asoko=kara oci-ta=N=ja=wa
 あそこ=ABL 落ちる-PST=NLZ=COP=SFP
 「あそこから落ちたんだわ」

命題に対する話し手の認識を表すモダリティ要素は以下の通りである。まず、伝聞を表す=gena, =to, =(Q)teがある。=genaは準体助詞が不要だが、それ以外は必要である。希望を表す-(i)ta-は形容詞と同じ活用をする。その他、推量形=jaro(o), 証拠性を表す=rasiR, =mitai [mitæ:], =joR, 蓋然性を表す=hazu, =ni cigai na-, kimaQ-tor-u, =ka=mo sire-N, 当為を表す-ana kaN, -ana, 様態を表す-(i)soR, 説明を表す=N {=da / =ja}がある。これらの認識系モダリティ形式についても十分に記述する用意がないため、それぞれの機能差や相互承接及び終助詞との共起関係は今後の課題とし、要素の列挙にとどめる。

- (136) a. イエヤスワ {アタマン / アタマガ} ヨカッタゲナ
 iejasu=wa {atama=N / atama=ga} jo-kaQ-ta=gena
 家康=TOP {頭=NOM / 頭=NOM} 良い-VLZ-PST=HS
 「家康は頭が良かったそうだ」
- b. タロー アシタ {タエーインスルンヤ(ッ)テ / タエーインスルンヤト}
 taroR asita {tai.iN+su-ru=N=ja=(Q)te / tai.iN+su-ru=N=ja=to}
 太郎 明日 {退院+する-NPST=NLZ=COP=QT / 退院+する-NPST=NLZ=COP=QT}
 「(噂を聞いて) 太郎は明日退院するんだって」

- (137) コンナ イエニ スミタエー
koNna ie=ni sum-ita-i
こんな 家=LOC 住む-DES-NPST
「こんな家に住みたい」
- (138) マンダ ガクセーヤロー
maNda gakuseR=ja-roR
まだ 学生=COP-LCTN
「(太郎は) まだ学生だろう」
- (139) ドーヤラ ユンベワ アメガ
doRjara juNbe=wa ame=ga
どうやら タベ=TOP 雨=NOM
{フッタミタエーヤ / フッタラシー / フッタヨーヤ}
{huQ-ta=mitai=ja / huQ-ta=rasi-i / huQ-ta=joR=ja}
{降る-PST=LCTN=COP / 降る-PST=LCTN-NPST / 降る-PST=LCTN=COP}
「どうやらタベは雨が降ったみたいだ/らしいようだ」
- (140) ニゲタ ドロボーワ コノ ヘンノ ドッカニ オルハズ
nige-ta doroboR=wa kono heN=no doQka=ni or-u=hazu
逃げる-PST 泥棒=TOP この 辺=GEN どこか=LOC いる-NPST=LCTN
「逃げた泥棒はこの辺のどこかにいるはずだ」
- (141) アエーツガ ハンニンカモ シレン
aicu=ga haNniN=ka=mo sire-N
あいつ=NOM 犯人=Q=ADT 知れる-NEG.NPST
「あいつが犯人かもしれない」
- (142) アリバエーガ ナエーデ ゼッタエー アエーツガ ハンニンニ
aribai=ga nai=de zeQtai aicu=ga haNniN=ni
アリバイ=NOM 無い-NPST=CSL 絶対 あいつ=NOM 犯人=LOC
{チガエーナエー / キマツトル}
{cigai#na-i / kimaQ-tor-u}
{違い#無い-NPST / 決まる-PF-NPST}
「アリバイが無いから絶対あいつが犯人に決まっている」
- (143) ハヨー {デンワセナー / デンワセナ カン}
haja-u {deNwa+se-naR / deNwa+se-na kaN}
早い-INF {電話+する-NEG.CND / 電話+する-NEG.CND 駄目}
「(独り言/相手に伝える場合ともに) 早く電話しなければならない」

- (144) マー チョコットデ アメン フリソーヤ。
 maR cjokoQto=de ame=N hur-isoR=ja.
 もう 少し=INST 雨=NOM 降る-SEEM=COP
 「もう少しで雨が降りそうだ」
- (145) オクレテ スンマセン ジュータエーシトッタンダワ
 okure-te suNmaseN zjuRtai+si-toQ-ta=N=da=wa
 遅れる-SEQ すみません 渋滞+する-PF-PST=NLZ=COP=SFP
 「遅れてすみません、渋滞していたんです」

9. 10 アスペクト

9. 10. 1 接辞によるアスペクト標示

アスペクトを担う有標の接辞として *-joRr-* と *-tor-* が存在する。両者の対立は動作動詞では中和し、動作が継続していることを表すが (146), 変化動詞に接続する場合, *-joRr-* が imperfective (不完成相, 147), *-tor-* が perfect (パーフェクト相, 148) として対立がある。直前の動詞の語彙的アスペクトによって、両者の意味は変わるが、このように記述しておく。

- (146) コドモガ {アルイートル / アルキョール}
 kodomo=ga {arui-tor-u / aruk-joRr-u}
 子供=NOM {歩く-PF=NPST / 歩く-IPFV-NPST}
 「子供が歩いている」
- (147) キガ タオレヨール
 ki=ga taore-joRr-u
 木=NOM 倒れる-IPFV-NPST
 「木が倒れていく」
- (148) {キガ / キン} タオレトル
 {ki=ga / ki=N} taore-tor-u
 {木=NOM / 木=NOM} 倒れる-PF-NPST
 「木が倒れている」

-joRr- 及び *-tor-* は存在動詞に接続することはできないが, *-joRr-* のみ形容詞に接続して過去の一時的状態を表すことができる (149)。ただし, 「昨日」のような近い過去を表すことはできず, 遠い過去である必要がある (149b)。

- (149) a. ムカシノ コドモワ ツヨカリオッタ
mukasi=no kodomo=wa cujo-kar-ioQ-ta
昔=GEN 子供=TOP 強い-VLZ-IPFV-PST
「昔の子供は強かった（今はそうではない）」
- b. ??キノーノ ユーヒワ アカカリオッタ。
??kinoR=no juRhi=wa aka-kar-ioQ-ta.
昨日=GEN 夕日=TOP 赤い-VLZ-IPFV-PST
「??昨日の夕日は赤かった（今日はそうではない）」

9. 10. 2 アスペクト語幹とアスペクト補助動詞

上記の他、アスペクト語幹として+kaker-「～かける」、+kakar-「～かかる」、+owar-「～終わる」、+hazimer-「～始める」、+cuzuker-「～続ける」などがある。+oer-（標準語の「～終わる」に対応する）は使用しない。

- (150) キガ タオレカケトル
ki=ga taore+kake-tor-u
木=NOM 倒れる+かける-PF-NPST
「木が倒れかけている」
- (151) ノリカカッタケド ドアガ シマッテマッタ
nor-i+kakaQ-ta=kedo doa=ga simaQ-temaQ-ta
乗る-INF+かかる-PST=CNC ドア=NOM 閉まる-SEQ. しまう-PST
「（電車に）乗りかけたがドアが閉まってしまった」
- (152) タベオワットルヨ
tabe+owaQ-tor-u=jo
食べる+終わる-PF-NPST=SFP
「（すでに）食べ終わっているよ」
- (153) ヨーヨト {ベンキョーシハジメタワ / ベンキョーシカケタワ}
joRjoto {beNkjoR+si+hazime-ta=wa / beNkjoR+si+kake-ta=wa}
ようやく {勉強+する+始める-PST=SFP / 勉強+する+かける-PST=SFP}
「ようやく（子供が）勉強し始めたわ」
- (154) ブーット ハシリツヅケトッタラ マメガ デキタ
zuRQto hasir-i+cuzuke-toQ=tara mame=NOM deki-ta
ずっと 走る-INF+続ける-PF=CND 肉刺=NOM 出来る-PST
「ずっと走り続けていたら肉刺が出来た」

アスペクト補助動詞として、次のものがある；意図的な動作結果を表す *-tar-* ~ *-dar- (/ -te#ar- /)*。*-tar-*は動作の対象を主格にとり、動作主を背景化するものである。標準語の「～テアル」は、不利益を表しにくい、それに形式的に対応する本方言の *-tar-*にはそうした制限はない(155b)。その他に、意図的な動作を表す *-tek-* ~ *-dek- (/ -te#ok- /)*、非意図的な動作かつ不可逆性を表す *-te ma(w)-* ~ *-dema(w)-*、動作の進展を表す *-te#k-* ~ *-tek- (/ -te#ku-ru- /)*、*-te#ik-*などがある。これらについての詳細な調査は今後の課題として、現時点では例を挙げるに留める(8.1.1節も参照)。

- (155) a. カレーガ ツクッタル
 kareR=ga cukuQ-tar-u
 カレー=NOM 作る-SEQ.ある-NPST
 「カレーが作ってある」
- b. カギガ コウェータル
 kagi=ga kowa-i-tar-u
 鍵=NOM 壊す-INF-SEQ.ある-NPST
 「鍵が壊してある (=壊されている)」
- (156) ホンナラ イッテクワ
 hoN=nara iQ-tek-u=wa
 そう=COP.CND 言う-SEQ.おく-NPST=SFP
 「(休むと伝えて欲しいと頼まれて) それなら言うておくよ。」
- (157) ウッカリ コドモノ オモチャ(オ) コウェーテマッタ
 uQkari kodomo=no omocja(=o) kowai-temaQ-ta
 うっかり 子供=GEN おもちゃ(=ACC) 壊す-SEQ.しまう-PST
 「うっかり子供のおもちゃを壊してしまった」
- (158) アメガ フッテキトル
 ame=ga huQ-te#ki-tor-u
 雨=NOM 降る-SEQ#くる-PF-NPST
 「雨が降ってきている」
- (159) ドンドン ヒトガ シンデイキョール
 doNdoN hito=ga siN-de#ik-joRr-u
 どんだん 人=NOM 死ぬ-SEQ#いく-IPFV-NPST
 「(病気や戦争などで) どんだん人が死んでいっている」

アスペクト接辞 *-joRr-*、*-tor-*は、アスペクト語幹・補助動詞と比較すると文法化しているといえる。その理由の一つとして、(154), (158), (159)のようにアスペクト語幹・補助動詞に *-joRr-*、*-tor-*が付接可能であり、これらの接辞の方がより包括的なものであるためである。また、アスペクト語幹・補助動詞は意味的な制約から *-joRr-*、*-tor-*に比べて付接できる動詞が限られる点も

理由の一つとして挙げられよう (160)。

- (160) a. *キガ タオレオワッタ
 *ki=ga taore+owaQ-ta
 *木=NOM 倒れる+終わる -PST
 「*木が倒れ終わった」
 b. *カゼガ フイテアル
 *kaze=ga hui-te#ar-u
 *風=NOM 吹く -SEQ#ある -NPST
 「*風が吹いてある」

ただし、形態上アスペクト接辞 *-tor-* が完全に文法化しているとは断定しづらい。*-tor-* は対比の *=wa* を挿入し、*-te=wa or-* という形を作ることができるためである (161)。他方、*-joRr-* は、動詞語幹と当該接辞との間に *=wa* の挿入を許さない。同じアスペクト接辞でも文法化の度合いが異なっていることが伺える。また、*-joRr-*、*-tor-* もアスペクト語幹・補助動詞と同じく状態動詞には接続できない、*-tor-* とアスペクト語幹・補助動詞は形容詞にも接続できないという共通の制限がある。したがって、アスペクト接辞とアスペクト語幹・補助動詞の文法化の度合いは、相対的な違いにとどまると言える。

- (161) ツクッテワ オルケド
 cukuQ-te=wa or-u=kedo
 作る -SEQ=CNTR いる -NPST=CNC
 「(料理を) 作ってはいるけど」

9. 1.1 その他

動詞の活用語尾としてのエビデンシャリティーを表す要素は存在しないが、命題の外側に位置する間接的エビデンシャリティー要素が存在する (9.9節)。

談話に関する表現については今回談話調査を実施していないため、分からない点が多い。しかしながら、調査の中で談話管理に関する表現が得られたので、ここに記述しておく。本方言では動詞の接辞などによるスイッチリファレンス専用の接辞や接語は存在しない。一つの文で主語の交替が起こる場合は、それぞれの節における主語が必ず明示される。

- (162) キンノー ワシワ オオサカエー イッテ
 kiNnoR wasi=wa oRsaka=i iQ-te
 昨日 I=TOP 大阪=DAT 行く-SEQ
 アエーツワ キョートエー イッタ
 aicu=wa kjoRto=i iQ-ta
 あいつ=TOP 京都=DAT 行く-PST
 「昨日私は大阪に行ってあいつは京都に行った」

確認要求的表現のうち、命題確認要求はコピュラ推量形の=*ja-ro(R)*あるいは上昇イントネーション(↑)を伴った=*ja#nai=ka* [janæ:ka]を用いる(163)。知識確認要求は=*ja-ro(R)*あるいは=*gaja*, 下降イントネーション(↓)を伴った=*ja#nai=ka* [janæ:ka]を用いる(164)。

- (163) a. オマエーサンノ オトツツァンワ マエーバン サケ ノンドルヤロ
 omai-saN=no otoQcaN=wa maibaN sake noN-dor-u=ja-ro
 2-HON=GEN お父さん=TOP 毎晩 酒 飲む-PF-NPST=COP-LCTN
 「お前のお父さんは毎晩お酒を飲んでいるだろう」
 b. シラナンダヤナエーカ
 sir-anaNda=ja#na-i=ka↑
 知る-NEG.PST=COP#無い-NPST=Q
 「(もしかして太郎は) 知らなかったんじゃないか？」
- (164) a. アソコニ ユービンキョク アルヤロ. ソコオ マガリヤー…
 asoko=ni juRbiNkjoku ar-u=ja-ro. soko=o magari-jaR
 あそこ=LOC 郵便局 ある-NPST=COP-LCTN そこ=ACC 曲がる-CND
 「あそこに郵便局があるだろう？そこを曲がると…」
 b. ホレ ミヨ {シラナンダガヤ / シラナンダヤナエーカ↓}
 hore mi-jo {sir-anaNda=gaja / sir-anaNda=ja#na-i=ka}
 ほら 見る-IMP {知る-NEG.PST=SFP / 知る-NEG.PST=COP#無い-NPST=Q}
 「ほらみろ, (やっぱり太郎は) 知らなかったじゃないか」

9. 12 待遇

9. 12. 1 尊敬

ここで言う「尊敬」とは「主語に対する上位待遇」を意味する。尊敬接辞としては, *-jaR(s)-*, *-(j)asse-*が認められるが, 両者の敬意の差などについての詳しい調査には至っていない。

- (165) キョーノ シンブン {ヨミヤータカ / ヨマッセタカ}
kjoR=no siNbuN {jom-jaR-ta=ka / jom-asse-ta=ka}
今日=GEN 新聞 {読む-HON-PST=Q / 読む-HON-PAST=Q}
「今日の新聞を読まれましたか」

9. 1 2. 2 丁寧

聞き手に対する待遇を表す「丁寧」の形式としては、*-(i)mas-*がある。この接辞の屈折等については未調査である。

- (166) ワシワ アシタワ ウチニ オリマスデ
wasi=wa asita=wa uci=ni or-imas-u=de
I=TOP 明日=TOP 家=LOC 居る-POL-NPST=CSL
「私は明日は家にいますから」

この他、終助詞=*namo*は、相手への伝達に際して「丁寧」な態度を表すものとされる(9.9節)。また、名詞述語文(コピュラ文)では、=*ja(R)*よりも=*ja-i*とした方が丁寧であるというが、詳細については今後の調査課題である。

9. 1 3 情報構造

9. 1 3. 1 主題化

主題化される要素は、無助詞で文頭に置かれることが多いが、必ずしも文頭でなくても良い。あるいは、提題助詞=*wa*を伴う場合もある。目的語が無助詞であることとの関連については9.2節で既に述べた。

- (167) アノ サラ(ワ) タローン ワッタンヤワ
ano sara(=wa) taroR=N waQ-ta=N=ja=wa
あの 皿(=TOP) 太郎=NOM 割る-PST=NLZ=COP=SFP
「あの皿は、太郎が割ったのだよ」

9. 1 3. 2 焦点化などについて

焦点化に関する詳細な調査はできていないが、主語が焦点化される場合には(=*N*ではなく)=*ga*が現れやすく、目的語が焦点化される場合には=*o*が現れやすいようではある(例は略)。

また、以下に示すように=*koso*, =*kosari*という形式も見られる。対比的な取り立てを表すものと考えられるが、詳細は今後の課題である。

- (168) オマエーサンヤデコソ カネ カシタンダガネ
omaisaN=ja=de=koso kane kasi-ta=N=da=ga=ne
2=COP=CSL=FOC 金 貸す -PST=NLZ=COP=SFP=SFP
「あなただから、お金を貸したのだ（他の人であれば貸さない、ということを含意）」
- (169) オヤヤデコサリ シンパエースルンダワ
oja=ja=de=kosari siNpai+sur-u=N=da=wa
親=COP=CSL=FOC 心配+する -NPST=NLZ=COP=SFP
「親だからこそ（お前を）心配するのだ」

その他、イントネーションと情報構造の関係などについては未調査である。

10 複文

10.1 副詞節

テンス標示のない副詞節を導く副動詞については、4.1.2 節で既に述べた。ここでは、その一覧を再掲し、例を挙げる。

表 11：副動詞の屈折

		子音語幹動詞	母音語幹動詞	来る	する
中止	肯定	-te ~ -de	-te	ki-te	si-te
	否定 1	-asuto	-suto	ko-suto	se-suto
	否定 2	-azuni	-zuni	ko-zuni	se-zuni
条件 1	肯定	-ja	-ja	ko-ja	si-ja ~ se-ja
	否定	-ana	-na	ko-na	si-na se-na
条件 2	肯定	-tara ~ dara	-tara	ki-tara	si-tara
	否定	-anaNdara	-naNdara	ko-naNdara	si-naNdara
同時		-inagra	-nagara	ki-nagara	si-nagara

- (170) ワシワ キンノー ジュージニ イエー カエーッテ

wasi=wa kiNnoR zjuR-zi=ni ie-i kaiQ-te

1=TOP 昨日 10-時=LOC 家=DAT 帰る-SEQ

チョコット テレビ ミテ ネタ

cjokoQto terebi mi-te ne-ta

少し テレビ 見る-SEQ 寝る-PST

「私は昨日、10 時に家に帰って、少しテレビを見て、寝た」

- (171) キンノーワ ウチー カエーッテ フロエー {ハエーラズニ / ハエーラスト} ネタ

kiNnoR=wa uci-i kaiQ-te huro-i {hair-azuni / hair-asuto} ne-ta

昨日=TOP 家-DAT 帰る-SEQ 風呂-DAT {入る-SEQ.NEG / 入る-SEQ.NEG} 寝る-PST

「昨日は家に帰って、風呂に入らないで、寝た」

- (172) イチニ イチ タシャ ニン ナル

ici=ni ici tas-ja ni=N nar-u

一=LOC 一 足す-CND 二=LOC なる-NPST

「一に一を足せば二になる」

- (173) オキナ ホカットケ

oki-na hokaQ-tok-e

起きる-CND.NEG 捨てる-SEQ.おく-IMP

「起きなければ、放っておけ」

- (174) アシタ アメン フッタラ コマル

asita ame=N huQ-tara komar-u

明日 雨=NOM 降る-CND 困る-NPST

「明日雨が降ったら、困る」

- (175) アシタ アメン フラナンダラ エーニナー
 asita ame=N hur-anaNdara jo-i=ni=naR
 明日 雨=NOM 降る-CND.NEG 良い-NPST=CNC=SFP
 「明日雨が降らなければ、良いのに」
- (176) アエツワ イツモ シンブン ヨミナガラ ゴハン クー
 aicu=wa iQcumo siNbuN jom-inagara gohaN ku-u
 あいつ=TOP いつも 新聞 読む-SIM ご飯 食べる-NPST
 「あいつはいつも新聞を読みながらご飯を食べる」

テンス標示される副詞節を導く接続助詞については、8.1.3 節で既に述べたように、=de（原因・理由）、=ni（逆接 1）、=kedo（逆接 2）、=ga（逆接 3）がある。ここでは、その例をいくつか挙げる。

- (177) ジカン ナエーデ ハヨ イコマエー
 zikaN na-i=de haja-u ik-o=mai
 時間 無い-NPST=CSL 早い-INF 行く-INT=SFP
 「時間がないから、早く行こう」
- (178) キンノー アタマン イタカッタデ イツモヨリ ハヨ ネタ
 kiNnoR atama=N ita-kaQ-ta=de icumo=jori haja-u ne-ta
 昨日 頭=NOM 痛い-VLZ-PST-CSL いつも=CMP 早い-INF 寝る-PST
 「昨日は、頭が痛かったので、いつもより早く寝た」
- (179) ジカン ナエーニ モタモタシトル
 zikaN na-i=ni motamota+si-tor-u
 時間 無い-NPST=CNC もたもた+する-PF-NPST
 「時間がないのに、もたもたしている」
- (180) コノ リンゴワ タカカッタニ チョットモ アマナエー
 kono riNgo=wa taka-kaQ-ta=ni cjoQto=mo ama#na-i
 この 林檎=TOP 高い-VLZ-PST=CNC 少し=ADT 甘い#NEG-NPST
 「この林檎は高かったのに、少しも甘くない」

この他に、動詞・形容詞の終止形にコピュラの条件形=*nara* が続く形で仮定条件を表したり、動詞・形容詞の非過去終止形に=*to* の続く形が条件表現として用いられる場合もある。

- (181) イエー クルナラ デンワシテカラ イリヤー
 ie-i ku-ru=nara deNwa+si-tekara ir-jaR
 家-DAT 来る-NPST=COP.CND 電話+する-CNJ 来る-HON.IMP
 「家に来るなら、電話をしてから来てください」

- (182) マド アケルト ツメタエー カゼン ハエーッテ キタ
mado aker-u=to cumeta-i kaze=N haiQ-te#ki-ta
窓 開ける-NPST=CND 冷たい-NPST 風=NOM 入る-SEQ#来る-PST
「窓を開けると冷たい風が入ってきた」

また、以下は+joR=ni「～する様に」の例である。

- (183) ソトン ヨー ミエルヨーニ マド アケタ
soto=N joR mi-e-ru=joRni mado ake-ta
外=NOM よく 見る-POT-NPST=PUR 窓 開ける-PST
「外がよく見えるように窓を開けた」

10.2 連体修飾節

連体修飾節中でも、動詞・活用型形容詞はテンス標示をし、文終止の場合と同じ形式をとる。ただし、非活用型形容詞の非過去テンスの場合には連体形(=na)を、コピュラ動詞の非過去テンスの場合は、属格助詞=noをとる。ムード接辞を連体修飾節中にとることができるか否かについては、未調査である。

- (184) オマエハン ヨー ミル シバエーワ ナンヤナモ
omae-haN joR mi-ru sibai=wa naN=ja=namo?
2-HON よく 見る-PST 芝居=TOP 何=COP=SFP
「あなたが、よく見る芝居は何ですか」
- (185) キンノー ミトッタ テレビニ タローガ デテリャータ
kiNnoR mi-toQ-ta terebi=ni taroR=ga de-ter-jaR-ta.
昨日 見る-PF-PST テレビ=LOC 太郎=NOM 出る-PF-HON-PST
「昨日見ていたテレビに太郎が出ていた」
- (186) アシガ ハヤエー ヒトガ ウラヤマシー
asi=ga haja-i hito=ga urajamasi-i
足=NOM 速い-NPST 人=NOM 羨ましい-NPST
「足が速い人が羨ましい」
- (187) アシガ ハヤカッタ トモダチワ ニンキモノダッタ
asi=ga haja-kaQ-ta tomodaci=wa niNki+mono=daQ-ta.
足=NOM 早い-VLZ-PST 友達=TOP 人気+者=COP=PST
「足が速かった友達は人気者だった」

10.3 引用節

引用節をとる動詞には、i-「言う」、kik-「聞く」omo(w)-「思う」などがある。網羅的な調査には至っていない。また、引用節は、助詞=to「って」によって導かれる。

- (188) イシャニ ナッタ ヒトガ オルト キートッタガ ダレガ イシャヤノ
 isja=ni naQ-ta hito=ga or-u=to kiR-toQ-ta=ga dare=ga isja=ja=no
 医者=LOC なる-PST 人=NOM いる-PST=QT 聞く -PF-PST=CNC 誰=NOM 医者=COP=SFP
 「医者になった人がいると聞いていたけど、誰が医者なの？」

10.4 言いさし

多くの副詞節は、それだけで文を終止することができる。体系的・網羅的な調査には至っていないが、以下のような例が見ついている。

- (189) コレモ クッタラ
 kore=mo kuQ-tara
 これ=ADT 食べる-CND
 「これも食べたら？」(勧め)
- (190) ワシワ アシタワ マツリニ イクデ
 wasi=wa asita=wa macuri=ni ik-u=de
 I=TOP 明日=TOP 祭り=LOC 行く-NPST=CSL
 「私は明日、祭りに行くからね」

なお、命令形-*jaR*と条件形-*jaR*は、分節音上は同形であるが、今のところは別のものとして分析をしておく。ただし、そのようにする積極的な理由があるわけでもなく、(189)のように条件形-*tara*が行為を勧める形式に使えることなどからして、両者に何らかの関係がある可能性は十分にある。一宮市出身の筆者の直感としては、以下の文は「やりたければ、やれば」程度の意味でも解釈可能である。なお、9.9節の注16も参照のこと。

- (191) ヤリタイナラ ヤリヤー
 jar-ita-i=nara jar-jaR
 やる-DES-NPST=COP.CND やる-IMP
 「やりたいなら、やりなさい」

略号リスト

-	接辞境界	INF	infinitive (非定形)
=	接語境界	INST	instrumental (具格)
.	音節境界	INT	intentional (意志)
#	統語的語境界	LCTN	low certainty (推測)
1	一人称	LMT	limitative (限界格)
2	二人称	LOC	locative (所格)
ABL	ablative (奪格)	NEG	negative (否定)
ACC	accusative (対格)	NLZ	nominalizer (名詞化)
ADT	additive (累加)	NOM	nominative (主格)
ASC	associative (共格)	NPST	non past (非過去)
BEN	benefactive (受益)	PASS	passive (受動)
CAUS	causative (使役)	PF	perfect (パーフェクト)
CMP	comparative (比格)	PL	plural (複数)
CNC	concessive (逆接)	POL	politeness (待遇)
CND	conditional (条件)	POT	potential (可能)
CNJ	conjunctural (接続)	PST	past (過去)
CNTR	contrastive (対比)	PUR	purposive (目的)
COP	copula (コピュラ・繫辞)	Q	question (疑問)
CSL	causal (理由)	QT	quotative (引用)
DAT	dative (与格)	RFL	reflexive (再帰)
DES	desiderative (願望)	RPT	repetition (反復)
EXM	exemplification (例示)	SEEM	seeming (様態)
FOC	focus (焦点)	SEQ	sequential (中止形)
GEN	genitive (属格)	SFP	sentence final particle (終助詞)
HON	honorific (尊敬)	SIM	simultaneous (同時)
HS	hearsay (伝聞)	TOP	topic (提題)
IMP	imperative (命令)	VLZ	verbalizer (動詞化)
IPFV	imperfective (不完成相)		

参考文献一覧

- 愛知県教育委員会 (1985) 『愛知のことば：愛知県方言緊急調査報告』
- 占部由子 (2018) 「南琉球八重山語西表島船浮方言の文法概説」 修士論文，九州大学.
- 上野善道 (1977) 「日本語のアクセント」『岩波講座日本語5音韻』281-321. 東京：岩波書店.
- 金田一春彦 (1974) 『国語アクセントの史的研究－原理と方法』東京：塙書房.
- 金田一春彦 (1978) 「愛知県アクセントの系譜」『国語学論集』1: 1-19. 東京：笠間書院.
- 窪菌晴夫（監修），森勇太・平塚雄亮・黒木邦彦（編）(2015) 『甕島里方言記述文法書』大学
共同利用機関法人人間文化研究機構連携研究「アジアにおける自然と文化の重層的関係
の歴史的解明」サブプロジェクト「鹿児島県甕島の限界集落における絶滅危機方言のア
クセント調査研究」研究成果報告書. 東京：国立国語研究所.
- 小西いずみ (2016) 『富山県方言の文法』ひつじ書房.
- 下地理則 (2018) 『シリーズ記述文法1 南琉球宮古語伊良部島方言』東京：くろしお出版.
- 新修稲沢市史編纂会（編）(1982) 「第2章 稲沢市方言の構造」『新修稲沢市史研究編6 社会
生活下』[『日本列島方言叢書10 中部方言考③（岐阜県・愛知県）』pp. 433-366に再録]
- 東條操 (1927) 『国語の方言区画』東京：育英書院.
- 東條操 (1954) 『日本方言学』東京：吉川弘文館.
- 日本語記述文法研究会編 (2003) 『現代日本語文法4 第8部モダリティ』東京：くろしお出版.
- 平子達也 (2017) 「愛知県新城市方言の名詞アクセント資料」『駒澤大学文学部研究紀要』75:
1-28.

木曽川方言の疑問文の文末音調

木部 暢子¹

1 はじめに

東京方言では、疑問文の文末がふつう上昇調で発音される。それに対し、諸方言には文末が上昇調にならない方言がある。木部（2010, 2013, 2019）ではこのような各地の状況を概観して、全国方言の疑問文の文末音調を「上昇調タイプ」「下降調タイプ」「相補タイプ」「漸上昇調タイプ」の4つに類型化した。木曽川方言は、このうち「相補タイプ」（WH 疑問文では文末が下降し、Yes/No 疑問文では文末が上昇するタイプ）に属する。

木曽川方言が「相補タイプ」に属することは、先行研究で長野県松本市方言や愛知県名古屋市方言が「相補タイプ」であることから予測されたことではあったが、2017年の調査では、木曽川方言の「相補タイプ」が文末詞の有無にかかわらず、WH 疑問文では文末が下降し、Yes/No 疑問文では文末が上昇するタイプであることが明らかとなった。

2 疑問文の文末音調の4類型について

疑問文の文末音調の4類型について、簡単に説明しておこう。以下には、木部（2010, 2019）に示した4つのタイプを示す。

2.1 文末音調の種類

諸方言の疑問文の文末音調のタイプを類型化するときに、木部（2010, 2019）では文末音調が上昇調であるか下降調（非上昇調）²であるかを基準として諸方言を分類した。文末音調が果たしてこの2種類でよいかどうかについては、最初に考えてみる必要がある。たとえば、上昇も下降もしない「平調」のようなものもあるという考えもあるだろう。そこで、文末にどのような音調が現れるかを整理してみると、東京方言に関しては先行研究がかなりあるが、方言に関してはほとんど報告がない。また、東京方言に関してもいろいろな説があって、定説がない。たとえば、次のような具合である。

- ① 4種類：疑問型上昇、くだりのぼり音調、強調型上昇、上昇下降（郡 2003）
- ② 5種類：平調、降調、昇調1、昇調2、@型類（国立国語研究所 1960）
- ③ 5種類：下降調（L%）、上昇調（H%）、反問の上昇（LH%）、上昇下降調（HL%）、上昇下降上昇調（HLH%）（前川 2011）
- ④ 6種類：基本音調、くだり音調、ひくめ音調、のぼり音調、反問の上昇、つよめ音調（上村 1989）

¹ きべ のぶこ：国立国語研究所・教授 nkibe@ninjal.ac.jp

² 下降調（非上昇調）は、上昇調に対応する音調として、上昇調以外の音調を指している。したがって、下降調も非上昇調も同じものを指す。一般には下降調の方がわかりやすいので、以下では下降調の用語を使用する。

このほか、上昇のみの分類に川上（1963）の次のようなものがある。

⑤ 5種類：普通の上昇、浮き上がり調、反問の上昇調、強めの上昇調、つり上げ調（川上 1963）

これらには、疑問文以外の文の文末音調も含まれている。疑問文に限定したときにどのような音調が現れるかということは、必ずしも解明されていない。

では、諸方言の疑問文の文末音調を整理するときに、何種類の音調を設定すればよいだろうか。先に述べたように、木部（2010, 2019）では上昇調、下降調の2種類を設定した。その理由は、この2種類が音調的な特徴を明確に異にしていること、どの方言にもこの2種類は存在すると予測されることからである。各地の音調記述が進めば、さらに文末音調の種類を増やす必要が出てくるかもしれないが³、木曽川方言に関しては、この2種類で整理して差し支えないので、この2種類で分析を行なった。

なお、この他に、2.2節にあげる問い返し（質問の発話に質問で返す）に使用される下降上昇調や同意要求に使用される上昇下降調を考慮する必要があるかもしれないが、今回は分析の対象としていない。

2.2 疑問文の種類

次に、疑問文の種類について検討しておく。木部（2010, 2019）では、疑問文をWH疑問文とYes/No疑問文の2種類に分けている。WH疑問文とは情報の内容を問う表現、Yes/No疑問文とは内容の肯否を問う表現であるが、情報構造を考慮すると、相手に何かを問う表現には、これ以外にもさまざまなタイプがある。波多野・石井（2017）は、「ATR マルチモーダル自然対話音声データベース」を利用して、質問のタイプを表1のように整理している。

表1 情報要求度の高低と質問タイプ

情報要求度	質問タイプ	定義
高い	真偽要求	相手情報について肯定判断や是非を問う
	知識要求	相手情報について内容の説明を問う
	意見要求	相手の持つ意見や感想について問う
	聞き返し	相手の発話が不明瞭・意外等で再度問う
	問い返し	質問の相手発話に質問で返す
低い	同意要求	肯定的返答や同意・相槌を想定して問う
	クイズ	話手が知っている情報にも関わらず問う
	投げかけ	話手も相手も分からないような情報を問う
	自問	話手自身に問う
	相槌的反復	相手発話の後の相槌的確認（質問形式による復唱）

表1はある程度、普遍性のあるリストになっているが、本稿では自然対話ではなく、質問票を使った調査の結果が対象となる。そのため、表1の諸タイプのうち、「真偽要求」（Yes/No疑問）と「知識要求」（WH疑問）を基本的な枠組みとして使用し、他は補助的に使用することとする。

³ 東北方言ではYes/No疑問文と平叙文がどちらも下降調で発音される。この方言では、疑問文に結びつく下降調と平叙文に結びつく下降調の2種類の下降調があることになる（大槻 2018, Kibe, Otsuki and Sato 2018）。

2.3 疑問文の文末音調の4類型について

疑問文の文末音調の4つの類型について、簡単に説明しておこう。ここでは木部（2010, 2019）をもとに4つのタイプを示す。

（1）上昇調タイプ

疑問を表す語形式の有無にかかわらず、疑問文の文末がふつう上昇調となるタイプ。東京方言などが例としてあげられる。WH 疑問文（知識要求）では文末が下降調になることもあるが、その場合は詰問的な意味が加わった表現になる。また、Yes/No 疑問文（真偽要求）は文末が上昇調でなければ疑問文にならないので、下降調の欄に斜線を引いている。

表1 上昇調タイプ（東京方言）

方言形	疑問詞	文末助詞	文末上昇	質問タイプ	付加的意味
何が 欲しい (の)	+	±	+	知識要求	—
何が 欲しい (の)	+	±	—	知識要求	詰問
京都へ 行った (の)	—	±	+	真偽要求	—
京都へ 行った (の)	—	±	—		

＋：その特徴を有する。－：その特徴を有しない。／：その特徴に該当しない。
網掛け：その方言における音調と質問タイプの典型的な結びつき（以下の表も同じ）

（2）下降調タイプ

疑問文の文末がふつう下降調となるタイプで、鹿児島市方言や弘前市方言などが例としてあげられる。文末が上昇調になることもあるが、その場合は強い応答要求などの意味が加わった質問となる。なお、伝統的な鹿児島市方言では、疑問詞疑問文、真偽疑問文ともに質問問の文末助詞が必須で、これを欠く文は不自然と感じられる。一方、弘前市方言では、文末助詞がない場合がある。その場合も、文末はふつう下降調である（Kibe, Otsuki and Sato 2018, 大槻 2018）。

表2 下降調タイプ（鹿児島市方言）

方言形	疑問詞	文末助詞	文末上昇	質問タイプ	付加的意味
ナイガ ホシカカ	+	+	+	知識要求	強い要求
ナイガ ホシカカ	+	+	—	知識要求	—
*ナイガ ホシカ	+	—			
キョートイ イッタカ	—	+	+	真偽要求	強い要求
キョートイ イッタカ	—	+	—	真偽要求	—
*キョートイ イッタ	—	—			

*：存在しない文であることを表す。

(3) 相補タイプ

疑問を表す語形式（疑問詞や質問の文末助詞など）があれば下降調，なければ上昇調というように，語形式と文末音調が相補うように働いているタイプで，松本市方言や広島市方言が例としてあげられる。

表 3 相補タイプ（松本市方言）

方言形	疑問詞	文末助詞	文末上昇	質問タイプ	付加的意味
ナニガ ホシイ	+	±	+	知識要求	強い要求
ナニガ ホシイ	+	±	—	知識要求	—
キョートニ イッタ	—	±	+	真偽要求	—
キョートニ イッタ	—	±	—		

(4) 漸上昇タイプ

疑問詞から文末助詞まで（文末助詞がないときには文末まで）緩やかに上昇するタイプで，福岡方言が例としてあげられる。疑問詞がない疑問文は文末助詞の種類によって音調が変わり，文末助詞が「ナ」の場合は下降調に，文末助詞が「ト」，または文末詞がない場合は上昇調になる。「ナ」は質問を表す文末詞，「ト」は質問に限らず平叙文にも使われる文末詞である。

表 4 漸上昇タイプ（福岡市方言）

方言形	疑問詞	文末助詞	漸上昇	文末上昇	質問タイプ	付加的意味
ナニガ ホシカ {ト・ナ}	+	+	+		知識要求	—
キョートニ イッタナ	—	+		—	真偽要求	—
キョートニ イッタト	—	±		+	真偽要求	—
キョートニ イッタト	—	±		—		

3 木曽川方言の疑問文の文末音調

以下では，2017 年の木曽川方言調査の結果から，木曽川町方言の疑問文の文末音調が「相補タイプ」であることを見ていく。

3. 1 調査方法

調査方法は，標準語の調査文を紙に書いて話者に提示し，それを方言に訳して発音してもらうという形で行なった。話者は調査当時 83 歳の男性。録音機材はデジタル・レコーダー ZOOM H4n Pro，マイクはダイナミック型ヘッドウォーン・マイクロフォン SHURE WH20XLR を使用した。また，ピッチ波形の抽出には，音響分析ソフト Praat を使用した。

3. 2 木曾川方言の疑問文の文末音調

以下で分析の対象とするのは、「文タイプ」および「WH 疑問文」の調査票から得られた方言発話のうち、ピッチが確実に測定できる 58 発話である。内訳は知識要求 40 発話（うち「どっち・・・」のような選択要求 9 発話）、真偽要求 17 発話、意見要求 1 発話である（この中には、同一調査文に対して複数回発話したものも含まれる）。表 5 にこれらの調査文と方言形、文末音調のピッチ差を示す。文末音調のピッチ差の測定方法は、次のとおりである。

まず、木曾川町方言ではほとんどの場合、文末助詞が出現する。58 発話のうち、文末助詞を伴わずに終わる文は 7 発話で、あとの 51 発話は文末助詞「ノ」「カ」「カエ」(kæ:) で終わる。文末助詞を持つ発話については文末助詞の始まり部分と文末との f0 値の差を、文末助詞を持たない発話については文末音節の始まり部分と文末との f0 値の差を測った（図 1～3）。表 5 の「ピッチ差」の値がマイナスになれば文末音調は下降調、プラスになれば上昇調である。表 5 では値がマイナス（下降調）のものに網掛けをしている。

表 5 調査文と方言形・文末音調

	番号	種類	文末詞	調査文	方言	ピッチ差 (Hz)
1	wh-01	WH	ノ	さわがしいけど、誰がいるの？	ヤカマシーナー、ダレガオルノ。	-16.7
2	wh-01	WH	ノ	さわがしいけど、誰がいるの？	ヤカマシーナー、ダレガオルノ。	-11.48
3	wh-02	WH	ノ	さわがしいけど、誰がいるの？（複数）	ヤカマシーナー、ダレンターガオルノ。	-12.71
4	wh-02	WH	ノ	さわがしいけど、誰がいるの？（複数）	ダレンターガオルノ。	-14.09
5	wh-03	WH	ノ	さわがしいけど、何がいるの？	ヤッカマシーナー、ナニガオルノ。	-15.45
6	wh-03	WH	ノ	さわがしいけど、何がいるの？	ヤカマシーナー、ナニガオルノ。	-9.22
7	wh-03	WH	ノ	さわがしいけど、何がいるの？	ナニガオルノ。	-11.12
8	wh-04	WH	ノ	山の向こうには何があるの？	ヤマノ ムコーニワ ナニガアルノ。	-14.29
9	wh-04	WH	ノ	山の向こうには何があるの？	ナニガアルノ。	-9.11
10	wh-04	WH	ノ	山の向こうには何があるの？	ヤマノ ムコーニワ ナニガアルノ。	-36.49
11	wh-04	WH	ノ	山の向こうには何があるの？	ナニガアルノ。	-35.2
12	wh-05	WH	ノ	お前はどんな家に住みたいの？	オマエサンワー ドンナ イエニ スミタエノ。	-5.2
13	wh-05	WH	ノ	お前はどんな家に住みたいの？	オマエサンワ ドンナ イエニ スミタエノ。	-17.26
14	wh-06	WH	ノ	お前はどの家に住んでるの？	オマエサンワ ドンナ イエニ スンドルノ。	-3.41
15	wh-06	WH	ノ	お前はどの家に住んでるの？	オマエサンワ ドンナ ウチニ スンドルノ。	-14.29
16	wh-06	WH	ノ	お前はどの家に住んでるの？	ドンナ ウチニ スンドルノ。	-7.75
17	wh-09	WH	ノ	その家、いくら／どれくらいなの？	ソノ ウチ ドレクラエヤノ。	-0.63
18	wh-09	WH	ノ	その家、いくら／どれくらいなの？	ドレクラエヤノ。	-0.52
19	wh-10	WH	ノ	その家、部屋はいくつあるの？	ソノ ウチ ヘヤワ イクツ アルノ。	-27.77
20	wh-11	WH	ノ	なんでその家を買ったの？	ナンデ ソノ ウチ カヤータノ。	-1.12
21	wh-12	WH	ノ	その家はいつ買ったの？	ソノ ウチワ イツ カヤータノ。	-0.88
22	wh-12	WH	ノ	その家はいつ買ったの？	ソノ イエワ イツ カヤータノ。	-4.61
23	wh-14	WH	ノ	どうやってその家を見つけたの？	ドー ヤッテ ソノ イエ ミツケタノ。	-2.72
24	wh-14	WH	ノ	どうやってその家を見つけたの？	ドー ヤッテ ソノ イエ ミツケタノ。	-6.59

25	wh-15	WH	ノ	そんなに怒って、どうしたの？	ナンデ ソーモ オコットルノ。	-14.53
26	wh-15	WH	ノ	そんなに怒って、どうしたの？	ナンデ ソーモ オコットルノ。	-4.49
27	wh-27	WH	ノ	あなたは誰なの？	オマエサン ダレヤノ。	-33.12
28	wh-28	WH	ノ	あなたは誰なの？	アンタ ダレヤノ。	-10.1
29	st-21	WH	ノ	一升瓶があるけど、誰が酒を飲むの？	ダレガ サケ ノマエスノ。	-17.68
30	wh-08	WH	なし	お前はどこに住んでるの？	オマエサンワー ドコニ スンデリヤース。	-1.48
31	wh-16	WH	なし	明日お前何するの／どうするの？	アシタワ オマエ ナニ スルー。	-43.39
32	wh-07	選択	ノ	大きい家と小さい家、お前はどっちに住みたいの？	オーキー イエト チーサイ イエ、オマエサンワ ドッチニスミタエノ。	-26.94
33	wh-07	選択	ノ	大きい家と小さい家、お前はどっちに住みたいの？	オーキー イエト チーサエ イエ、オマエサンワ ドッチニスミタエノ。	-8.9
34	wh-07	選択	ノ	大きい家と小さい家、お前はどっちに住みたいの？	オーキー ウチト チーサエ ウチ、オマエサンワ ドッチニスミタエノ。	-7.77
35	st-22	選択	ノ	先生の中では誰が一番怖いの？	センセーノ ナカデワ ダレガ イチバン オソガエノ。	-11.89
36	st-22	選択	ノ	先生の中では誰が一番怖いの？	センセーノ ナカデワ ダレガ イチバン オソガエノ。	-3.57
37	st-25	選択	ノ	同級生の中で誰が一番元気だったの？	ドーキューセーノ ナカデワ ダレガ イチバン ゲンキヤッタノ。	2.7
38	st-27	選択	ノ	この村で医者になった人がいたと聞いたけど、誰が医者だったの？	コノ ムラデ イシャニ ナッタ ヒトガ オツタト キートツタガ ダレガ イシャヤッタノ。	97.1
39	wh-07	選択	ノ	大きい家と小さい家、お前はどっちに住みたいの？	オマエワンワ ドッチニスミタエノ。	-7.9
40	st-23	選択	なし	先生の中では誰が一番怖かったの？	センセーノ ナカデワ ダレガ イチバン オソガエカッタ。	72
41	wh-17	Y/N	ノ	さわがしいけど、誰かいるの？	ヤカマシーナー、ダレカ オルノ。	41
42	wh-17	Y/N	ノ	さわがしいけど、誰かいるの？	ヤカマシーナー、ダレカ オルノ。	5.6
43	wh-17	Y/N	ノ	誰かいるの？	ダレカ オルノ。	9.1
44	wh-17	Y/N	ノ	さわがしいけど、誰かいるの？	ヤカマシーナー、ダレカ オルノ。	3.4
45	wh-18	Y/N	ノ	何かいるの？	ナニカ オルノ。	41.2
46	st-09	Y/N	ノ	うわさで聞いたけど、君のお父さんは怖い の？	ウワサデ キータケンドー オマエサンノ オトツツァンワ コワエノ。	123.67
47	st-14	Y/N	ノ	友達から聞いたんだけど、君のお父さん は医者だったの？	ツレカラ キータケンドー オマエサンノ オ トツツァンワー イシャヤノ。	50.1
48	wh-17	Y/N	ノ	誰かいるの？	ダレカ イリヤースノ。	9.9
49	wh-17	Y/N	カ	さわがしいけど、誰かいるの？	ヤカマシーナー、ダレカ オルンカ。	5.89
50	wh-18	Y/N	カ	さわがしいけど、何かいるの？	ヤカマシーナー、ナニカ オルノカ。	-0.9
51	wh-19	Y/N	カエ	山の向こうには何かあるの？	ヤマノ ムコーニワ ナンカ アルカエ。	14.96
52	wh-19	Y/N	カエ	山の向こうには何かあるの？	ヤマノ ムコーニワ ナンカ アルカエ。	41.14
53	wh-19	Y/N	カエ	山の向こうには何かあるの？	ヤマノ ムコーニワ ナンカ アルカエ。	0.48

54	st-12	Y/N	カエ	お見舞いにいったそうだけど、君のお父さんは元気だった？	オマエサンノ オトツツアンワ ゲンキヤッタ カエ。	71.9
55	st-11	Y/N	なし	君のお父さんは元気？	オマエサンノ オトツツアンワ イマワ ヤサ シソーヤガ ムカシワ オソガエカッタ。	22.5
56	st-11	Y/N	なし	君のお父さんは元気？	オマエサンノ オトツツアンワ イマワ ヤサ シソーヤガ ムカシワ オソガエカッタ。	83.2
57	st-11	Y/N	なし	君のお父さんは元気？	ムカシワ オソガエカッタ。	176
58	wh-13	意見	なし	家を売ろうと思うんだけど、お前どう思う？	オマエ ドー オモウ。	3.27

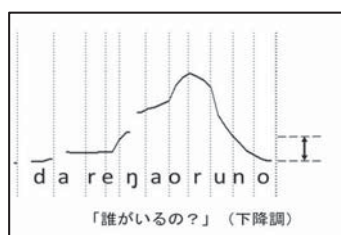


図1 文末詞・下降調



図2 文末詞なし・下降調

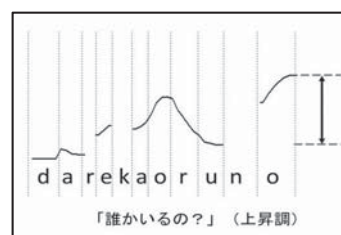
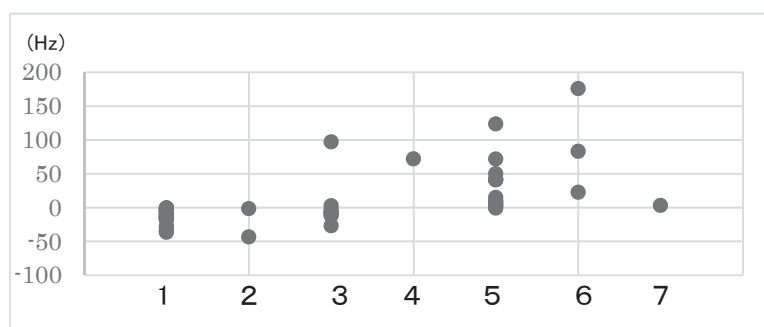


図3 文末詞・上昇調

表6は58発話の文末音調を文のタイプごとにまとめたもの、図4は58発話の文末音調のピッチ差の分布を文のタイプごとに示したものである。

表6 木曾川町方言の疑問文の文末音調

	上昇調	下降調	合計	上昇平均値	下降平均値
知識要求（WH 疑問）	0	30	31		-13.01
選択的知識要求	3	6	9	57.27	-11.16
真偽要求（Yes/No 疑問）	16	1	17	43.75	-0.9
意見要求	1	0	1	3.27	
合計	20	38	58		



- 1:WH 文末詞あり
- 2:WH 文末詞なし
- 3:選択 文末詞あり
- 4:選択 文末詞なし
- 5:Y/N 文末詞あり
- 6:Y/N 文末詞なし
- 7:意見 文末詞なし

図4 木曾川方言の文末音調の分布

これらから分かるように、知識要求（WH 疑問）はすべて下降調、真偽要求（Yes/No 疑問）は1発話（表3の50）のみ下降調で、他はすべて上昇調である。これは「相補タイプ」のパターンである。

木曾川方言では、文末助詞の有無は文末音調に関与していない。図4に示したように、WH疑問文には「文末助詞なし」の発話が2例（表3の30, 31, 図4の2）、Yes/No疑問文には3例（表3の55, 56, 57, 図4の6）含まれているが、いずれも「文末詞あり」と同じパターンとなっている。

ただし、WH疑問文のうちの選択的知識要求（表3の32～40, 表4の3と4）のうち3例が上昇調になっている。これらは知識要求の中でも知識の内容が限定されていて、限定された選択枝の中から応答内容を選んでもらうような質問である。各選択枝に対してYes/Noを考えて回答するという点で、Yes/No疑問文に近い性質を持っている。

また、意見要求の発話（表3の58）は上昇調となっている。ここでは「家売るか売らないか」に対する意見が問われている点で、疑問詞「どう」を持つとはいっても、文のタイプとしては真偽要求（Yes/No疑問文）に近い。このような文は上昇調になっている。

4 まとめ

この報告書で明らかにしたことをまとめておこう。

- ・ 木曾川方言は、疑問文の文末音調の4タイプのうち「相補タイプ」（WH疑問文では文末が下降し、Yes/No疑問文では文末が上昇する）に属する。
- ・ 文末詞の有無は文末音調が上昇調になるか、下降調になるかに関与していない。
- ・ WH疑問文のうち選択的知識要求の文と意見要求の文は、文末が上昇調になることがある。これらの文は、形式的にはWH疑問であるが、意味的にはYes/No疑問文に近い性質を持っている。そのため、上昇調になるのではないかとと思われる。

参考文献

- 上村幸雄（1989）「日本語のイントネーション」『ことばの科学』3, pp.193-220.
- 大槻知世（2018）博士論文『青森県津軽方言の情報の表示をめぐって』（未公開）.
- 川上 葵（1963）「文末などの上昇について」『国語研究』16, pp.25-46.
- 木部暢子（2008）「方言イントネーションの記述について」『方言研究の前衛』桂書房, pp.443-459.
- 木部暢子（2010）「イントネーションの地域差—質問文のイントネーション—」『方言の発見 知られざる地域差を知る』ひつじ書房, pp.1-20.
- 木部暢子（2013）『そうだったんだ！日本語 じゃって方言なおもしろとか』岩波書店.
- 木部暢子（2019）「疑問文の文末音調による系統内類型論の試み—イントネーション研究のために—」『国語と国文学』96-1, pp.3-13.
- 郡史郎（2003）「イントネーション」『朝倉日本語講座3 音声・音韻』pp.109-131.
- 国立国語研究所（1960）『話しことばの文型（1）談話資料による研究』秀英出版.
- 国立国語研究所（1963）『話しことばの文型（2）読話資料による研究』秀英出版.
- 国立国語研究所（2002）『日本のふるさとことば集成 福岡県・大分県・宮崎県』国書刊行会.
- 波多野博顕・石井カルロス寿憲（2017）「日本語自然対話に現れる質問発話の句末音調」『音声研究』21(1), pp.1-11.
- 前川喜久雄（2011）「PNLPの音声的形狀と言語的機能」『音声研究』15(1), pp.16-28.

Nobuko Kibe, Tomoyo Otsuki and Kumiko Sato (2018). Intonational Variations at the End of Interrogative Sentences in Japanese Dialects: From the “Corpus of Japanese Dialects.” Proceeding of LREC2018 (May 8-11, 2018, Miyazaki).

基礎語彙集

基礎語彙集

本語彙集の見方

- ・この語彙集は、標準語見出しで、五十音順で並んでいます。
- ・掲載順は以下のとおりです。

標準語見出し（ひらがな・漢字仮名混じり） 方言語彙（カタカナ） [品詞] 例文
（方言例文をカタカナ、その標準語訳を（漢字仮名混じり文））

- ・例文が複数ある場合は、「／」で区切って示します。
- ・例文、備考などはない場合があります。
- ・カタカナ表記については「木曾川方言文法概説（平子・久保蘭・山口）」に準じています。
カタカナ表記の一覧は当該論文の表3に掲げられています。

凡例

うで(腕) カイナ [名詞]、カエーナ [名詞] 例：カエーナ イタエー。（腕が痛い。）

本語彙集の注意点

本語彙集においては、多くの変異が観察されます。たとえば、「甘い」を意味する単語を見ると、「アマイ」に加えて、「アンメ」「アンマエー」「アンマエ」がある、とされています。これらの変異が、話者間の変異であるのか、話者内の変異であるのか、などといった点は、本語彙集においては記載していません。音声表記についても、調査者間の表記の統一はおこなっていません。

あ

あおい(青い) アオエー [形容詞] 例：ソラカ° アオエー。(空が青い。)

あおさ アオサ [名詞]

あか(垢) アカ [名詞] 例：アカン タマッタ。(垢がたまった。)

あかつき(暁) アケカ° タ [名詞] 例：アケカ° タニ アリートル。(暁に歩いている。)

あかり(明かり) アカリ [名詞] 例：アカリトリカラ シゼンナ アカリガ モレチヨル。(明り取りから自然な明かりが漏れている。)

あき(秋) アキ [名詞] 例：アキワ スカッ シトルケ° ー。(秋は(天候が。)スカッとしている。)

あくび(欠伸) アクビ [名詞] 例：アクビン デル。(欠伸が出る。)

あご(顎) アコ° タ [名詞] 例：アコ° タガ エーデー。(よく喋る。)

あさ(朝) アサ [名詞] 例：アサハヨーカラ エラエーナモ。(朝早くからしんどいね。)

あさせ(浅瀬) アサセ [名詞] 例：アサセニワ イロイロナ カイガ アルゼ。(浅瀬にはいろいろな貝があるぜ。)

あさって(明後日) アサッテ [名詞] 例：アサッテノ カゼカ° フク。(明後日の風が吹く。)

あさめし(朝食) アサメシ [名詞] 例：アー キョーワ アサメシ ウマカッタナ。(ああ今日は朝飯がうまかったな。)

あし(足) アシ [名詞] 例：アシガ ハエー。(足が速い。)

あじ(味) アジ [名詞] 例：ナンジャ コリヤ アッジ ネー ナスビヤナ。(何だこれは、まずい茄子だな。)

あした(明日) アシタ [名詞] 例：アシタワ ドー ナルヤロ？(明日はどうなるかな？)

あせ(汗) アセ [名詞] 例：アセン デル。(汗が出る。)

あぜみち(畦道) アゼ [名詞] 例：タンボノ アゼニ エダマメ イケルト ウマエーデ。(田んぼの畔に枝豆を植えるとうまいよ。)

あそこ アソコ [指示詞] 例：アソコニ ムラカ° デキルヤロー 《ナー》。(あそこに村がで
きるだろう。)

あたたかい(暖かい) スクタエー [形容詞]、アタタカエー [形容詞]、アッタカエー [形容
詞] 例：{モット ~ マット} スクタエー トカエー イキタエー。(もっと暖かいところに行
きたい。)

あたま(頭) アタマ [名詞]、スコタ [名詞] 例：スコタガ エー。(頭が良い。)

あと(跡) アト [名詞] 例：シロカ° アッタ アトヤカ° エー。(城があった跡だ。)

あな(穴) アナ [名詞] 例：アノ イエワ カベニ {アナカ° / アナン} アエートッタ。(あ
の家は壁に穴が開いていた。)

あなた アンタ [名詞]、アンター [名詞] 例：アンタワ {ドコカラ ~ ドッカラ} {キタノ /
キタンヤ / キタノカ}。(あなたはどこから来たの。)

あなたたち アンタンター [名詞] 例：アンタンターワ イツキタノー。(あなたたちはいつ
来たの。)

あばらぼね(肋骨) アバラ [名詞] 例：アバラオ オッタ ガクゲイインガ オル。(肋骨を折
った学芸員がいる。)

あぶら(油) アブラ [名詞] 例：アブラノ キータ テンプラガ クイタイ。(油の利いたてん
ぶらが食いたい。)

あまい(甘い) アマイ [形容詞]、アンメ ~ アンマエー ~ アンマエ [形容詞] 例：アッ
メーナー ナンダカ コノ サトー ツケタ モノ。(甘いなあ、なんだか、この砂糖漬けたもの。)

あみ(網)(魚を捕るための) アミ [名詞] 例：アミオ ヒキアゲルノワ タイヘンナ コト

ダナー。(網を引き上げるのは大変なことだなあ。)

あめ(雨) アメ [名詞] 例：アメ フッテ ジ カ° タマル。(雨が降って地がたまる。)

あや(綾) アヤ [名詞]、モヨー [名詞] 例：ガラモヨー。(柄模様。)

あり(蟻) アリ [名詞] 例：{オーキナ / ドエリヤー} アリガ オル。(大きな蟻がいる。)

あれ アレ [指示詞] 例：アレワ ワシカ° キンノー {カッタヤツダ / カッタノダ / カッ
タ 《ン》 ヤ}。(あれは私が昨日かったのだ。)

あわ(粟) アワ [名詞] 例：アワオ タベル。(粟を食べる。)

あわ(泡) アワ [名詞] 例：アワ フイテ シンデマッタ。(泡を吹いて死んでしまった。)

い

いえ(家) イエ [名詞]、ウチ [名詞] 例：オジーサンワ ウチデ サケノンドルハズヤ。(お
じいさんは家で酒を飲んでいるはずだ。)

いか(烏賊) イカ [名詞] 例：イカノ サシミワ ウマエー。(いかの刺身は美味しい。)

いき(息) イキ [名詞] 例：イキン キレル。(息が切れる。)

いくつ イクツ [疑問詞] 例：イクツ カウノー？(いくつ買うの？)

いくら イクラ [疑問詞] 例：コレ 《ワ》 イクラー？(これはいくら？)

いさり(夜の漁) イサリ [名詞] 例：コノ トシニ ナッテワ イサリワ キツイネー。(この土
地になつては漁りはきついねえ。)

いし(石) イシ [名詞]、イシナ [名詞] 例：ソノ イシ ドケヤエ。(その石をどかしなさい。)
／ソノ イシナ ドケヤエ。(その石をどかしなさい。)

いた(板) イタ [名詞] 例：コノ イタワ マカ° ットル。(この板は曲がっている。)

いちご(苺) イチゴ° [名詞] 例：ムカシノイチゴ° ワ スッパカッタ。(昔の苺はすっぱかった。)

いつ イツ [疑問詞] 例：イツ ツリニ イクノー? (いつ釣りに行くの?)

いつ(五) イツ [数詞]

いつつ(五つ) イッツ [数詞]

いど(井戸) イド [名詞] 例：コノ イドワ {カレズニ / カレスト} ズーット デトル。(この井戸は枯れずにずっと出ている。)

いと(糸) イト [名詞] 例：イトワ ドコニ アルンダ。(糸はどこにあるんだ。)

いなびかり(稲光) イナビカリ [名詞] 例：イナビカリ ヒカットル カ° エ。(稲光が光っているよ。)

いぬ(犬) イヌ [名詞] 例：アッコノ イヌワ ヨー ホエル。(あそこの犬はよく吠える。)

いね(稲) イネ [名詞] 例：イネオ カル。(稲を刈る。)

いのち(命) イノチ [名詞] 例：イノチオ ダエージニ シヨ。(命を大事にしよう。)

いま(今) イマ [名詞] 例：イマ タベトルデヨー。(今食べてるからね。)

いも(芋) イモ [名詞] 例：イモオ クー。(芋を食べる。)

いもうと(妹) イモト [名詞] 例：イモトワ ヤサシー ヤッジャ。(妹は優しいやつだ。)

いるか イルカ [名詞]

いれずみ(刺青) イレズミ [名詞] 例：イレズミワ ミタコトガ° ネー。(刺青は見たことがない。)

いろ(色) イロ [名詞] 例：イロオ ギョーサン ツカウ。(色をたくさん使う。)

いろこい(色恋) イロコエー [名詞]

いろり イロリ [名詞] 例：イロリ《オ》カコンデ メシ《オ》 クー (いろりを囲んでご飯を食べる。)

う

うえ(上) ウエ [名詞] 例：ウエノホーニ オカエー。(上の方に置きなさい。)

うさぎ(兎) ノウサキ° [名詞]

うし(牛) ウシ [名詞] 例：ウシ カッテゴザル。(牛を飼っている。)

うじ(蛆) ウジ [名詞] 例：ウジガ° イッパエ フェトルガエ。(蛆がいっぱい湧いている。)

うしろ(後ろ) ウシロ [名詞] 例：ウシロガ° ミエヘンデ アタマ サケ° テチョー。(後(の人。)が見えないので頭を下げてください。)

うす(白) ウス [名詞] 例：ウスン ナカニ モチノ カス ノコッテルデ キレーニ シヨ。(白の中に餅のかすが残っているのできれいにしよう。)

うずら(鶉) ウズラ [名詞] 例：ウズラノ タマゴ° ワ アンマリ ウマネー。(うずらの卵はあまりおいしくない。)

うそ(嘘) ウソ [名詞] 例：ウソ ツクナ。(ウソをつくな。)

うた(歌) ウタ [名詞] 例：ウタ ウタエー。(歌を歌え。)

うち(内) ナカ [名詞]、ウチ [名詞] 例：ハコノ ナカニ アル。(箱の中にある。) / ウチカ° ワニ ツイトル。(内側についている。)

うつくしい(美しい) ウツクシー [形容詞]、ウツツクシー [形容詞]、キレー [形容詞]、エー [形容詞] 例：ユーヤケカ° ウツクシー。(夕焼けが美しい。) / ユーヤケカ° ウツツク

シー。(夕焼けが美しい。)

うで(腕) カイナ [名詞]、カエーナ [名詞] 例：カエーナ イタエー。(腕が痛い。)

うなぎ(鰻) ウナギ° [名詞] 例：ハラヘッタデ ウナギ クイテーナ。(腹が減ったからうなぎが食べたいな。)

うに(雲丹) ウニ [名詞] 例：ウニモ ツマエー。(うにも美味しい。)

うま(馬) ウマ [名詞] 例：ウマオ カッテゴザル。(馬を飼っている。)

うま(馬)のたてがみ タテガミ [名詞]

うみ・のう(膿) ウミ [名詞] 例：ウミン デル。(膿が出る。)

うみ(海) ウミ [名詞] 例：ウミワ オヨギニ イキョオッタ。(海は泳ぎに行った。)

うめ(梅) ウメ [名詞] 例：ウメノキカ° イカットル。(梅の木が植わっている。)

うら(裏) ウラッカワ [名詞] 例：ウラワ ウラッカワ。(裏は裏側。)

うり(瓜) ウリ [名詞] 例：ウリガ ダンダンカワッテキテ メロンガ ハッタツシテキタ。(瓜が段々変わってきてメロンが発達してきた。)

うるし(漆) ウルシ [名詞] 例：ウルシワ カブレル ユーネ。(漆はかぶれるというねえ。)

うれしい(嬉しい) ウレシー [形容詞] 例：コドモン ウマレタ トキワ ウレシカッタ。(子どもが生まれたときはうれしかった。)

うろこ(鱗) ウロコ [名詞] 例：アレワ ウロコガ ピカピカシトル。(あれは鱗がぴかぴかしている。)

え

え(柄) エ [名詞] 例：エーア オレッテマッタ。(柄が折れてしまった。)

えだ(枝) エダ [名詞] 例：エダン ノビル。(枝が伸びる。)

えび(海老) エビ [名詞] 例：エビワ ウマエーナー。(海老は美味しいなあ。)

えり(襟) エリ [名詞] 例：エリオ タダス。(襟をただす。)

お

お(緒) オ [名詞] 例：オオ カラゲル。(緒を結ぶ。)

お(尾) シッポ [名詞]、オンボ [名詞] 例：ネコノオンボ。(猫のしっぽ。)

おいわい(お祝い) オイウェー [名詞] 例：キョワ オイウェーヤデ ギョーサン ノム。(今日はお祝いだからたくさん飲む。)

おおきい(大きい) オーキー [形容詞] 例：コレワ アレヨリ オーキー。(これはあれより大きい。)

おか(丘) オカ [名詞]、ヤマ [名詞] 例：コノ ヤマワ ムカシカラ アッタケナ。(この山は昔からあったっけ。)

おかあさん(お母さん) オッカサン [名詞] 例：キョー オッカサン オランナー。(今日はお母さんはいないなあ。)

おく(奥) オク [名詞] 例：オクノホーニ アル。(奥の方にある。)

おけ(桶) オケ [名詞]、タラエー [名詞] 例：オケ イタンドルデ キーツケテ ミズ クンデ コイ。(桶が痛んでいるので気を付けて水汲んで来い。)

おじいさん(お祖父さん) オジーチャン [名詞] 例：キョーワ オボンデ オジーチャン オ

バーチャンノ オマイリ イコマエーカ。(今日はお盆だから、おじいちゃんとおばあちゃんのお参りに行きましょうか。)

おじさんたち オジサンター [名詞] 例：オジサンターカ° ウチーキタ。(おじさんたちがうちに来た。)

おっと(夫) オトーチャン [名詞]

おでき デキモン [名詞] 例：カオニ デキモンガ デキタ。(顔におできができた。)

おと(音) オト [名詞] 例：{オトン / オトカ°} {スル / シル}。(音がする。)

おとうさん(お父さん) オトツツァン [名詞]、チチオヤ [名詞] 例：オトツツァント サケ ノム。(お父さんと酒を飲む。) / キョーワ ウチノ チチオヤト サケ ノム。(今日はうちの父親と酒を飲む。)

おとうと(弟) オトト [名詞] 例：アニキワ デキンケドモ オトトワ シゴトワ デキル。(兄は(仕事が。)できないけれども弟は仕事ができる。)

おととい(一昨日) オトトエー [名詞] 例：オトトエーワ アメ フットツタカ° エー。(一昨日は雨が降っていたよ。)

おとし(一昨年) オトトシ [名詞] 例：オトトシワ ワリートシヤッタナー。(一昨年は悪い年だったな。)

おどり(踊り) オドリ [名詞] 例：オドリアカエータ。(踊り明かした。)

おなじ(同じ) オンナジ [形容詞]、オンナシ [形容詞] 例：フタリノ マゴ° ニ オンナジ キモノオ キセル。(二人の孫に同じ着物を着せる。)

おに(鬼) オニ [名詞] 例：オニカ° ホントニ オルト オモットツタ。(鬼が本当にいると思っていた。)

おにいさん(お兄さん) アニキ [名詞]、ニーチャン [名詞] 例：オレワ アニキガ オッタラ ヨカッタナー。(俺は兄がいたら良かったなあ。)

おの(斧) オノ [名詞] 例：オノデ マキ ワル。(斧で薪を割る。)

おばあさん(お祖母さん) オバーチャン [名詞]

おび(帯) オビ [名詞] 例：オビオ シメル。(帯を締める。)

おまえ(お前) オマエー [名詞] 例：オマエーワ {ダレダー / ダレヤー}。(お前は誰だ。)

おまえたち(お前たち) オマエーンター [名詞] 例：オマエーンターワ クルナ。(お前たちは来るな。)

おもて(表) オモテ [名詞]、オモテツカワ [名詞] 例：マ オモテワ オモテダナー。(まあ、表は表だな。)

おもや(母屋) オモヤ [名詞] 例：オカーサンワ オモヤニ オルハズヤ。(おばあさんは母屋にいるはずだ。)

おや(親) トシヨリ [名詞] 例：ウチノ トシヨリワ ゲンキヤヨ。(うちの親は元気だよ。)

おやこ(親子) オヤコ [名詞] 例：アノ オヤコワ ナカカ[°] エーナー。(あの親子は仲がいい。)

か

か(蚊) カンス [名詞] 例：カンスニ ササレタ。(蚊に刺された。)

かい(貝) カイ [名詞]、カエー [名詞] 例：カエーオ タベル。(貝を食べる。)

かい(權) カイ [名詞] 例：ナレナイト カイ コグノワ ツカレルネー。(慣れないと權を漕ぐのは疲れるねえ。)

かいがら(貝殻) キャエーガラ [名詞]

かいこ(蚕) カエコ [名詞]、オカエコサン [名詞] 例：カエコ カットル？(蚕を飼っている？)

かえる(蛙) ガエロ [名詞] 例：ガエロオ チュカマエテチョー。(蛙を捕まえてください。)

かお(顔) カオ [名詞] 例：アノオンナノヒトワ カオガエー。(あの女の人は顔がいい。)

かかと(踵) カカト [名詞] 例：カカトカ° ツカレタ。(踵が疲れた。)

かがみ(鏡) カガミ [名詞] 例：カガミオ ミテ コイ。(鏡を見てこい。)

かき(垣) カキ [名詞]、カキネ [名詞] 例：ヒトニ カキオ ツクラセタ。(人に垣を作らせた。)

かげ(影) カケ° [名詞] 例：コノ カケ° デワ モノカ° ソダタンゼ カケ° ニ オイテキャー。(この陰ではものが育たないぞ。)

がけ(崖) ガケ [名詞] 例：ガケカラ オチテマウデ キオツケヤーヨ。(崖から落ちてしまうから気をつけなさいよ。)

かご(箆) カゴ [名詞] 例：カゴン ナカニ イレトイテ。(かごの中に入れておいて。)

かさ(笠・傘) カサ [名詞] 例：カサ モツテカナイカンカ。(傘を持っていかなければいけないか。)

かす(粕) カス [名詞] 例：カスズケワ ウンマエーナ。(かす漬けはうまいなあ。)

かぜ(風) カゼ [名詞] 例：カゼ フイトル デ デタラ アカン。(風が吹いているぜ出たらだめ。)

かた(型) カタ [名詞] 例：ソノ カタオ {ツカオー / ツカオマエー}。(その型を使おう。)

かた(肩) カタ [名詞] 例：カタン イタエー。(肩が痛い。)

かたい (固い。) カタエー [形容詞]

かたち(形) カタチ [名詞] 例：コノ カタチカ° エー。(この形がいい。)

かたつむり デンデンムシ [名詞] 例：デンデンムシワ イエモチヤナ。(カタツムリは家持

ちだね。)

かたな(刀) カタナ [名詞] 例：タメシギリ ヤッテ カタナ オレテマッタ。(試し切りをや
って刀が折れてしまった。)

かつお(鰹) カツオ [名詞] 例：カツオワ クエンカッタ。(かつおは食べられなかった。)

かど(角) カド [名詞] 例：カド マカ^カ ッテ ムコー イカエー ソッチニ アルデ。(角を曲
がって向こうに行けばそっちにあるよ。)

かに(蟹) カニ [名詞] 例：ハラガヘッタデ カニン クイタエー。(腹が減ったからかにが食
べたい。)

かね(金)(金属・お金) カネ [名詞] 例：オカネ モッテ キテルノ。(お金を持って来ている
の。)

かび(黴) カビ [名詞] 例：ツユドキワ カビガ ハエル。(梅雨時はカビが生える。)

かぼちゃ(南瓜) カボチャ [名詞] 例：カボチャオ ニル。(南瓜を煮る。)

かま(釜) カマ [名詞] 例：カマンナカニ サツマイモ ヤットウデ クエ。(釜の中にさつま
いも焚いているので食べ。)

かま(鎌) カマ [名詞] 例：カマ モッテ クル コト ワスレチャッタ。(鎌を持ってくるこ
と忘れてしまった。)

かまきり(蟻螂) カマキリ [名詞] 例：カマキリ イッパエー オッタヨ。(カマキリがいっぱ
いいたよ。)

かまど(竈) クド [名詞] 例：クドニ タキモンオ クベツズケル。(かまどに薪をくべ続ける。)

かみ(紙) カミ [名詞] 例：カミワ ダエージニ シロヨ。(紙は大事にしろよ。)

かみなり(雷) ヨドツツァアマ [名詞] 例：ヨドツツァマ キタ。(かみなりがきた。)

かみのけ(髪の毛) カミノケ [名詞] 例：カミノケオ {キル / カル}。(髪の毛を切る。)

かめ(亀) カメ [名詞] 例：アーツワ カメミタエーニ ドロンナカデ イキテゴザル。(あいつは亀みたいに泥の中で生きている。)

かめ(瓶) カメ [名詞] 例：カメー ソーソト モツテコイヨ。(瓶をゆっくりと持って来いよ。)

かや(茅) カヤ [名詞] 例：カヤブキノ ヤネ (茅葺きの屋根。)

かゆ(粥) カユ [名詞]、オキヤー ~ オカエー ~ オカエ [名詞] 例：ノクテー オキヤー タベルト カゼ ナオル。(温かいおかゆを食べると風邪が治る。)

かゆい(痒い) カイー [形容詞]、カエー [形容詞] 例：カニ ササレテ カエー。(蚊に刺されてかゆい。)

からす(烏) カラス [名詞]、イチミヤガラス [名詞] 例：カラスワ アタマ エーナ。(からすはあたまがいい。)

からだ(体) カラダ [名詞] 例：カラダガ° イチバン ダエー ज्या。(体が一番大事だ。)

かわ(川) カワ [名詞] 例：カワカ° ナカ° レトル。(川が流れている。)

かわ(皮) カワ [名詞] 例：カワン メクレタ。(皮がめくれた。)

かわら(瓦) カワラ [名詞] 例：{カワラカ° / カワラン} オチトルデ {カゼカ° / カゼン} ツヨカッタニ チカ° エーネー。(瓦が落ちているから風が強かったに違いない。)

かんざし カンザシ [名詞] 例：ナカナカ イー カンザシダネー。(なかなか良いかんざしだねえ。)

き

き(木) キ [名詞] 例：キカラ ハッパカ° オチル。(木から葉が落ちる。)

きくらげ キクラゲ [名詞] 例：キクラゲ カツテコイ。(きくらげを買ってこい。)

きず(傷) キズ [名詞] 例：クビオ ウンデ キズン ツイタ。(首を腫んで傷がついた。)

きせる(煙管) キセル [名詞] 例：キセル モッテ キテ クレル。(煙管を持ってきてくれる。)

きた(北) キタ [名詞] 例：キタノホーエ イッテミヤー。(北の方へ行ってみなさい。)

きたかぜ(北風) キタカゼ [名詞] 例：キタカゼ フートル。(北風が吹いている。)

きたない(汚い) キタナエー [形容詞] 例：コノ ヘヤワ ダエーブ 《ン》 キタナエーナ。

(この部屋はかなり汚いな。)

きね(杵) キネ [名詞] 例：キネニー モチ ツイトルデ キレーニ シトケ。(杵に餅がついて

いるのできれいにしておけ。)

きのう(昨日) キンノー [名詞] 例：キンノーワ アメ フットツタカ° エー。(昨日は雨が降
っていたよ。)

きのこ(茸) キノコ [名詞] 例：キノコオ {カッテキテクレ / カッテキテチョー}。(きのこ
を買ってきてくれ。)

きも(肝) キモッタマ [名詞]、キモ [名詞]

きもの(着物) キモノ [名詞] 例：キモノオ キル。(着物を着る。)

きゅう(灸) キュー [名詞] 例：キューオ スエル。(灸をすえる。)

きゅうす(急須・鉄瓶) キュース [名詞] 例：キュースン ナカニ オチャガ ノコットル。

(急須の中にお茶が残っている。)

きゅうそく(休息) キューソク [名詞] 例：キューソクオ トリヤー。(休息をとりなさい。)

きゅうり(胡瓜) キウリ [名詞] 例：キューリオ キル。(きゅうりを切る。)

きょう(今日) キョー [名詞] 例：キョーワ テンキヤナー。(今日は(いい。)) 天気だな。)

きょうだい(兄弟) キョーダエー [名詞] 例：アスコノ イエワ キョーダエーカ° オウエ

ー。(あそこの家は兄弟が多い。)

きょねん(去年) キョネン [名詞] 例: キョネン カ° ツコー ソツンヨー シタカ° エ。(去年学校を卒業した。)

きり(錐) キリ [名詞] 例: キリデ アナアクヨリ シャーネーナ。(錐で穴開けるより仕方がないなあ。)

きり(霧) キリ [名詞] 例: ゴカ° ツワ キリノ オエー ツキ ダガエ。(五月は霧の多い月だぜ。)

く

くき(茎) クキ [名詞]、ジク [名詞]

くぎ(釘) クギ° [名詞] 例: クギ° オ ツカワスト キオ クム。(釘を使わずに、木を組む。)

くさ(草) クサ [名詞] 例: クサ ムシル。(草をむしる。)

くさはら(草原) クサツパラ [名詞] 例: クサツパラニワ イロイロ ムシカ° オルデヨー キオツケヤーヨ。(草原にはいろいろな虫がいるから気をつけなさいよ。)

くさり(鎖) クサリ [名詞] 例: クサリデ ツナエドケ。(鎖でつないでおけ。)

くし(櫛) クシ [名詞] 例: クシデ スク。(櫛で梳く。)

くじら(鯨) クジラ [名詞] 例: クジラオ タベル。(くじらを食べる。)

くすり(薬) クスリ [名詞] 例: マエーアサ ビョーインデ クスリオ モラッテクル。(毎朝病院で薬をもらってくる。)

くそ(糞) ウンコ [名詞]、ババ [名詞] 例: ババ フム。(糞を踏む。)

くだもの(果物) クダモノ [名詞]、クダモン [名詞] 例: クダモン ウッメー。(果物はう

まい。)

くち(口) クチ [名詞]、クチベタ [名詞]

くちびる(唇) クチビル [名詞] 例：クチビルガ イタエー。(唇が痛い。)

くなん(九男) クナン [名詞]

くにん(九人) クニン [数詞]、キューニン [数詞]

くび(首) クビタマ [名詞]、クビタ [名詞]、クビ [名詞] 例：クビタマン カイー。(首が
かゆい。)

くも(雲) クモ [名詞] 例：ナツノ クモワ ニュードーク° モカ。(夏の雲は入道雲か。)

くも(蜘蛛) クモ [名詞] 例：クモノ スカ° イッパイ アルナ。(蜘蛛の巣がいっぱいある。)

くものす(蜘蛛の巣) クモノス [名詞] 例：クモノ スニ ハチカ° カカッテルカ° エ。(蜘蛛
の巣に蜂がかかっているよ。)

くるぶし(踝) クルブシ [名詞] 例：クルブシオ ウッタ。(踝を打った。)

くわ(桑) クワ [名詞] 例：チューガッコーノ ソバニ クワバタガ アリヨッタ。(中学校の
そばに桑畑があった。)

くわ(鍬) クワ [名詞] 例：ウネズクリワ クワガ イチバン イージャナイノー。(畝作りは
鍬が一番いいじゃないの。)

クワズイモ クワズイモ [名詞]

け

け(毛) ケ [名詞] 例：ケン スケル。(毛が抜ける。)

けが(怪我) ケカ° [名詞] 例：キニ ケツマズイテ ケカ° オ シタ。(木につまづいて怪我

をした。)

げた(下駄) ゲタ [名詞] 例: ゲタオ ハク。(下駄をはく。)

けっこん(結婚) ケツコン [名詞] 例: マコ[°] カ[°] ケツコンシタ。(孫が結婚した。)

けむり(煙) ケブリ [名詞] 例: コノ ケブリワ ケブテーナ。(この煙わ煙たい。)

けんか(喧嘩) ケンカ [名詞] 例: ケンカ {スル / シル}。(喧嘩をする。)

こ

こ・こな(粉) コナ [名詞] 例: ナンノ コナヤロ。(何の粉だろう。)

こ(子) コ [名詞]

こい(鯉。) コイ [名詞]

こい(鯉) コエー [名詞]

こい(濃い) コエー [形容詞] 例: イロカ[°] コエー。(色が濃い。)

こい(来い) コエー [動詞] 例: コッチニ コエー。(こっちに来い。)

こいびと(恋人) コエービト [名詞] 例: {コエービトカ[°] / コエービトナンカ} オラン。

(恋人がいない。)

こうがん(睾丸) キンタマ [名詞] 例: キンタマン カイー。(睾丸がかゆい。)

こうじ(麴) コージ [名詞] 例: コージノ ツケモンデモ クイテーナ。(麴の漬物でも食いた
いなあ。)

こうもん(肛門) ケツノアナ [名詞] 例: ジガワルイモンデ ケツノアナガ カイー。(痔な
ので肛門がかゆい。)

こえ(声) コエ [名詞] 例：フナキカズオワ コエガ エー。(舟木一夫は声が良い。)

こがたな(小刀) コガタナ [名詞] 例：コガタナデ エンピツ ケズリヨッタ。(小刀で鉛筆を削っていた。)

ここ ココ [指示詞] 例：ココニ ムカシ ムラカ° アッタ。(ここに昔、村があった。)

ここの(九) ココ [数詞]

ここのつ(九つ) ココノツ [数詞]

こころ(心) ココロ [名詞] 例：マルデ {ココロノ / ココロカ°} ナエー {ヒトダ / ヒトミタエーダ / ヒトノヨーダ}。(まるで心のない人のようだ。)

ござ ゴザ [名詞] 例：ハヨ ゴザ ヒカナ イカンガネ。(早くござを引かなければいけないがね。)

こし(腰) コシ [名詞] 例：コシン マカ° ッテキタ。(腰が曲がってきた。)

こずえ(梢) コズエ [名詞]

ことし(今年) コトシ [名詞] 例：コトシワ ナンサイニ ナッタノ？(今年は何歳になったの？)

ことば(言葉) コトバ [名詞] 例：コトバカ° {デテコン / デテコーヘン}。(ことばが出てこない。)

こども(子供) チビタチ [名詞]、チビ [名詞] 例：チビタチカ° サワイドル。((うちの)子供たちが騒いでいる。)

ごなん(五男) ゴナン [名詞] 例：ゴ° ナンボーワ マンダ {ショーカ° クセーダヨ / ショーカ° クセーダギヤーモ}。(五男坊はまだ小学生だ。)

ごにん(五人) ゴニン [数詞]

こぶし(拳) ゲンコツ [名詞] 例：ゲンコツデ ドナグッタル。(拳で殴ってやる。)

ごま(胡麻) ゴマ [名詞] 例：ゴマアブラデ ヤキソバ ツクルト ウマエー。(ごま油で焼きそばを作ると美味しい。)

こめ(米) コメ [名詞] 例：コメン ナエーデ コメオ ツイテコイ。(米がないので米を調達こい。)

こよみ(暦) コヨミ [名詞] 例：コヨミミンヤ ワカラン。(暦(カレンダー。)を見ないとわからない。)

これ コレ [指示詞] 例：コレワ ワシガ° キンノー カッタ キモノヤ。(これは私が昨日買った着物だ。)

さ

さお(竿) サオ [名詞] 例：サオ フカナイカンカ。(竿を拭かなければいけないか。)

さか(坂) サカ [名詞] 例：コノサカワ キツイーナモ。(この坂は急ですね。)

さかな(魚) サカナ [名詞]、トト [名詞]

さけ(酒) サケ [名詞] 例：アー コンヤワ サケデモ ノムカイ。(ああ今夜は酒でも飲むかい。)

さつまいも(甘藷) サツマエーモ [名詞]

さとう(砂糖) サト [名詞] 例：サトーン キーテルダイナ。(砂糖が利いているんだよなあ。)

さとうきび(砂糖黍) サトノキ [名詞] 例：ウンドーカイ サトノキバッカ ヤッタ。(運動会はサトウキビばかりだった。)

さとうきびのせんたん(先端) サトノキノサキッポ [名詞] 例：サトノキノサキッポオ キル。(サトウキビの先端を切る。)

さむい(寒い) サブイー [形容詞] 例：マツト サブナル カシャン 《ナー》。(もっと寒くなるのかな。)

さめ(鮫) サメ [名詞]

さら(皿) サラ [名詞]、テシオ ~ テショー [名詞] 例：テショー モツテコイ。(小皿を持って来い。)

さらいねん(再来年) サラエーネン [名詞] 例：サラエーネンワ イチネンセーヤカ[°] エー。
(再来年は一年生だね。)

ざる(箆) ザル [名詞] 例：ザルニ イレレバ イージャナイ。(ざるに入ればいいではないか。)

さんごしょう(珊瑚礁) サンゴ[°] ショー [名詞] 例：サンゴ[°] ショーワ ミタコトカ[°] ナ
エー。(珊瑚礁は見たことがない。)

さんなん(三男) サンナンボー [名詞] 例：サンナンボーカ[°] オランカラ ヨー ネレル。
(三男がいないとよく寝ることができる。)

さんにん(三人) サンニン [数詞]

し

しあさって(明々後日) シアサツテ [名詞] 例：シアサツテワ サパリ ワカランデー。(明々後日(のこと。)はさっぱりわからない。)

しお(塩) シオ [名詞] 例：シオバツカ ツカトルナー。(塩ばかり使っているなあ。)

しお(潮) シオ [名詞] 例：シオノ ヒキカ[°] オセー。(潮の引きが遅い。)

しおからい(塩辛い) シオカライ [形容詞]、シオッカレー [形容詞] 例：シオッカレーナ
ー コノ ツケモンワ。(塩辛いな、この漬物は。)

じじょ(次女) シタノオネーチャン [名詞]、チーネーチャン [名詞] 例：ウチノ シタノネーチャンワ トーキョーニ イットルデヨー。(うちの次女は東京に行っているよ。)

じしん(地震) ジシン [名詞] 例：ジシンワ オソエキ[°] ーニ。(地震が恐ろしいですよ。)

した(下) シタ [名詞] 例：シタノ ホーニ オカエー。(下の方に置きなさい。)

した(舌) ペロ [名詞] 例：ペロン イタエー。(舌が痛い。)

しちなん(七男) シチナン [名詞]

しちにん(七人) ヒチニン [数詞]

じなん(次男) ジナンボー [名詞]、チーニーチャン [名詞]、チッチャイオニーチャン [名詞] 例：チッチャイオニーチャンガ オミヤケ[°] カッテキタ。(次男がお土産を買ってきた。)

しま(島) シマ [名詞] 例：コノ シマワ エーナ。(この島はいいな。)

しゃみせん(三味線) シャミセン [名詞] 例：シャミセンワ ヤッパリ イイナー。(三味線はやっぱりいいなあ。)

しゃもじ シャモジ [名詞]、オシャモ [名詞] 例：オシャモデ ゴハン ツケヨル。(しゃもじでごはんをすくって入れている。)

じゅうなん(十男) ジューナン [名詞]

じゅうにん(十人) ジューニン [数詞]

しょくじ(食事) ショクジ [名詞]、ヒルメシ [名詞] 例：ウーン ヒルメシドキヤワナ。(うーん、昼飯時だわな。)

しらが(白髪) シラガ [名詞] 例：シラガン フェタ。(白髪が増えた。)

しらみ(虱) シラミ [名詞] 例：シラミ ワカラカェトル コカ[°] オル。(虱がわいている子がいる。)

しり(尻) ケツ [名詞]、シリ [名詞] 例：シリモチオ ツク。(尻もちをつく。)

しる(汁) シル [名詞]、オシーシ [名詞] 例：シルト ゴハント クルト シーシママ。(汁と
ご飯とくるとねこまんま。)

しるし(印) シルシ [名詞] 例：シルシオ モラッタ。(印をもらった。)

す

す(巢) ス [名詞] 例：トリノ ス トッテチョー。(鳥の巢取ってください。)

すえっこ(末っ子) チビ [名詞] 例：チビカ° キヤーテ キタ《ギヤー》。(末っ子が帰って
きた。)

すき(鋤) スキ [名詞]

すき(鋤) (牛にひかす。) スキ [名詞] 例：イマノ コドモタチワ スキオ ミタコトナイダ
ローナー。(今の子供たちは鋤を見たことがないだろうなあ。)

すきだ(好きだ) スキヤ [形容詞] 例：イモヨリ コメカ° スキヤ。(芋よりコメが好きだ。)

すごい スゴエー [副詞]

すこし(少し) スコシ [形容詞] 例：{スコシ / チョコット} サブイー。(すこし寒い、小寒
い。)

すじ(筋) スジ [名詞] 例：スジオ ヒク。(筋を引く。)

すす(煤) スス [名詞] 例：テンジョーニ {ススカ° / ススン} ツイートル。(天井に煤が
ついている。)

すす(煤) (鍋などに付く汚れ。) スス [名詞] 例：カマ ツカッタデ スス ツイトルデ ス
ス ソージ シトケ。(釜を使ったのですが付いているので、すすを掃除をしておけ。)

すすき(薄) ススキ [名詞] 例：イモメーゲツニ ススキ ソナエル。(芋名月にすすきを供える。)

すずめ(雀) スズメ [名詞] 例：クシヤキト イウト スズメカエ。(串焼きというすとすずめか。)

すそ(裾) スソ [名詞] 例：スソオ ナオス。(すそを直す。)

すな(砂) スナ [名詞]、ジャリ [名詞]、ジャリスナ [名詞] 例：ソコニ ジャリ ヒカエー ミズタマリ デキンヨーニアルニ。(そこに砂を引けば水たまりができないようになるよ。)

すね(脛) スネ [名詞] 例：スネガ ホソル。(脛が細る。)

すもう(相撲) スモー [名詞、[古] スモ [名詞] 例：{スモーオ / スモーデモ} ミニ イコマエー 《カ》。(相撲を見に行こう。)

せ

せき(咳) セキ [名詞] 例：セキバライ (咳払い)

せたけ(背丈) セタケ [名詞]、セータケ [名詞]、セー [名詞] 例：コドモノ ウチワ セタケン ノビル。(子供のうちは背丈が伸びる。)

せなか(背中) セナカ [名詞]、セ [名詞] 例：セナカオ ナガス。(背中を流す。)

せみ(蟬) セミ [名詞] 例：セミカ° ナエトルカ° エー。(セミが鳴いているよ。)

ぜん(膳) ゼン [名詞] 例：オゼン モツテコイ。(お膳を持って来い。)

そ

そうごふじょ(相互扶助)(農作業など) タスケアエー [名詞]、モヤイ [名詞]、モーヤ

エーコ [名詞] 例：ムカシワ タスケアエーオ シタモンダワ。(昔は相互扶助をした。) /
チャント モーヤエーコ シアーヨ。((兄弟でお菓子などを取り合っている時に母親が) ちゃんと分け合いなさい。)

ぞうすい(雑炊) ゴースィー ~ ゴースィ [名詞]、オゴースィ [名詞] 例：サミーデ ゴ
ースィーデモ タケ。(寒いので雑炊でも煮ろ。)

ぞうり(草履) ゴーリ [名詞]、ジョリ [名詞] 例：ジョリオ ハク。(草履をはく。)

そこ ソコ [指示詞] 例：ソコニワ イマ ムラカ° ナエー。(そこには今、村がない。)

そこ(底) ソコ [名詞] 例：ソコノホーデ ウコ° エートルケ° ー。(底の方で(魚などが)動いているよ。)

そで(袖) ソデ [名詞] 例：ソデオ トース。(袖を通す。)

そてつ ソテツ [名詞] 例：アソコワ ソテツカ° ニワニ アルモンデ オダエージンヤ。(あそこはソテツが庭にあるから金持ちだ。)

そと(外) ソト [名詞] 例：ソトエー ダエー。(外に出ろ。)

そば(傍) ワキ [名詞] 例：ワキ オカエー。(そばに置きなさい。)

そら(空) ソラ [名詞] 例：キレーナ ソラヤナ。(きれいな空だな。)

それ ソレ [指示詞] 例：ソレワ ワシカ° キンノー {カッタモンヤ / カッタモノヤ}。(それは私が昨日買ったものだ。)

た

た(田) タンボ [名詞] 例：タンボン ナカ ハエータエヤ アカンダエ。(田んぼの中に入っ
てはいけないよ。)

だいこん(大根) ダエーコ [名詞] 例：ハタエ イッテ ダエーコンオ スイテキテ バンゲン
ナルマデニ ソーヨクシヨ。(畑へ行って大根を抜いてきて晩御飯までに食べられるようにき
れいにしてくれ。)

だいどころ(台所) ダエードコ [名詞] 例：ドコカ° ダエードコヤネ。(どこが台所です
か。)

たいまつ(松明) タイマツ [名詞] 例：コノ テードノ タイマツデワ イサリニワ キビシー
ネー。(この程度の松明では漁りには厳しいねえ。)

たいよう(太陽) オテントーサマ [名詞] 例：オテントーサマ カケ° トル カ° ェー。(太
陽は陰ているよ。)

たか(鷹) タカ [名詞] 例：タカガリオ ヤッタ コト アルノ。(たかがりをやったことがあ
るの。)

たから(宝) タカラ [名詞] 例：コレカ° ウチノ タカラヤ。(これがうちの宝だ。)

たきぎ(薪) タキイ ~ タキギ [名詞] 例：タキギ カッテオイテ。(薪を買っておいて。)

たくあん(沢庵) ダエーコズケ [名詞]、コーコ [名詞]

たくさん ギョーサン [副詞] 例：ギョーサン サケオ {ツギヤー / ツケ° }。(たくさん酒
をつげ。)

たけ(竹) タケ [名詞]、タケンボ [名詞] 例：アソコエ イッテ タケトッテキテ ハダカマ
ツリニ デヨー。(あそこへ行って竹をとってきて裸祭に出よう。)

たこ(蛸) タコ [名詞] 例：タコモ サシミニ スルト ウマエー。(たこも刺身にすると美味
い。)

たつまき(竜巻) タツマキ [名詞] 例：タツマキカ[°] ハッセイシトルンガエナ。

(竜巻が発生しているらしい。)

たな(棚) タナ [名詞] 例：タナカラ ホン《オ》 トッテチョー。(棚から本をとってくれ。)

たね(種) タネ [名詞] 例：キョーワ タネマキ。(今日は種まき。)

たび(足袋) タビ [名詞] 例：タビオ ハク。(足袋をはく。)

たび(旅) タビ [名詞] 例：タビカラ {カエッタヨ / カエーッタヨ}。(旅から帰ったよ。)

たべもの(食べ物) クィーモン [名詞] 例：ノラネコミタエーニ クィーモン ヤッタラ カ
ン。(野良猫に食べ物をやってはいけない。)

たべる(食べる) クー [動詞] 例：コノ コワ ヨー クー。(この子供はよく食べる。)

たまご(卵) タマゴ[°] [名詞] 例：タマゴ[°] ワ ホームライスニ カギル。(卵はホームライス
に限る。)

たましい(魂) タマシー [名詞] 例：タマシーカ[°] スケルホド オドラエータ。(魂が抜け
るほど驚いた。)

たらい(盥) タラエー [名詞] 例：センタク セニャアカンデ タラエー モッテコイ。(洗濯
をしなければならないのでたらいを持って来い。)

だれ ダレ [疑問詞] 例：ダレカ[°] ツリニ イクノー？(だれが釣りに行くの？)

たわら(俵) タワラ [名詞] 例：タワラガ ツンデアル。(俵が積んである。)

たんこぶ コブ [名詞]、タンコブ [名詞] 例：アタマオ ウッテ タンコブン デキタ。(頭
を打ってたんこぶができた。)

ち

ち(血) チ [名詞] 例：ケガオシテ チン デル。(怪我をして血が出る。)

ちいさい(小さい) チーセー [形容詞] 例：コレワ アレヨリ チーセー。(これはあれより小さい。)

ちから(力) チカラ [名詞] 例：アレワ チカラモチ。(あの人は力持ち。)

ちち(乳) チチ [名詞] 例：コドモニ チチオ ヤル。(子どもに乳をやる。)

ちゃ(茶) チャ [名詞]、オブー [名詞] 例：オチャ ワカス。(お茶を沸かす。)

ちゃわん(茶碗) チャワン [名詞] 例：チャワonga ワレンヨーニ ダエージニ モッテコイヨ。(茶碗が割れないように大事に持って来いよ。)

ちょうじょ(長女) オネーチャン [名詞]

ちょうじょう(頂上) テッペン [名詞] 例：テッペンニ イッタコトアル?(頂上に行ったことある?)

ちょうちょ(蝶々) チョチョ [名詞] 例：チョーチョーワ ガト チガウナ。(蝶々は蛾と違うな。)

ちょうなん(長男) オニーチャン [名詞] 例：オニーチャンガ ヒーサシブリニ カエッテキタ。(長男が久しぶりに帰ってきた。)

つ

つえ(杖) ツエ [名詞] 例：ツエ ワスレルト イカンンヨ。(杖を忘れるといけないよ。)

つき(月) オツキサマ [名詞] 例：オツキサマ デテキタ カ° エ。(月が出てきたよ。)

つち(土)・じめん(地面) ジベタ・ツチ [名詞] 例：ジベター スワリヤスナ。(地面に座っ

てはいけません。)

つつみ(鼓) ツズミ [名詞] 例：ツズミオ ウチナカ^ラ オドッタ。(鼓をうちながら、踊った。)

つな(綱) ツナ [名詞] 例：ツナ ヒッパットレ。(綱を引っ張っている。)

つの(角) ツノ [名詞] 例：ツノオ カキートル。(角を隠している。)

つば(唾) ツバ [名詞] 例：ツバオ ノム。(唾を飲む。)

つぶ(粒) ツブ [名詞] 例：ゴハンツブシカ イーヨーガネーナー。(ご飯粒しか言いようがないなあ。)

つぼ(壺) ツボ [名詞] 例：ツボン ナケー ウメボシガ ハイットルデー。(壺の中に梅干しが入っているよ。)

つむじ(旋毛) ツムジ [名詞]、ギリ [名詞] 例：ツムジオ マゲル。(旋毛を曲げる。)

つめ(爪) ツメ [名詞] 例：ツメノ アカオ センジテ ノム。(爪の垢を煎じて飲む。)

つめたい(冷たい) ツメタエー [形容詞]、ツベタエー [形容詞] 例：チョコット ツベタスキ^ル。(すこし冷たすぎる。)

つゆ(露) ツユ [名詞] 例：アサ ツユ フンデ シュッパツ ヤ。(朝露踏んで出発だぜ。)

つよい(強い。) ツオエー ~ ツヨエー ~ ツウエア ~ ツウエー [形容詞] 例：アソコノ アニワ ツウエー。(あそこの兄は強い。)

つら(面) ツラ [名詞] 例：ツラノカワガ アツイ。(面の皮が厚い。)

て

て(手) テ [名詞] 例：テオ アケ[°] ル。(手を挙げる。)

てぬぐい(手ぬぐい) テヌグイ [名詞]、テヌギー [名詞] 例：アツイデ テヌギー モラエ
ンケ。(暑いので手拭いをもらえないか。)

てんじょう(天井) テンジョー [名詞] 例：テンジョーカ[°] ドエラエー タカエーナー。(天
井がすごく高いね。)

てんぷら(天婦羅) テンプラ [名詞] 例：ナスビノ テンプラガ オイシーナー。(茄子のて
んぷらがおいしいなあ。)

と

と(戸) ト ~ トー [名詞] 例：トーカ[°] アエータ。(戸が開いた。)

どう ドー [指示詞] 例：ドーヤッタラ エーノ? (どうやったらいいの?)

とうがらし トッカ[°] ラシ [名詞] 例：コノ ウドンワ トンガラシン ヨー キートル。(こ
のうどんはとうがらしがよくきいている。)

とうがん(冬瓜) トーガン [名詞] 例：トーガン ユデヨ。(冬瓜を茹でよう。)

どうくつ(洞窟) ホラアナ [名詞]、ホラ [名詞] 例：ギフケンニワ ホラノ ツク ユウシ
ョガ イッペエ アルヨ。(岐阜県には洞穴のつく住所がいっぱいあるよ。)

どうぶつ(動物) ケモノ [名詞]、ケダモン [名詞]

とお(十) トーオ [数詞]

とおあさ(遠浅) トオアサ [名詞] 例：オヨク[°] ナラ トオアサニ シテキャヨ。(泳ぐなら遠
浅にしろよ。)

とき(時) トキ [名詞] 例：トキトシテワ オモシレーコトモ アルナー。(時としては面白いこともあるな。)

とげ(棘) トゲ° [名詞] 例：トゲン ササッテ イタエー。(棘が刺さって痛い。)

どこ ドコ [疑問詞] 例：ドコエー ツリニ イクノー？(どこに釣りに行くの？)

とさか トサカ [名詞] 例：イッペン トサカ クッテミャー。(一遍とさかを食べてみろ。)

とし(年) トシ [名詞] 例：トシトモニ カラダガ° ヨワッテキタナー。(年とともに体が弱ってきたな。)

となり(隣) トナリ [名詞] 例：トナリノ セキガ° アエートル。(隣の席が空いている。)

とびうお(飛魚) トビウオ [名詞] 例：トビウオワ クッタ コトワ ナエー。(とびうおは食べたことがない。)

とり(鳥) トリ [名詞]

どれ ドレ [疑問詞] 例：{ワタシン / ワタシカ°} ツッタ サカナワ ドレー？(私が釣った魚はどれ？)

とんぼ(蜻蛉) トンボ [名詞] 例：トンボ トリニ イコーカ。(とんぼを取りに行こうか。)

な

な(菜) ナツパ [名詞] 例：ナツパオ {ユデヨー / ウデヨー}。(菜を茹でよう。)

な(名) ナ [名詞]、ナマエー [名詞] 例：ワシノ ナマエーワ X {ダガ° ネ / デス / ヤカ°ネ}。(私の名前はXです。)

ない(無い) ナエー [形容詞] 例：《マー》 ハエー コメカ° {ダエーブン / ホトンド} ナエー。(もうお米がほとんどない。)

なえ(苗) ナエ [名詞] 例：キョーワ オッカサンガ ナエオ トリニ イカセタ。(今日はお母さんが苗を取りに行かせた。)

なか(中) ナカ [名詞] 例：ナカワ カラッポヤカ° エー。(中は空っぽだ。)

なさけ(情け) ナサケ [名詞] 例：ナサケカ° ダエージダ。(情けが大事だ。)

なぜ ナゼ [疑問詞]、ナンデ [疑問詞] 例：ナンデ コノサカナワ タベレンノ？(なぜこの魚は食べられないの？)

なつ(夏) ナツ [名詞] 例：ナツワ アツツイーナー。(夏は暑いな。)

なな(七) ナー [数詞]

ななつ(七つ) ナナツ [数詞]

なに ナニ [疑問詞] 例：ナニオ ケーニ イクノー？(なにを買いに行くの？)

なまこ ナマコ [名詞]

なみ(波) ナミ [名詞] 例：キョーワ ナミカ° タケーデ ヨジンシヤヨ。(居は波が高いぜ用心しろよ。)

なみだ(涙) ナミダ [名詞] 例：ナサケ ナテ ナミダン デル。(情けなくて涙が出る。)

なわ(縄) ナワ [名詞] 例：ナワ ナエ。(縄を縛え。)

に

に(荷) ニ [名詞] 例：ニガ オメー。(荷が重い。)

におい(匂い) ニオイ [名詞]、ニヤエ [名詞] 例：ヘンナ ニヤエーガ シヤガルヨナー。
(変なにおいがしやがるよなあ。)

にがうり(苦瓜) ニガウリ [名詞]、クイカ [名詞]、ゴーヤ [名詞] 例：ニガウリ アンナ

モノ ウマナエー。(にがうり、あんなもの美味くない。) / コドモノコロ オーサンガ クイ
カオ クエイトテ クッタンヤケド チョットモ ウマナカッタ。(子供のころおばあさんがにが
うりを食えと言って食べたけれど少しも美味くなかった。) / ゴーヤモ オレワ ソーウマナエー。
(にがうりも俺は美味しいと思わない。)

にく(肉) ニク [名詞] 例：ニクガ クイタエー。(肉が食いたい。)

にし(西) ニシ [名詞] 例：ニシノホーエ イッテミヤー。(西の方へ行ってみなさい。)

にじ(虹) ニジ [名詞] 例：ニジワ ナナイロト イワレトル。(虹は七色と言われている。)

にしかぜ(西風) ニシカゼ [名詞] 例：ニシカゼ フートル。(西風が吹いている。)

にな(蜷)、まきがい(巻貝) ニーナ [名詞]、カワニナ [名詞]、ニーナエー [名詞] 例：

ゲンジボタルノ エサワ ニーナエー。(ゲンジボタルの餌は蜷。)

にょう(尿) ションベ [名詞]、シッコ [名詞]

にら(韭) ニラ [名詞] 例：ハタエ イッテ ニラオ ヒーテコイ。(畑へ行ってにらを引っこ
抜いてこい。)

にわ(庭) ニワ [名詞] 例：マコ[°] ニ ニワオ ソージ シテマッタ。(孫に庭を掃除してもら
った。)

にわとり(鶏) ニワトリ [名詞]、トリ [名詞] 例：ニワトリ コロエテ タベヨーカ。(鶏を
つぶして食べようか。) / コレカラ トリ コロスカ。(これから鶏を殺すか。)

にんにく(大蒜) ニンニク [名詞] 例：ニンニク スリツビーテ タマリ ナケ イレルト ヤ
キニクノ タレン ナル。(ニンニクをすりつぶして溜り(醤油)の中へ入れると焼肉のたれに
なる。)

ぬ

ぬか(糠) ヌカ [名詞] 例：コメヌカ モラッテキテ タクアンデモ ツケヨー。(米ぬかもら
ってきてたくあんでも漬けよう。)

ぬの(布) ヌノ [名詞]、キレ [名詞] 例：ヌノオ キル。(布を着る。)

ね

ね(根) ネッコ [名詞] 例：ネッコオ スク。(根を抜く。)

ねぎ(葱) ネブカ [名詞]

ねこ(猫) ネコ [名詞] 例：アッコノ ネコワ ネズミオ トル。(あその猫は鼠をとる。)

ねずみ(鼠) ノネズミ [名詞]

の

の(野) ノ [名詞] 例：ノニ サク ハナ (野に咲く花)

のこ(鋸) ノコ [名詞] 例：ノコギリガ ヘタヤデー キレーニ キレーセン。(のこぎりが下
手なのできれいに切れはしない。)

のみ(蚤) ノミ [名詞] 例：ノミニ クワレテ カエーナー。(蚤に噛まれて痒いね。)

のみ(鑿) ノミ [名詞] 例：ノミデ ホゾー ホットケ。(のみでほぞ(穴)を掘っておけ。)

は

は(歯) ハ [名詞] 例：ハノオクガ イタエー。(歯の奥が痛い。)

は(葉) ハツパ [名詞] 例：ハツパ アキ ナツテキタ。(葉が秋になってきた。)

はい(灰) ハエー [名詞] 例：タバコノ ハエー ホカッテコイ。(たばこの灰を捨ててこい。)

はえ(蠅) ハエ [名詞] 例：ハエワ ウジカラ デテキテト ハエニ ナル。(蠅は蛆から出ると
蠅になる。)

はか(墓) ハカ [名詞] 例：イエモ ハカモ ツクッタラ エラエー。(家も墓も作ったら、え
らい。)

はかま(袴) ハカマ [名詞]

はぐき(歯茎) ハク° キ [名詞] 例：ハク° キカ° ヘッテキタ。(歯茎が減ってきた。)

はこ(箱) ハコ [名詞] 例：マンジューノ ハコ (饅頭の箱)

はさみ(鋏) ハサミ [名詞] 例：ハサミモ トガナアカンワナー。(ハサミも研がなければな
らないわなあ。)

はし(橋) ハシ [名詞] 例：コノ ハシ ワタッテイクト イケル ゼー。(この橋渡っていく
といけるぜ。)

はし(箸) ハシ [名詞] 例：ハシ ツカッテ ゴハン クエ。(箸を使ってご飯を食え。)

はしら(柱) ハシラ [名詞] 例：キョーワ ハシラオ タテルゾ。(今日は柱をたてるぞ。)

はたけ(畑) ハタ [名詞] 例：ハヨ ハタエ イカエー。(速く畑に行きなさい。)

はたけさぎょう(畑作業) ハタケサキ° ヨー [名詞]、ハタサキ° ヨー [名詞]、ハタシコ°

ト [名詞] 例：ハタシコ° トニ イッテクルデエカ。(畑作業に行ってくるね。)

はち(鉢) ハチ [名詞] 例：ハチワ ワラカサンヨーニ ダエージニ シヨー。(鉢は割らないように大事にしよう。)

はち(蜂) ハチ [名詞] 例：ハチニ ササレタラ イテゼエ キーツケヤヨ。(蜂に刺されたら痛いぜ、気をつけろよ。)

はちなん(八男) ハチナン [名詞]

はちにん(八人) ハチニン [数詞]

ばった バッタ [名詞] 例：バッタ トリニ イカンカ。(ばったを取りにいかないか。)

はと(鳩) ハト [名詞]、ドバ [名詞] 例：ウルセー ドバカ° オルナエ。(うるさいはとがいる。)

はな(花) ハナ [名詞] 例：ハナン サエータ。(花が咲いた。)

はな(鼻) ハナ [名詞]

はなぢ(鼻血) ハナジ [名詞] 例：ハナジン デル。(鼻血が出る。)

はね(羽) ハネ [名詞] 例：イッポンノ ハネモ トリノ ハネヤガエ。(一本の羽も鳥の羽だよ。)

はま(浜) ハマ [名詞] 例：コノ ハマノ オクニ アル マチニ スンドル。(この浜の奥にある町に住んでいる。)

はやい(速い) ハヤエー [形容詞] 例：コノ クルマワ ドエラエー ハヤエー。(この車は非常に速い。)

はら(腹) ハラ [名詞] 例：ハラカ° ヘル。(腹が減る。)

はり(針) ハリ [名詞] 例：ハリワ ドコニ アルンダ。(針はどこにあるんだ。)

はる(春) ハル [名詞] 例：ハルワ エーナモ。(春はいいな。)

ひ

ひ(火) ヒ [名詞] 例：ヒカ° ツイタカ° エ。(火がついたぜ。)

ひ(日) ヒ [名詞] 例：キョーノ ヒワ クレタ。(今日の日は暮れた。)

ひい(一) ヒー [数詞]

ひえ(稗) ヒエ [名詞] 例：アツツイケド ヒエオ ヌイテクル。(暑いけど稗を抜いてくる。)

ひがし(東) ヒカ° シ [名詞] 例：ヒカ° シノホーエ イッテミヤー。(東の方へ行ってみなさい。)

ひがしかぜ(東風) ヒカ° シカゼ [名詞] 例：ヒカ° シカゼ フートル。(東風が吹いている。)

ひかり(光) ヒカリ [名詞] 例：テントーサマカ° ヒカトル。(太陽が光っている。)

ひくい(低い) ヒクイー [形容詞] 例：トリカ° ヒクイー トコオ トンドル。(鳥が低いところを飛んでいる。)

ひげ(髭) ヒケ° [名詞] 例：ヒケ° オ ソル。(髭を剃る。)

ひざ(膝) ヒザ [名詞] 例：ヒザン イタエー。(膝が痛い。)

ひじ(肘) ヒジ [名詞] 例：ヒジオ マケ° ル。(肘を曲げる。)

ひしゃく ヒシャク [名詞] 例：ヒシャクニ ミズ クンデコイ。(柄杓に水を汲んで来い。)

ひたい(額) ヒタイ [名詞]、デスコ [名詞] 例：ヒタイガ カイー。(額がかゆい。) / デスコ カイー。(額がかゆい。)

ひだり(左) ヒダリ [名詞] 例：ヒダリマエヤ ナエーカ? (左前ではないですか?)

ひと(人) ヒト [名詞] 例：ヒトカ° イリヤース。(人がいらっしゃる。)

ひとつ(一つ) ヒトツ [数詞]

ひとで ヒトデ [名詞]

ひとり(一人) ヒトリ [名詞]、ヒトリ [数詞] 例：ヨー ヒトリデ オキレタネー。(よくひとりで起きることができたね。)／オトコカ° ヒトリ アルイートル。(男が一人歩いている。)

ひま(暇) ヒマ [名詞] 例：ヒマナトキニ キテチョー。(暇な時に来てね。)

ひも(紐) ヒボ [名詞]、ヒモ [名詞] 例：ヒボオ カラゲル。(紐を結ぶ。)

びょうき(病気) ヤマエー [名詞] 例：アノヒトワ オーヤマエーダ。(あの人は大病だ。)

ひる(昼) ヒル [名詞] 例：ヒルカラ アンタントコ イクゼー。(昼からあなたのところに行くよ。)

ひるめし(昼食) ヒルメシ [名詞]、ヒルゴハン [名詞] 例：キョーノ ヒルメシワ ニワトリノ カラアゲ ヤッタ。(今日の昼飯は鶏のから揚げだった。)

びろうじゅ(樹) ビロウジュノキ [名詞]

ふ

ふう(二) フー [数詞]

ふか(鱧) フカ [名詞]

ふくらはぎ フクラハキ° [名詞]

ふくろ(袋) フクロ [名詞] 例：フクレー シマッテケ。(袋へしまっておけ。)

ふけ(雲脂) フケ [名詞] 例：フケガ オエー。(ふけが多い。)

ふし(節) フシ [名詞] 例：フシカ° オエー イタワ アツカエー ニクイー。(節が多い板は

扱いにくい。)

ぶた(豚) ブタ [名詞]

ふたつ(二つ) フターツ [数詞]

ふたり(二人) フターリ [数詞] 例：フタリノ オトコカ° ナク° リアッタ。(二人の男が殴り合った。)

ふで(筆) フデ [名詞] 例：フデデ ジョーズニ ジ カケヨ。(筆で上手に字を書けよ。)

ふとん(布団) フトン [名詞] 例：フトン シマワナイカンナー。(布団をしまわなければいけないなあ。)

ふね(船) フネ [名詞] 例：フネワ ナカナカ エガクノガ ムズカシーナー。(船はなかなか描くのが難しいなあ。)

ふゆ(冬) フユ [名詞] 例：フユカ° コイシーナモ。(冬が恋しいな。)

へ

へ(屁) へ [名詞] 例：へガ デル。(屁が出る。)

へそ(臍) ヘソ [名詞] 例：へソマガリ (へそ曲がり)

へちま(糸瓜) ヘチマ [名詞] 例：へチマデ サラオ アロテコイ。(へちまで皿を洗ってこい。)

へら(箆) ヘラ [名詞]

べんじょ(便所) ベンジョ [名詞] 例：ベンジョワ {ドコー / ドコヤー / ドコヤエー / ドコジャエーモ / ドコヤエーモ}。(便所はどこ。)

ほ

ほ(帆) ホ [名詞] 例：キョーワ カゼガ ツヨイカラ ホガ ハッテルネー。(今日は風が強いから帆が張っているねえ。)

ほ(穂) ホ [名詞]、イナホ [名詞] 例：ホガ デタ。(穂が出た。)

ほうき(箒) ホーキ [名詞] 例：ホーキモ アタラシーノニ カエタラ ドーダ。(ほうきも新しいのに変えたらどうだ。)

ほうちょう(包丁) ホーチョー [名詞] 例：ホーチョー キレヘンデ ホーチョー トイデクレ。(包丁が切れないので包丁を研いでくれ。)

ほくろ ホクロ [名詞] 例：オーキナ ホクロガ アル。(大きなほくろがある。)

ほこり(埃) ホコリ [名詞] 例：{ホコリカ° / ホコリン} マエーアカ° ットル。(埃が舞い上がっている。)

ほし(星) オッサマ [名詞] 例：オッサマ ミーツケタ。(星を見つけた。)

ほね(骨) ホネ [名詞] 例：ホネン オレル。(骨が折れる。)

ま

まえ(前) マエ [名詞] 例：マエー ススメ。(前に進め。)

まくら(枕) マクラ [名詞] 例：マクラ ナイガ ドコニ アルンダー。(枕がないがどこにあるんだ。)

まご(孫) マコ° [名詞] 例：マコ° カ° ソンナニ カワイートワ オモワナンダ。(孫がそんなにかわいいとは思わなかった。)

また(股) マタク° ラ [名詞] 例：マタク° ラヒバチ (またぐら火鉢)

まつ(松) マツ [名詞] 例：アソコワ モンカザリノマツガ アルデ オダエージン。(あそこは門飾りの松があるから金持ちだ。)

まないた(まな板) マナイタ [名詞] 例：マナイタ キレニ ショーヨ。(まな板をきれいにしようよ。)

まね(真似) マネ [名詞] 例：ヒトノ マネオ スルナー。(人のまねをするな。)

まぶしい マブシー [名詞] 例：ヒカリ マブシー ゼ。(光がまぶしいぜ。)

まめ(豆) マメ [名詞] 例：マメカラ ナットーガ デキル。(豆から納豆ができる。)

まゆ(眉) マユ [名詞] 例：マユン ケー。(眉毛が濃い。)

まるい(丸い) マルイー [形容詞] 例：キョーワ ツキカ° マルイー。(今日は月が丸い。)

み

み(実) ミ [名詞] 例：ミガ ナル。(実になる。)

みい(三) ミー [数詞]

みかん ミカン [名詞] 例：コドモノコロニ ミカンバコデ ベンキョーシタ。(子供の頃にミカン箱で勉強した。)

みぎ(右) ミキ° [名詞] 例：ミキ° ムケ ミキ°。(右向け右。)

みじかい(短い) ミジカエー [形容詞] 例：ミジカエー ヒボカ° ホシー。(短い紐がほしい。)

みず(水) ミズ [名詞] 例：ミズ クミニイキヤー。(水汲みに行け。)

みずおけ(水桶) ハンゾー [名詞] 例：ハンゾーデ カオ アラッテコイ。(水桶で顔を洗って

来い。)

みずがめ(水瓶) ミズガメ [名詞]

みずたまり(水溜り) ミズタマリ [名詞] 例: ミズタマリカ° アルデ キオ ツケヤヨ。(水たまりがあるぞ気をつけろよ。)

みぞ(溝) ミゾーチ [名詞]、ミゾ [名詞] 例: ミゾーチ ホラエ エーケ°。(溝を掘ればいいよ。)/ミゾ ホラエ エーケ°。(溝を掘ればいいよ。)

みそ(味噌) ミソ [名詞] 例: ミソデモ カケテ クエ。(味噌でもかけて食え。)

みち(道) ミチ [名詞] 例: コノミチワ トウエーヨ。 アッチノミチオ イカエー。(この道は遠いよ。あっちの道に行きなさい。)

みつつ(三つ) ミッツ [数詞]

みな(皆) ミンナ [名詞]、ミナ [名詞] 例: ワシンターワ ミンナ コノムラノ {ニッケ°ンヤ / ニッケ°ンジャ}。(私たちはみなこの村の人間だ。)

みなと(港) ミナト [名詞] 例: カワデモ ミナトカ° アル。(川でも港がある。)

みなみ(南) ミナミ [名詞] 例: ミナミノホーエ イッテミヤー。(南の方へ行ってみなさい。)

みなみかぜ(南風) ミナミカゼ [名詞] 例: ミナミカゼ フートル。(南風が吹いている。)

みね(嶺) テッペン [名詞] 例: テッペン ノボッタコト アルカ?(峰に登ったことあるか?)

みの(蓑) ミノ [名詞] 例: アメ フッタデ ミノ モッテコイ。(雨降ったので蓑を持って来い。)

みみ(耳) ミミ [名詞] 例: ミミガ コソバエー。(耳がこそばゆい。)

みみず(蚯蚓) メメゾ [名詞] 例: メメゾ ツカマエテリャ。(蚯蚓をつかめてこい。)

みみたぶ(耳たぶ) ミミタボ [名詞]

む

む(六) ムー [数詞]

むかし(昔) ムカシ [名詞] 例：ムカシワ ヨカッタナモ。(昔はよかったな。)

むかで(百足) ムカデ [名詞] 例：ソコニ ムカデ オルカ[°] エー。(そこにムカデがいるよ。)

むぎ(麦) ムキ[°] [名詞] 例：ムキ[°] カラ ウドンガ デキル。(麦からうどんができる。)

むぎわら(麦藁) ムイカラ [名詞] 例：ムイカラデ カルピスオ ノム。(麦わら(ストロー)でカルピスを飲む。)

むし(虫) ムシ [名詞] 例：ムシ イッパエー オル。(虫がいっぱいいる。)

むしろ(筵) ムシロ [名詞] 例：ムシロノ ウエニ ネコガ ネテイル。(筵の上に猫が寝ている。)

むつつ(六つ) ムッツ [数詞]

むね(胸) ムネ [名詞] 例：ムネヤケカ[°] スル。(胸やけがする。)

むら(村) ムラ [名詞] 例：ムラノ キタカ[°] ワカ[°] ヤラレタ。(村の北側が(災害で。)やられた。)

め

め(芽) メ [名詞] 例：メン デテクル。(芽が出てくる。)

め(目) メ [名詞] 例：メガ イッタエー。(目が痛い。)

めし(飯) (「食事」ではなく「お米」。) メシ [名詞]、ゴゼン [名詞]、ゴハン [名詞]

例：オカーチャン ゴゼン チョーヤ。(お母さんご飯をくれや。)

も

も(藻) モ [名詞]

もずく モズク [名詞]

もち(餅) モチ [名詞] 例：モチオ クイテー。(餅を食いたい。)

もっと マット [副詞] 例：マット サケ 《オ》 {ツギヤー / ツケ°}。(もっと酒をつげ。)

もの(物) モノ [名詞] 例：イマワ ギョーサン モノカ° アル。(今はたくさんものがある。)

もみ(粃) モミ [名詞] 例：モミオ ホス。(粃を干す。)

もも(腿) モモタ [名詞] 例：キンノー マラソン ヤッタデ モモタガ イタエー。(昨日マラソンをしたので腿が痛い。)

もも(桃) モモ [名詞] 例：アソコノ ハタニ モモガ アル。(あそこの畑に桃がある。)

もん(門) モン [名詞] 例：モン {シメヨ / シメヤー}。(門を閉めろ。)

や

や(八) ヤー [数詞]

やぎ(山羊) ヤキ° [名詞] 例：ヤキ° ノ チチワ ノンダコトカ° アル。(山羊の乳は飲んだことがある。)

やっつ(八つ) ヤッツ [数詞]

やどかり ヤドカリ [名詞]

やま(山) ヤマ [名詞] 例：ヤマノボリ モ エー コチャナー。(山登りもいいことだな。)

やり(槍) ヤリ [名詞] 例：コノ ヤリワ ミタ コトガ ナイナー。(この槍は見たことがないなあ。)

ゆ

ゆ(湯) ユー [名詞] 例：ユー ワカス。(湯を沸かす。)

ゆいのう(結納) ウィーノー [名詞] 例：コンド ウィーノーオ スル。(今度結納をする。)

ゆうがた(夕方) クレ [名詞] 例：クレニナッタデ マー シマヤーヨ。(夕方になったからもう片付けなよ。)

ゆうめし(夕食) ユーメシ [名詞]、ユーゴハン [名詞]、バツメシ [名詞] 例：オカーチャン コンヤ ユーハン ナニ？(お母さん今夜の夕飯は何？)

ゆか(床) ユカ [名詞] 例：ユカカ° スレトル。(床が濡れている。)

ゆび(指) ユビ [名詞]、イビ [名詞] 例：ユビオ ネブツトル。(指をしゃぶっている。)

ゆめ(夢) ユメ [名詞] 例：セーキン アツマリ ユメオ ミン。(最近あまり夢を見ない。)

よ

よ(四) ヨー [数詞]

よくじつ(翌日) なし [名詞] 例：なし (なし。)

よくよくじつ(翌々日) なし [名詞] 例：なし (なし。)

よこ(横) ヨコ [名詞] 例：ソンナ ヨコニ タットッタエー アカンデ。(そんな横に立っていたらいけないよ。)

よだれ(涎) ヨド [名詞] 例：ヨドン デル。(よだれが出る。)

よっつ(四つ) ヨッツ [数詞]

よなか(夜中) ヨナカ [名詞] 例：ワシャ ヨナカニ メカ° サメテ ショーカ° ナエー。(私は夜中に目が覚めて困る。)

よにん(四人) ヨニン [数詞]、ヨッタリ [数詞]

よもぎ(蓬) ヨモキ° [名詞] 例：ヨモキ° モチ (よもぎもち)

よる(夜) ヨーサ [名詞] 例：ヨーサ ホッツキアリーテ イカンデー。(夜ほつつき歩いてはいけないよ。)

よんなん(四男) ヨンナン [名詞] 例：ヨンナンボーワ アタマカ° エー。(四男坊はあたまがいい。)

ら

らいねん(来年) ラーネン [名詞] 例：ラーネン カ° ッコー イカエースカ? (来年学校行くの?)

り

りくち(陸地) リクチ [名詞]

りょうり(料理) リョーリ [名詞] 例：コオンヤ トリニクオ リョーオルモンデ タベニコイ。(今夜鶏肉を捌くので食べに来い。)

ろ

ろうじん(老人) トショリ [名詞] 例：ゲンキナ トショリカ° ギョーサン ゴザル。(元気な老人がたくさんいらっしゃる。)

ろくなん(六男) ロクナン [名詞]

ろくにん(六人) ロクニン [数詞]

わ

わきのした(脇の下) ワキノシタ [名詞] 例：ワキノシタニ アセン デター。(脇の下に汗が出た。)

わざ(技)(仕事) ワザ [名詞]、シコ° ト [名詞] 例：コノ ワザオ ミニ ツケルノワ ムズカシー。(このわざを身に着けるのは難しい。) / コノ シコ° トオ ミニ ツケルノワ ムズカシー。(このわざを身に着けるのは難しい。)

わたしたち(私たち) ワシンター [名詞]、ワッタンター [名詞]

わら(藁) ワラ [名詞] 例：ワラカラ ナワカ° デキル。(藁から縄ができる。)

わん(腕) ワン [名詞]、オワン [名詞] 例：オワンヤデ ハゲテマッタ。(お腕なので剥げてしまった。)

文法項目データ集

文法項目データ集

本データ集の内容

・このデータ集は、以下の文法項目の調査結果をまとめたものです（以下、掲載順にリストします）。

1. 数
2. 代名詞
3. 指示詞
4. 疑問詞
5. 時制・相（テンス・アスペクト）
6. 態（ヴォイス）1
7. 態（ヴォイス）2
8. 待遇
9. 文タイプ
10. 活用
11. 形容詞述語文
12. 名詞述語文

なお、上記項目の調査には、国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」（人間文化研究機構・機関拠点型基幹研究プロジェクト）のために用意された調査票を使用しました。

・データは、「翻訳用例文（日本語標準語）」と「木曽川方言訳」とを併記する形で掲載しています。データによっては、必要に応じて、「文脈」などの列が付け加えられている場合があります。

5.1 数

ID	翻訳用例文	文脈
1	あの菓子は私が食べたよ。 アノカシ ワタシガ タベタヨ.	
2	あの菓子は私たち二人で食べましょう。 アノカシ ウチラフタリデ タベヨ.	
3	あの菓子は私たち二人で食べるので、あなたにはあげません。 アノカシ ウチラフタリデ タベルデ アンタニワ {アゲン/ヤラヘン}.	
4	あの菓子は私たちが食べましょう。 アノカシ ウチラデ タベヨ.	
5	あの菓子は私たちが食べるので、あなたにはあげません。 アノカシ ウチラデ タベルデ アンタニワ {アゲン/ヤラヘン}.	
6	私などで良いのでしょうか。 ワタシデ エーノ.	親友から結婚式の司会（1名）を頼まれたときの返答。
7	あの菓子はあなたが食べたのですか？ アノカシ アンタ タベタノ？	
8	あの菓子はあなたが二人が食べたのですか？ アノカシ アンタラフタリデ タベタノ？	
9	あの菓子はあなたがたが食べたのですか？ アノカシ アンタタチガ タベタノ？	
10	あなたなどが司会をしてくれるとありがたいのですが...。 アンタミタイナヒトガ ヤッテクレルト エーンヤケドナ....	結婚式の司会（1名）を依頼するとき。
11	あの菓子はお前が食べたのか？ アノカシ アンタガ タベタノ？	

5.1 数

ID	翻訳用例文	文脈
12	あの菓子はお前たち二人が食べたのか？	
	アノカシ {アンタラ / アンタたち} フタリガ タベタノ？	
13	あの菓子はお前たちが食べたのか？	
	アノカシ {アンタラ / アンタたち} ガ タベタノ？	
14	お前などが司会をしてくれると助かるんだが...	結婚式の司会（1名）を依頼するとき。
	アンタガ シカイ シテクレルト タスカルンヤケドナ....	
15	あの菓子はあいつが食べたのか？	
	アノカシ アノコガ タベタノ？	
16	あの菓子はあいつら二人が食べたのか？	
	アノカシ アノコンタチフタリガ タベタノ？	
17	あの菓子はあいつらが食べたのか？	
	アノカシ アノコンタチガ タベタノ？	
18	あいつなどが司会をしてくれると助かるんだが...	結婚式の司会（1名）を依頼したいとき。
	アノコガ シカイ シテクレルト タスカルンヤケドナ....	
19	あの菓子は太郎が食べたのか？	
	アノカシ タロークンガ タベチャッタンヤロカ？	
20	あの菓子は太郎たち二人が食べたのか？	
	アノカシ タロークンタチフタリガ タベタンヤロカ？	
21	あの菓子は太郎たちが食べたのか？	
	アノカシ タロークンタチガ タベタンヤロカ？	
22	太郎などが司会をしてくれると助かるんだが...	結婚式の司会（1名）を依頼したいとき。
	タロークンニ シカイ シテモラエルト タスカルンヤケドナ....	

5.1 数

ID	翻訳用例文	文脈
23	あの菓子は誰が食べたのか？	
	アノカシワ ダレガ タベタンヤロカ？	
24	あの菓子は誰など（二人）が食べたか？	
	アノカシワ ダレガ タベタンヤロカ？	
25	あの菓子は誰などが食べたのか？	
	アノカシワ ダレガ タベタンヤロカ？	
26	あの菓子はあの男が食べたのか？	
	アノカシワ アノヒトガ タベタンヤロカ？	
27	あの菓子はあの男たち二人が食べたのか？	
	アノカシワ アノヒトタチガ タベタンヤロカ？	
28	あの菓子はあの男たちが食べたのか？	
	アノカシワ アノヒトタチガ タベタンヤロカ？	
29	あの男などが司会をしてくれると助かるんだが…。	結婚式の司会（1名）を依頼したいとき。
	アノヒトンタチガ シカイ シテクレルト タスカルンヤケドナ....	
30	あの菓子はあの犬が食べたのか？	
	アノカシワ アノワンコガ タベタンヤロカ？	
31	あの菓子はあの犬たち二人が食べたのか？	
	アノカシワ アノワンコタチガ タベタンヤロカ？	
32	あの菓子はあの犬たちが食べたのか？	
	アノカシワ アノワンコタチガ タベタンヤロカ？	

5.1 数

ID	翻訳用例文	文脈
33	あの犬などで良いのか？	集落紹介の写真に使うため、飼い犬の写真を撮らせて欲しいと頼まれた時の返事。
	アノワンチャンデ エーノ？	
34	あのサツマイモを食べたい。	
	アノサツマイモ タベタインヤケド.	
35	あのサツマイモ二つを食べたい。	
	アノサツマイモ タベタインヤケド.	
36	あそこにたくさんあるサツマイモを食べたい。	
	アソコニ イッパイアル サツマイモ タベサセテ.	
37	あのサツマイモなどで良いのかい？	集落紹介の写真に使うため、サツマイモの写真を撮らせて欲しいと頼まれた時の返事。
	コンナンデ エーノ？	
38	あれ（サツマイモ）を食べたい。	
	アレ タベサセテ.	
39	あれ（サツマイモ）二つを食べたい。	
	アレラ タベサセテ.	
40	あれら（サツマイモ）を食べたい。	
	アレラ タベサセテ.	
41	あれ（サツマイモ）などで良いのかい？	集落紹介の写真に使うため、サツマイモの写真を撮らせて欲しいと頼まれた時の返事。
	アンナン デ エーノ？	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
1	その仕事は私がするよ。	
	ソノ シゴト ワタシガ スルワ.	
2	それは私のお菓子だよ。	
	ソレワ ワタシノ オカシヤヨ.	
3	それは私が書いた字だよ。	
	ソレワ ワタシガ カイタ {ジダワ / ジャワ}.	
4	それは私の書いた字だよ。	
	ソレワ ワタシガ カイタ {ジダワ / ジャワ}.	
5	アキラが私を連れて行ってくれるよ。	
	アキラガ ワタシオ ツレテッテクレルラシーワ.	
6	そのお菓子を私にください。	
	ソノ オカシ ワタシニ チョーダイ.	
7	私とアキラが行くよ。	
	ワタシト アキラガ イクデ.	
8	それは私だよ。	写真に写っている人を指して言う。
	ソレ ワタシ ヤヨ.	
9	その仕事は私たち二人がするよ。	
	ソレ ウチラフタリデ ヤルワ.	
10	それは私たち二人のお菓子だよ。	
	ソレ ウチラノ オカシヤテ.	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
11	アキラが私たち二人を連れて行ってくれるよ。	
	アキラガ ワタシオ ツレテッテクレルラシーデ.	
12	そのお菓子を私たち二人にください。	
	ソレ ウチラニ {チョーダイ / チョーセンカ}.	
13	私たち二人とアキラが行くよ。	
	ウチラト アキラガ {イクデネ / イクデヨー}.	
14	アキラと私の二人で行くよ。	
	アキラト ワタシデ イクデ.	
15	それは私たち二人だよ。	写真に写っている人を指して言う。
	ソレ {ウチラヤヨ / ウチラヤテ}.	
16	その仕事は私たちがするから、お前は待っていてね。	
	ソレ ウチラガ ヤルデ アンタ マットッテ.	
17	それは私たちのお菓子だから、お前は食べられないよ。	
	ソレ ウチラノ オカシヤデ アンタ {タベレンヨ / タベレーヘンワ}.	
18	アキラが私たちを連れて行ってくれるから、お前は家で待っていてね。	
	ウチラ ツレテッテクッテ イットルデ アンタ ウチデ マットッテ.	
19	そのお菓子を私たちにください。	
	ソノ オカシ {ウチランチョー / ウチランチョーダイ}.	
20	私たちとアキラが行くから、お前は待っていてね。	
	ウチラト アキラガ イクデ アンタ マットッテ.	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
21	それは私たちだよ。お前は写っていないよ。	写真に写っている人を指して言う。
	ソレ ウチラヤテ アンタ {ウツットーヘンヨ / ウツットーヘンニ}.	
22	その仕事は私たちが一緒にしましょう。	
	ソノ シゴト ウシラガ イッショニ {ヤリマスワ / ヤmmasワ}.	
23	それは私たちのお菓子だから、一緒に食べましょう。	
	ウチラノ ヤツヤデ イッショニ タベヨ.	
24	アキラが私たちを連れて行ってくれるから、楽しみだね。	
	アキラガ ウチラ ツレテッテクレルデ タノシミダワ.	
25	そのやり方を私たちにも教えて欲しいね。	
	ソレ ウチラニモ オシエテホシーネ.	
26	私たちとアキラで一緒に行きましょう。	
	ウチラト アキラクンデ イッショニ イコ.	
27	それは私たちだよ。私の隣にお前が写っているでしょう？	写真に写っている人を指して言う。
	ソレ ウチラヤテ ワタシノ トナリ アンタ {ウツトルデショー / ウツトルガネ}.	
28	その仕事はお前がするんだね？	
	ソレワ アンタガ {スルンヤロネ / スルンヤネ}.	
29	それはお前のお菓子だよ。	
	ソレ アンタノ {オカシダヨ / オカシダガネ}.	
30	それはお前が書いた字だよ。	
	ソレ アンタガ カイタ ジヤガネ.	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
31	それはお前の書いた字だよ。	
	ソレ アンタノ カイタ ジヤヨ.	
32	アキラがお前を連れて行ってくれるよ。	
	アキラガ アンタオ ツレテッテクレルヨ.	
33	そのお菓子をお前にあげよう。	
	ソレ アンタニ {アゲルワ / アゲルデ}.	
34	お前とアキラが行くんだね？	
	アンタト アキラガ イクンヤネ？	
35	それはお前だよ。	
	ソレ {アンタヤロ / アンタヤガネ}.	
36	その仕事はお前たち二人がするんだね？	
	ソノ シゴト アンタタチ フタリデ ヤルンヤロネ？	
37	それはお前たち二人のお菓子だよ。	
	ソレ アンタタチ フタリノ {オカシヤガネ / オカシダデ}.	
38	アキラがお前たち二人を連れて行ってくれるよ。	
	アキラガ アンタタチ フタリオ ツレテッテクレルデ.	
39	そのお菓子をお前たち二人にあげよう。	
	ソノオカシ アンタタチ フタリニ {アゲルデネ / アゲルワ}.	
40	お前たち二人とアキラが行くんだね？	
	アンタタチ フタリト アキラガ イクンヤネ.	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
41	アキラとお前の二人で行くんだね？	
	アキラト アンタ フタリデ イクンヤネ.	
42	それはお前たち二人だよ。	
	ソレワ {アンタたち フタリヤガネ / アンタたちフタリダガネ}.	
43	その仕事はお前たちがするんだね？	
	ソノ シゴト アンタたちが {ヤルンヤネ / ヤルンヤロネ}?	
44	それはお前たちのお菓子だよ。	
	ソレ アンタたちノ オカシヤデ.	
45	アキラがお前たちを連れて行ってくれるよ。	
	アキラガ アンタたちオ ツレテッテクレルデ.	
46	そのお菓子をお前たちにあげよう。	
	ソレ アンタたちニ アゲルワ.	
47	お前たちとアキラが行くんだね？	
	アンタたちト アキラガ イクンヤロネ？	
48	それはお前たちだよ。	
	ソレ アンタたち {ヤン / ヤガネ}.	
49	その仕事はあなたがするのでしょうか？	
	ソレ アンタガ ヤンノ？	
50	それはあなたのお菓子ですよ。	
	ソレ アンタノヤテ.	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
51	それはあなたが書いた字ですよ。	
	ソレ アンタガ カイタ {ジャデ / ジャワ / ジャガネ}.	
52	それはあなたの書いた字ですよ。	
	ソレ アンタガ カイタ {ジャデ / ジャワ / ジャガネ}.	
53	アキラがあなたを連れて行ってくれますよ。	
	アキラガ アンタオ {ツレテッテクレルデ / ツレテッテクレルニ}.	
54	そのお菓子をあなたにあげましょう。	
	ソノ オカシ アンタニ アゲルデ.	
55	あなたとアキラが行くのでしょうか？	
	アンタト アキラガ {イクノ / イクンヤロカ}?	
56	それはあなたですよ。	
	ソレ アンタダガネ.	
57	その仕事はあなたたち二人がするのでしょうか？	
	ソノ シゴトワ アンタタチ フタリガ ヤンノ？	
58	それはあなたたち二人のお菓子ですよ。	
	ソレ アンタタチ フタリノ オカシヤデネ.	
59	アキラがあなたたち二人を連れて行ってくれますよ。	
	アキラガ アンタタチ フタリオ ツレテッテクレルデー.	
60	そのお菓子をあなたたち二人にあげましょう。	
	ソノ オカシ アンタタチ フタリニ {ヤッマスワー / アゲルデー}.	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
61	あなたたち二人とアキラが行くのでしょうか？	
	アンタタチ フタリト アキラガ イクノ？	
62	アキラとあなたの二人で行くのでしょうか？	
	アキラト アンタタチノ フタリデ イカッセルノ？	
63	それはあなたたち二人ですよ。	
	ソレ アンタタチ フタリダガネ.	
64	その仕事はあなたたちがするのでしょうか？	
	ソレワ アンタタチガ {ヤッマスノ / ヤラッセルノ}？	
65	それはあなたたちのお菓子ですよ。	
	ソレ アンタタチノ オカシダガネ.	
66	アキラがあなたたちを連れて行ってくれますよ。	
	アキラガ アンタタチオ ツレテッテクレルデ.	
67	そのお菓子をあなたたちにあげましょう。	
	ソレ アンタタチニ ヤッマスワ.	
68	あなたたちとアキラが行くのでしょうか？	
	アンタタチト アキラガ {イカッセルノ / イクンヤロカ}？	
69	それはあなたたちですよ。	
	ソレ アンタタチヤガネー.	
70	その仕事はこいつがするよ。	話し手の脇に立っている人を指しながら。
	コノ シゴト コノコガ {スルワ / ヤッマスワ}.	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
71	これ（サツマイモ）が欲しい。	
	コレ チョース.	
72	昨日言っていたのは、これだよ。	
	キノー イットッタノ {コレヤテー / デショー}.	
73	ここから行くんだよ。	
	{ココカラ / コッカラ} イクンヤロ.	
74	こいつの名前を知っているかい？	話し手の脇に立っている人を指しながら。
	コノコノ ナマエ シットル？	
75	これ（漬物用の瓶など）の蓋はどこかな？	
	コノ ビンノ {フタ ドコ / コレ ドコー}？	
76	その仕事はこいつら二人がするよ。	話し手の脇に立っている人を指しながら。
	ソノ シゴトワ {コノコンタチ フタリガ / コノコラガ} ヤルデ.	
77	これ（サツマイモ）2つが欲しい。	
	コノ フタツガ ホシーンヤケドー.	
78	こいつら二人の名前を知っているかい？	話し手の脇に立っている人を指しながら。
	コノ コンタチノ ナマエ シットル？	
79	これら（漬物用の瓶など）2つの蓋はどこかな？	
	コノ フタツノ フタ ドゴ ヤッテマッタ？	
80	その仕事はこいつらがするよ。	話し手の脇に立っている人を指しながら。
	コノ シゴトワ コノ コンタチガ ヤルデ.	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
81	これら（サツマイモ）が欲しい。	
	コレ チョース.	
82	こいつらの名前を知っているかい？	話し手の脇に立っている人を指しながら。
	{コイツタチノ / コレンタチノ} ナマエ シットルー？	
83	これら（漬物用の瓶など）の蓋はどこかな？	
	コノ フタ ドゴ ヤッテマッタカ？	
84	この犬は誰の犬？	
	コノ ワンチャン ドコノ コ？	
85	そうじゃない。こうするんだよ。	相手に何かのやり方（紐の結び方など）を教えるとき。
	チャウテ ソーヤナクテ コー スルンダテー.	
86	ここに来い。	
	ココ キテ.	
87	その仕事はそいつがするよ。	聞き手の後ろに立っている人を指しながら。
	ソノ シゴトワ ソノ コガ スルデ.	
88	それ（サツマイモ）が欲しい。	
	ソレ チョー.	
89	昨日言っていたのは、それだよ。	
	キノー イトッタノ ソレヤテー.	
90	そこから行くんだよ。	
	ソッカラ イクンヤテ.	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
91	そいつの名前を知っているかい？	聞き手の後ろに立っている人を指しながら。
	ソノ コノ ナマエ シットル？	
92	それ（漬物用の瓶など）の蓋はどこかな？	
	ソノ フタ ドコー？	
93	その仕事はそいつら二人がするよ。	聞き手の後ろに立っている人を指しながら。
	ソノ シゴトワ ソノ コンタチ フタリガ ヤルデ.	
94	それ（サツマイモ）2つが欲しい。	
	ソレ {フタットモ / リョーホートモ} チョー.	
95	そいつら二人の名前を知っているかい？	聞き手の後ろに立っている人を指しながら。
	ソノ {コンタチ / コンタラー / ソイツンタラー} フタリノ ナマエ シットル？	
96	それら（漬物用の瓶など）2つの蓋はどこかな？	
	ソレ リョーホートモ フタ {ドコ ~ ドゴ} イッテマッター？	
97	その仕事はそいつらがするよ。	聞き手の後ろに立っている人を指しながら。
	ソノ シゴトワ ソノ {コンタラーガ / ソイツンタラーガ} {スルデ / ヤルデ}.	
98	それら（サツマイモ）が欲しい。	
	{ソレニ / ソコニ} アル ヤツ チョー.	
99	そいつらの名前を知っているかい？	聞き手の後ろに立っている人を指しながら。
	{ソノ コンタチノ / ソノ コンタラーノ / ソイツンタラーノ} ナマエ シットル？	
100	それら（漬物用の瓶など）の蓋はどこかな？	
	ソノ フタ ドゴ ヤッター？	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
101	その犬は誰の犬？	
	ソノ {コ / ワンチャン} {ダレノ ゴー / ドゴノ コー}？	
102	そうするのか！ 知らなかったよ。	相手のやり方（紐の結び方など）を見ながら。
	{ソーカ / ソー ヤッタカ / ソー ヤルンカー}！ シラン カッタ.	
103	そこに行け。	
	ソコ イキヤー.	
104	その仕事はあいつがするよ。	話し手と聞き手から離れた場所に居る人を指しながら。
	ソノ シゴトワ アノコガ ヤルデ.	
105	あれ（サツマイモ）が欲しい。	
	アレ {チョースカ / チョーカ}.	
106	昨日言っていたのは、あれだよ。	
	キノー イットッタノ アレ ヤテ.	
107	あそこから行くんだよ。	
	アソコカラ イクンヤテ.	
108	あいつの名前を知っているかい？	話し手と聞き手から離れた場所に居る人を指しながら。
	アノ コノ ナマエ シットル？	
109	あれ（漬物用の瓶など）の蓋はどこかな？	
	アノ フタ ドカ ヤッタノー？	
110	その仕事はあいつら二人がするよ。	話し手と聞き手から離れた場所に居る人を指しながら。
	ソノ シゴト アノ コンタラー フタリデ ヤルデ.	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
111	あれ（サツマイモ）2つが欲しい。	
	アレ {フタツ / リョーホートモ / フタツトモ} チョー.	
112	あいつら二人の名前を知っているかい？	話し手と聞き手から離れた場所に居る人を指しながら。
	{アノ コンタチノ / アノ コンタラーノ} フタリ ナマエ シットル？	
113	あれら（漬物用の瓶など）2つの蓋はどこかな？	
	アソコ {フタツ / リョーホートモ} フタ ドコ ヤッタ？	
114	その仕事はあいつらがするよ。	話し手と聞き手から離れた場所に居る人を指しながら。
	ソノ シゴトワ アノ コンタチガ ヤルデ.	
115	あれら（サツマイモ）が欲しい。	
	アレ チョー.	
115	あれら（サツマイモ）が欲しい。	
	アレ ヨーケ アルケド ソレ ゼンブ チョー.	
116	あいつらの名前を知っているかい？	話し手と聞き手から離れた場所に居る人を指しながら。
	アノ コンタチノ ナマエ シットル？	
117	あれら（漬物用の瓶など）の蓋はどこかな？	
	{アノ フタ / アノ ヘンノ ビンノ フタ} ドコ ヤッタノー？	
118	あの犬は誰の犬？	
	アノ {コ / ワンチャン} ダレノ コ？	
119	ああするのか！ 知らなかったよ。	
	アー {ヤッテ ヤルンヤー / ヤルンヤー} シランカッタワ.	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
120	あそこに行け。	
	{アソコニ / アッコニ} {イキヤー / イッテリヤー}.	
121	その仕事は誰がするの？	
	ソノ シゴト ダレガ {スンノ / ヤンノ}?	
122	これは誰なの？	写真を見ながら。
	コレ ダレ?	
123	何が欲しいの？	
	ナニガ ホシノ?	
124	これは何なの？	写真を見ながら。
	コレ ナニ?	
125	ここはどこなの？	写真を見ながら。
	ココ ドコ?	
126	これは誰のお菓子なの？	
	{コ / コレ} ダレノ オカシ?	
127	これは何のためにやるの？	
	コレ ナンノ タメニ {ヤルノ / ヤットンノ / スンノ}?	
128	この中で、どいつに会ったの？	写真を見ながら。
	コノ ナカデ ダレニ アッタノ?	
129	この中で、どれが一番欲しいの？	
	コノ ナカデ ドレガ イチバン ホシーノ?	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
130	その仕事は誰など（二人）がするの？	
	ソノ シゴトワ ダレンタチガ スルノ？	
131	何など（2つ）が欲しいの？	
	{ドレラーガ / ナニガ} ホシーノ？	
132	これは誰など（二人）のお菓子なの？	
	コレ ダレンタチノー？	
133	これは何など（2つ）のためなの？	
	コレワ ナンノ タメナノー？	
134	その仕事は誰などがするの？	
	ソレワ {ダレガ / ダレラーガ} {スンノー / ヤルノ / ヤンノー}？	
135	何などが欲しいの？	
	ナニガ ホシーノ？	
136	これは誰などのお菓子なの？	
	コレワ {ダレノ / ダレンタチノ} オカシナノ？	
137	これは何などのためなの？	
	コレワ ナンノ {タメ / タメナノ}？	
138	この中で、どのお菓子が欲しいの？	
	コン ナカデ ドノ オカシガ ホシーノ？	
139	お前はどんなお菓子が作りたいの？	
	アンター ドンナ オカシガ ツクリタイノ？	

5.2 代名詞

ID	翻訳用例文	文脈
140	その字はどう読むの？	相手に何かのやり方（紐の結び方など）を聞くとき。
	ソノ ジーワ ドー ヤッテ ##### (聞き取りできず)	
141	どこに行けばいいの？	
	{ドコニ～ドゴニ}イキヤー イーノ？	
142	いつ会えるの？	
	イツ アエンノ？	
143	あの人はサツマイモをいくつくれたの？	
	アノ ヒト サツマイモ イクツ クレタノ？	
144	そのサツマイモはいくらするの？	
	ソノ サツマイモ イクラ {スンノ / ヤッタ}？	
145	なぜそこに立っているの？	
	ナンデ {ソコニ / ソコ} タットンノ？	

5.3 指示詞

ID	翻訳用例文	項目
1	【あれ】は月だよ	現場指示
	アレワ ツキダカ° エー.	
2	【これ】を見ろ	現場指示
	コレ《オ》ミヤー.	
3	【それ】を見せろ	現場指示
	ソレオ {ミセヤー / ミセテ チョー}.	
4	【あれ】を見ろ	現場指示
	アレ ミヤー.	
5	【これ】を見ろ	現場指示
	コレオ {ミヨー / ミヤー}.	
6	(筆筒のなかにある) 【それ】を持っていけ	現場指示
	ソレ《オ》 {モッテ キヤー / モッテ イッテチョー}.	

※話し手と聞き手が一緒の方向を向いて歩いている。(7-9)

7	【ここ】で曲がろう	現場指示
	ココデ マカ° ロマエー.	
8	【あそこ】で曲がろう	現場指示
	アソコデ マカ° ロマエー.	
9	【そこ】で曲がろう	現場指示
	ソコデ マカ° ロマエー.	

5.3 指示詞

ID	翻訳用例文	項目
10	昨日本を買って読んだんだ。 【それ】がすごく楽しかった。	文脈指示
	キノー ホンオ カッテ ヨンダカ° エー. ソレカ° {スコ°ー / ドイラエー} オモシロカッタ.	
11	A: うちの孫が結婚したよ B: 【それ】はよかったね	文脈指示
	A) ウチノ マコ° カ° ケッコン シタ カ° エー. B) ソレ ヨカッタナモ.	
12	昨日あなたが教えてくれた 【あの】本、もう読んだよ	文脈指示
	キノー オマエーサッカ° {オシエテ クレタ / オシエテ チョー タ} アノ ホン, マエーヘー ヨンデ マッタ ヨ.	
13	(相手が誰か知らない人のことを話している) 【その】人は 誰?	文脈指示
	ソノ ヒト {ダレ / ダレヤノ}?	
14	【これ】は誰のものか	統語・意味
	コレワ ダレノ モノヤノ. ソレワ ダレノ モノヤノ. アレワ ダレノ モノヤノ. オマエーサンノ モノワ ドレヤノ?	
15	【こいつ】はどこの子どもだ	統語・意味
	コイツワ ドコノ コ {ジャ / ヤ}. ソイツワ ドコノ コヤ. ドイツノ コヤ?	
16	【ここ】はいい場所だ	統語・意味
	ココワ エー バショジャガエー. ソコカ° エー バショヤッタ. アソコワ エー バショヤッタナ. ドコカ° エー バショヤッタ ノ?	
17	【こっち】のほうがいい	統語・意味
	コッチノ ホーカ° エー ガエー. ソッチノ ホーカ° エー ガエー. アッチノ ホーカ° エー ガエー. ドッチノ ホーカ° エー ノ?	

5.3 指示詞

ID	翻訳用例文	項目
18	【こう】しなさい	統語・意味
	ソー シヤー. コー シヤー. アー シヤー. ドー シヤス?	
19	【この】袋に入れなさい	統語・意味
	コノ フクロニ イレヤー. ドノ フクロニ イレヤス? ソノ フクロニ イレヤー. アノ フクロニ イレヤー.	
20	【こんな】家に住みたい	統語・意味
	コンナ イエニ スミタエー. アンナ イエニ スミタエー. ソンナ イエニ スミタナエー. ドンナ イエニ スミタエーノ?	

5.4 疑問詞

ID	翻訳用例文
1	さわがしいけど、誰がいるの？
	ヤカマシー ナー, ダレカ° オルノ？
2	さわがしいけど、誰がいるの？（複数）
	ヤカマシー ナー, ダレンターカ° オルノ？
3	さわがしいけど、何がいるの？ → 犬がいる。
	ヤッカマシーナ, ナニカ° オルノ？ → イヌカ° オルノ。
4	山の向こうには何があるの？
	ヤマノ ムコーニワ ナニカ° アルノ？
5	お前はどんな家に住みたいの？
	オマエーサンワ ドンナ {イエニ / ウチニ} スミタエノ？
6	お前はどの家に住んでるの？
	オマエーサンワ ドノ ウチニ スンドルノ？
7	大きい家と小さい家、お前はどっちに住みたいの？
	オーキー ウチト チサエー ウチ, オマエーサンワ ドッチー スミタエーノ？
8	お前はどこに住んでるの？
	オマエーサンワ ドコニ {スンデリヤース / スンデリヤースノ}？
9	その家、いくら／どれくらいなの？
	ソノ {イエ / ウチ} ドレ クラエーヤノ？
10	その家、部屋はいくつあるの？
	ソノ ウチワ {ヘヤワ イクツ アルノ / イクヘヤアルノ}？

5.4 疑問詞

ID	翻訳用例文
11	なんでその家を買ったの？ ナンデ ソノ {ウチ カヤータ / ウチオ カヤータ 《ノ》 }?
12	その家はいつ買ったの？ ソノ ウチワ イツ カヤータノ.
13	家を売ろうと思うんだけど，お前どう思う？ ウチオ ウロート オモウケンド, オマエー ドー オモウ?
14	どうやってその家を見つけたの？ ドー ヤッテ ソノ {ウチ / イエ} ミツケタノ？
15	そんなに怒って，どうしたの？ → 自転車盗まれたんだよ。 ソー 《モ》 オコッテ ドー シヤエータ？ → ジテンシャ ヌスマレテ マッタカ° エー.
16	明日お前何するの／どうするの？ → 魚を釣りに行くよ。 アシタ オマエー ナニ {シルー / シルンヤ}？ → サカナチュリニ イコート オモットル.
16	明日お前どうするの？ アシタ オマエー ドー スルンヤ？
17	さわがしいけど，誰かいるの？ ヤカマシーナー, ダレカ オルンカ？
18	さわがしいけど，何かいるの？ ヤカマシーケンド, ナニカ オルノカ？
19	山の向こうには何かあるの？ ヤマノ ムコーニワ ナンカ アルカエー？

5.4 疑問詞

ID	翻訳用例文
20	2つのうち、どっちかを選びなさい。 {ドッチデモ エーデ / フタチュノ ウチ} ドッチカ エラビヤー.
21	逃げたどろぼうは、この近くのどこかにいるはずだ。 ニケ° タ ドロボーワ コノ ヘンノ ドッカニ オルハズ.
22	お金をいくらか持ってきた。 オカネオ {イクラカ / ショーショー} モッテキタ.
23	くぎをいくつか持ってこい。 クキ° 《オ》《ショーショー》 モッテコイ.
24	あの人のことはなぜか好きになれない。 アノ ヒトワ {ナヤ シランケド / ナゼカ} スキニ ナレンナー.
25	捕まりそうだったけど、どうにか逃げ出してきた。 ツカマリソーヤッタケンド, ナントカ ニケ° ダエーテ キタ.
26	いつか故郷に帰りたい。 イツカ フルサトニ カエーリタエー.

5.5 時制・相

ID	翻訳用例文
1	赤ちゃんが歩こうとしている
	アカチャッカ° アルコート シトル.
2	お母さんがカレーを作ろうとしている
	オカーサッカ° カレーオ ツクロート シトル.
3	木が倒れようとしている
	キカ° タオレカケトル.
4	子供が歩いている
	コドモカ° {アルィートル / アルキョール}.
5	お母さんがカレーを作っている
	オカーサッカ° カレーオ {ツクリョール / ツクリョールカ° ヤ / ツクットル}.
6	木が倒れていく
	キカ° {タオレテク / タオレヨール}.
7	お母さんがカレーを作ってある／カレーが作ってある
	カレーカ° {ツクツタル / デカエータル}.
8	木が倒れている
	{キカ° / キン} タオレトル.
9	大根が刻んである
	ダエーコッカ° キザンダル.

5.5 時制・相

ID	翻訳用例文
10	(子供の足跡をみて) 子供が歩いた
	コドモカ° {アルイータ / アルイータンダワ / アルイータカ° ヤ}.
11	(味見したところ、お父さんの味付けだったので) 今日はお父さんがカレーをつくった
	キョーワ オトーサッカ° カレーオ {ツクッタヤ / ツクッタダワ}.
12	(昨日崖の上にあった石が落ちているのを見て) あそこから落ちた
	アソコカラ {オチタンヤ / オチタンヤワ / オチタンダワ}.
13	ハワイへはもう去年行っている
	ハウェーエワ マエハエー キョネン イットル.
14	うっかり子供のおもちゃを壊してしまった
	ウッカリ コドモノ オモチャ 《オ》 コアエーテマッタ.
14	うっかり子供のおもちゃを壊してしまった
	コドモノ オモチャオ コワラカエーテマッタ.
15	もうご飯を作ったよ (これから食べよう)
	マエハエー ゴハン 《オ》 {ツクッタデヨー / ツクッタデ}
16	庭に犬がいる
	ニワニ {イヌカ° / イヌン} オル.
17	あなたの意見は間違っていると思う
	アンタノ イケンワ マチカ° ットルト オモウ.

5.5 時制・相

ID	翻訳用例文
18	馬は早く走る
	ウマワ ハヨー ハシル.
19	お父さんはいつもここに座る
	オトーサンワ {イツモカモ / イツデモ} {ココニ / コカエー} スワル.
20	酒は飲んでいない
	サケワ ノンドリヤセン.
21	明日は私が行く
	アシタワ ワシン イク.
22	私は絶対に行かない
	ワシワ ゼッター {イケセン / イケヘン}.
23	明日はみんなで集まる（予定がある）
	アシタワ ミンナデ {アツマルデヨー / アツマル}.
23	明日はみんなで集まる（予定がある）
	アシタワ ミンナデ アツマルコトン ナットル.
24	（予定通り）明日は行かない
	アシタワ イケセンデヨー.
25	こんな天気だから確実に雨が降る
	コンナ テンキヤデ ゼッタエー アメン フル.

5.5 時制・相

ID	翻訳用例文
26	こんな天気だから確実に雨は降らない
	コンナ テンキヤデ ゼッター アメ フリャセン.
27	そういえば棚のなかにお菓子があつた
	ソーイヤ{タナン/タナノ}{ナカニ/ナカエー}オカシカ° {アッタ/アッタワ/オエータッタ}.
28	探していたものがこんなところにあつた
	サケ° ートッタ {モノカ° /モッカ° /モノン} コンナ トコニ アッタ.
29	昔は毎日山に行っていた
	ムカシワ マエーニチ ヤマエー {イットッタ/イキョオッタ}.
30	ご飯はさっきもう食べた
	ゴハンワ サキカ° タ マエハエー クッタ.
31	去年ハワイに行った
	キョネン ハワエーニ イッタ.
32	山には神様がいる
	ヤマニワ {カミサマカ° /カミサマン}{スンドル/オル}.
33	今家にお母さんがいる
	イマ イエニ {オカーサッカ° /オカーサン} オル.
34	花子はいつもきれいだ
	ハナコワ イツデモ キレーヤ.

5.5 時制・相

ID	翻訳用例文
35	(いつもはそうではないが) 今日は花子はきれいだ
	キョーワ ハナコワ キレーヤナー.
35	(いつもはそうではないが) 今日は花子はきれいだ
	キョーワ ハナコワ ドエラエー キレーヤ.
36	昔住んでいた家の屋根は赤かった
	ムカシ スンドッタ イエノ ヤネワ アカカッタ.
37	今日の夕日はとても赤かった
	キョーノ ユーヒワ ドエラエー アカカッタ.
38	(家から離れた場所で) 私のおじいさんは家にいるよ
	ワシノ オジーサンワ ウチニ オルデヨー.
39	(目の前で見ている) おじいさんがバス停の前にいる
	オジーサッカ° バステーノ マエニ オルカ° ヤ.
40	(知っている犬が死んだのを見てはいないが、知っていて) あの犬は死んだ
	アノ {イヌワ / イヌン} シンデマッタケ° ナ.
41	(犬が死ぬところをみて) そこで犬が死んだ
	ソコデ {イヌカ° / イヌン} シンダンダワ.
42	昔この村にきれいな女がいた
	ムカシ コノ ムラニ ウツクシー {オナコ° カ° / オンナン} {オッタ / オッタ ンダワ / オッタケ° ナ}.

5.5 時制・相

ID	翻訳用例文
43	私は昨日家にいた
	ワシワ キンノー イエニ オッタ.
44	太郎は昨日私の家にいた（私も一緒に家にいて、そのことを知っている）
	タローワ キンノー ワシノ イエニ オッタンドワ.
45	サクラの花はきれいだ
	サクラノ ハナワ キレーヤ.
46	（花を見ながら）この花はとてもきれいだ
	コノ ハナワ ドエラエー キレーヤ.
47	家康は頭がよかった
	イエヤスワ {アタマン / アタマカ°} {ヨカッタ / ヨカッタケ° ナ}.
48	あの芝居はとてもよかった
	アノ シバエーワ {ドエラエー / アラケナエー} ヨカッタ.
49	（部屋が荒らされているのを見て）泥棒が入った
	ドロボーン ハエーッタ.

5.6 態1

ID	翻訳用例文
1	太郎は弟を遊ばせている。
	タローワ オトートオ アソバセトル.
2	太郎は弟を遊ばせている。
	タローニ オモチャオ カワセタ.
3	弟が行きたいというので、弟を／に行かせた。
	オトートガ イキチャエート {イウノデ / イットルデ} オトート 《オ》 {イカセタ / イカシタ}.
4	弟は行きたくないというが、弟を／に無理に行かせた。
	オトートワ イキタクナイトイウガ オトートオ ムリニ イカセタ.
5	弟を／に歩かせた
	オトートオ {アルカセタ / アルカシタ} .
6	こわがる弟に（*を）吊り橋を歩かせた。
	コワガル オトートニ ツリバシオ アルカシタ.
7	体調の悪い妹のかわりに弟に／を行かせた。
	タイチャーノ ワリー イモートノ カワリニ オトートオ イカセタ.
8	太郎は野菜を腐らせた。
	タローワ ヤサイオ クサラキャエータ.
9	太郎は爆弾を爆発させた。
	タローワ バクダンオ バクハツ {サセタ / サシタ} .
10	医者は誤って患者を死なせた。
	シナセテマッタ.

5.6 態1

ID	翻訳用例文
11	太郎は先生に殴られた。
	タローワ センセー{ニ / カラ} ナグラレヤータ.
12	太郎はみんなに愛されている。
	タローワ ミンナニ アイサレテリヤース.
13	太郎はその知らせを先生に聞かされた。
	タローワ ソノシラセオ センセーニ キカサレタ.
14	太郎は誰かに足を踏まれた。
	タローワ ダレカニ アシオ フマレタ.
15	太郎は誰かに財布を盗まれた。
	タローワ ダレカニ サイフオ トラレヤータ.
16	太郎は息子を褒められた。
	タローワ ムスコオ ホメラレヤータ.
17	席をとっていたのに、知らない人に座られた。
	セキオ トットッタノニ シラネア ヒトニ スワラレテマッタ.
18	勉強していたのに、大きな音で楽器を弾かれた。
	ベンキョーシトッタノニ オーキナ オトデ ガッキオ ヒカレテ {シマッタ / マッタ}.
19	この寺は100年前に建てられた。
	コノ テラワ ヒャクネツマエニ タテラレタ.
20	?太郎は足が踏まれた。
	(無回答)

5.6 態1

ID	翻訳用例文
21	太郎は財布が盗まれた。
	タローワ サイフガ トラレタ.
22	壁に絵がかけられている。
	カベニ エガ カケラレトル.
23	太郎は父親に本を買ってもらった。
	タローワ チチオヤニ ホンオ カッテ {モラヤータ / マヤータ}
24	太郎は弟にを本を買ってきてもらった。
	タローワ オトートニ ホンオ カッテキテ {モラッタ / マッタ}

5.7 態2

ID	翻訳用例文
1	孫に本をやった
	マゴニ ホンオ { ヤッタ / アゲタ }.
2	先生に本をさしあげた
	センセーニ ホンオ アケ° タ.
3	友達に本をあげた
	トモダチニ ホンオ ヤッタ.
4	孫が本をくれた
	マコ° カ° ホンオ クレタ.
5	先生が本をくださった
	センセーカ° ホンオ {クレヤータ / チョーダエータ}.
6	友達が本をくれた
	トモダチカ° ホンオ クレタ.
7	(孫に対して) その本をくれ
	ソノ ホンオ チョーダイ.
8	(先生に対して) その本をください
	ソノ ホンオ クレマセンカ.
9	(友達に対して) その本をくれ
	ソノ ホンオ {ワケテクレ / クレ / クレンカ / ヤッテチョー}.
10	孫から本をもらった
	マコ° カラ ホンオ モラッタ.

5.7 態2

ID	翻訳用例文
11	先生から本をいただいた
	センセーカラ ホンオ {チョーダイシタ / モライマシタ}.
12	友達から本をもらった
	トモダチカラ ホンオ モラッタ.
13	孫に本を読んでやった
	マコ° ニ ホンオ ヨンデ ヤッタ.
14	先生に本を読んでさしあげた
	センセーニ ホンオ ヨンデ {サシアケ° タ / アゲタ}.
15	友達に本を読んであげた
	トモダチニ ホンオ ヨンデ {アケ° タ / ヤッタ}.
16	孫が本を読んでくれた
	マコ° カ° ホンオ ヨンデ クレタ.
17	先生が本を読んでくださった
	センセーカ° ホンオ ヨンデ {クダサッタ / チョーダエタ}.
18	友達が本を読んでくれた
	トモダチカ° ホンオ ヨンデ {クレタ / クレヤータ}.
19	(孫に対して) 本を読んでくれ
	ホンオ ヨンデ クレ.
20	(先生に対して) 本を読んでください
	ホンオ ヨンデ チョーダイマセ.

5.7 態2

ID	翻訳用例文
21	(友達に対して) 本を読んでくれ ホンオ ヨンデ {クレ / チョー}.
22	孫に本を読んでもらった マコ° ニ ホンオ ヨンデ マッタ.
23	先生に本を読んでもらった センセーニ ホンオ ヨンデ {イタダイタ / モライマシタ / チョーダエータ / チョーダイマシタ}.
24	友達に本を読んでもらった トモダチニ ホンオ ヨンデ {モラッタ / マッタ}.
25	怖いからひとりで行けない コワイカラ ヒトリデ イケーセン.
26	体が弱いので遠くまで行けない カラダカ° {ヨワイデ / ヨウェーデ} トークマデワ {ヨー イカン / イケーセン / イケン}.
27	足が痛いので今日は行けない アシカ° イタエーノデキョーワ {ヨー イカン / イケーセン / イケレーセン}.
28	雨が降っているので行けない アメガ フッテルデ {イケーセン / ヨー イカン / イケレーセン}.
29	友達がいて心強いので、肝試しにも行ける キモダメシニ イケルガエー.
30	よく知った場所なので一人でできる ヨク シッタ バショダデ ヒトリデ イケルカ° エー.

5.7 態2

ID	翻訳用例文
31	今日は体調がいいので行ける
	タエーチョーカ° イーデ イケル.
32	今日は天気がいいので行ける
	テンキカ° イーデ {イケルワ / イケレルワ / イケレマス}.
33	昔は早く走ることができた（でも今は早く走れない）
	ムカシワ ハヤク ハシル コトガ デキタ.
34	昔は早く走ることができなかった（でも今は早く走れる）
	ムカシワ ハヤク ハシルコトガ {デキセンカッタ / デキナンダ / デキーセナンダ}. デモ イマー ハヤク ハシレル.
35	このペンはまだ書ける
	マンダ {カケルゼ / カケレル}.
36	このペンはよく書ける
	コノ ペンワ ヨー {カケルナー / カケレルナー}.
37	怖いので行くことができなかった
	{コウエアーデ ~ コウェーデ} イクコトガ {デキナカッタ / デキヘナンダ / デキセナンダ}.
38	歩くのが遅いので遠くまで行くことができなかった
	アルクノカ° オソエーノデ トークマデ イッコトガ {デキナカッタ / デキセナンダ}.
39	体調が悪かったので行くことができなかった
	タエーチョーカ° ワルカッタデ ユッコトガ デキセナンダ.
40	天気が悪かったので行くことができなかった
	テンキガ ワルカッタデ イッコトガ デキセナンダ.

5.7 態2

ID	翻訳用例文
41	歌ったら怖くなくなって、ひとりで行くことができた ウタッタラ コワナカッタデ ヒトリデ イッコトガ デキタ.
42	歩くのが早いので遠くまで行くことができた アルクノガ ハヤエーデ トークマデ イケタ.
43	体調がよかったので行くことができた タエーチョーカ° ヨカッタデヨー, {イッコトガ デキタ / イケタガヤ}.
44	天気がよかったので行くことができた テンキガ ヨカッタデー {イッコトガ デキタ / イケタ}.
45	止められていたがつい酒をのんでしまった {トメラレテイタカ° ヨー / トメラレトッタカ° ヨー}, ツイ サケオ ノンデ マッタ.
46	酒が飲みたいのにコップがなくて飲めない サケ《ガ》 ノミタエーノニ コップ {ガ~カ°} ナクテ {ノメナイ / ノメーセン}.
47	酒を飲みたいがコップを探すのが億劫で飲めない サケオ ノミタエーカ° コップオ サカ° スノカ° オックーデ ノメーセン.
48	嫁がコップをもってきてくれて、やっと酒が飲めた ヨメサッカ° コップオ モッテ キテ モラッテ ヤット サケガ {ノメタ / ノメレタ}.
49	昨日は気分よく酒が飲めた キンノーワ キブン ヨー サケ {ガ~カ°} {ノメタ / ノメレタ}.
50	何故だかわからないがいつもより早くに起きてしまった {ナンデ~ナンゼ} カ シラッカ° イッツモヨリ ハヨー {オキテ シマッタ / オキチャッタ}.

5.7 態2

ID	翻訳用例文
51	私は強い酒でも飲める
	ワシワ ツヨイ サケデモ ノメル.
52	お父さんに叩かれた
	オトーサンニ タタカレテマッタ.
53	天皇陛下がお酒を飲まれた
	テンノーヘーカサマガ オサケオ ノンヤータゼ.
54	校庭に大きな丸が書かれている<自発形式使用>
	コーターニ オーキナマルガ カカレトル.
55	校庭に大きな丸が書いてある
	コーターニ オーキナマルガ キャェータル.
56	先生によって大きな丸が書かれた
	センセーニヨッテ オーキナマルガ カカレタ.
57	買う予定のお弁当に半額シールが貼られた
	キャェータェー オベントーニ ハンガクシールガ ハラレタ.
58	私は上手に字を書ける
	{ワタシワ / ワシワ} ジョーズニ ジオ {カケル / カケレル}.
60	この本は英語で書かれている
	コノ ホンワ エーゴデ カカレトル.
61	この本は夏目漱石によって書かれた
	コノ ホンワ ナツメソーセキニヨッテ カカレタ.

5.7 態2

ID	翻訳用例文
62	水が飲みたい
	ミズ《ガ～オ》ノミタエー.
63	彼に来てほしい
	カレニ キテホシー ギャー.
64	彼に来てもらいたい
	カレニ キテモライタエー.
65	子供が手を洗っている
	コドモガ {テオ / テー} {アラットル / アラットリャース}.
66	男たちが殴り合っている
	{オトコタチガ / オトコンターガ} {ナグリアットル / ナグリアイシトル}.

5.8 待遇

ID	翻訳用例文		
1	今日の新聞はお読みになりましたか	聞き手が目上	
	キョーノ シンブン {ヨンデチョーダエータカネ / ヨンヤー タカネ / ヨマッセタカ}.		
2	このお酒をお飲みください	聞き手が目上	
	ソノ オサケ {ノンデ チョーダエー / ノンヤー}.		
3	明日はお宅にいらっしゃいますか	聞き手が目上	
	アシタワ オタクニ {イリヤースカエー / イリヤースカネー / ミエマスカ}.		
4	明日は祭りにいらっしゃいますか	聞き手が目上	
	アシタワ マツリニ {イキヤースカネ / イキヤース}.		
5	【あなた】は召し上がりますか	聞き手が目上	
	アンタ {タベヤース / タベテ チョダエースカエー}.		
6	今日の新聞は読んだか	聞き手は目上以 外	
	キョーノ シンブン {ヨンダカ / ヨンヤータカ}.		
7	この酒を飲め	聞き手は目上以 外	
	コノ サケ {ノメ / ノンヤー}.		
8	明日は家にいるか	聞き手は目上以 外	
	アシタ ウチニ {オル / イリヤースカ / オリヤースカ}.		
9	明日は祭りに行くか	聞き手は目上以 外	
	アシタワ マツリニ {イキヤースカ / イクカ}.		
10	【お前】は食べたか	聞き手は目上以 外	
	オマエー {クッタカ / クヤータカ}.		

5.8 待遇

ID	翻訳用例文		
10	【お前】は食べたか アンタ タベヤータカ.	聞き手は目上以外	
11	【X】は新聞をお読みになった アノ ヒトワ シンブン ヨンヤータニ.	聞き手は目上以外	話題の人物が目上
12	【X】は明日は家にいらっしゃる アノ ヒトワ アシタ {ゴザルニ / オリヤースニ / イリヤースニ}.	聞き手は目上以外	話題の人物が目上
13	【X】は明日祭りにいらっしゃる アノ ヒト アシタ マツリニ {イカッセルニ / イキヤース}.	聞き手は目上以外	話題の人物が目上
13	【X】は明日祭りにいらっしゃる アノ ヒト アシタ マツリニ ミエマスカ .	聞き手は目上以外	話題の人物が目上
14	【X】はご飯を召し上がった アノ ヒトワ ゴハンオ {クワッセタ / クワセタ / タベヤータ / クヤータ}.	聞き手は目上以外	話題の人物が目上
15	【Y】は新聞を読んだ Yワ シンブンオ ヨンダ 《ニ》.	聞き手は目上以外	
16	【Y】は明日家にいる Yワ アシタ ウチニ オル 《ニ》.	聞き手は目上以外	
17	【Y】は明日祭りに行く Yワ アシタ マツリニ イク 《ニ》.	聞き手は目上以外	
18	【Y】はご飯を食べた Yワ ゴハンオ {タベタ 《ニ》 / クッタ 《ニ》}.	聞き手は目上以外	

5.8 待遇

ID	翻訳用例文		
19	私は今から新聞を読みます	聞き手が目上	
	ワシワ イマカラ シンブン ヨマセテモラエーマス.		
20	私は明日は家にいます	聞き手が目上	
	ワシワ アシタワ ウチニ オリマスデ.		
21	私は明日は祭りに行きます	聞き手が目上	
	ワシワ アシタワ マツリニ イキマスデネ.		
22	今日は寒いですね	聞き手が目上	
	キョーワ サブイーナモ.		
23	私は今から新聞を読む	聞き手が目上以外	
	ワシワ イマカラ シンブンオ ヨムデナー.		
24	私は明日は家にいる	聞き手が目上以外	
	ワシワ アシタ イエニ { オル 《デ》 / オルデ エーカ }.		
25	私は明日は祭りに行く	聞き手が目上以外	
	ワシワ アシタワ マチュリニ { イクデ / イクデ エカ }.		
26	今日は寒いね	聞き手が目上以外	
	キョーワ サブイーナー .		
27	むこうに行きやがれ	聞き手をののしる	
	アッチ イッテマエー.		
27	むこうに行きやがれ	聞き手をののしる	
	ムコエー イッテマエー.		

5.8 待遇

ID	翻訳用例文		
28	あいつがいらんことしやがった		話題の人物を ののしる
	アエーツカ° イランコト シヤガッタンダワ .		

5.9 文タイプ

ID	翻訳用例文
1	俺のおやじは毎晩酒を飲む。
	オレノ オヤジワ マエーバン サケ ノンドル.
2	俺のおやじは怖い。
	オレノ オヤジワ オソカ° エー.
3	俺のおやじは昔は怖かった。
	オレノ オヤジワ ムカシワ オソカ° エーカッタナー.
4	俺のおやじは相変わらず元気だ。
	オレノ オヤジワ アエーカワラズ ゲンキヤーナー.
5	俺のおやじは昔は元気だったけど、このごろ病気がちだ。
	オレノ オヤジワ ムカシワ ゲンキヤッタ ケンドー コノコ° ロワ ビョーキカ° チジャ.
6	俺のおやじは医者だ。
	オレノ オヤジワ イシャヤー.
7	俺のおやじは医者だった。
	オレノ オヤジワ イシャヤッタ.
8	君のお父さんは毎晩酒を飲むの？
	オマエーサンノ {オトーサンワ / オトツツァンワ} マエーバン サケ ノムノ？
9	うわさで聞いたけど、君のお父さんは怖いの？
	ハナシニ キートツタケンドー オマエーサンノ オトツツァンワ オソカ° エーノ？
10	君のお父さんは今は優しいそうだけど、昔は怖かったの？
	オマエーサンノ オトツツァンワ イマワ {ヤサシソーヤカ° / ヤサシソーヤケドー} ムカシワ オソカ° エーカッタノ？

5.9 文タイプ

ID	翻訳用例文
11	君のお父さんは元気？ オマエーサンノ オトツツァンワ ゲンキカエー？
12	お見舞いにいったそうだけど、君のお父さんは元気だった？ オツマエーニ {イキヤータラシーカ° / イキヤータソーヤカ° / イキヤー タラシーケドー} オマエーサンノ オトツツァンワ ゲンキヤッタカエー？
13	友達から聞いたんだけど、君のお父さんは医者なの？ ツレカラ キータケンドー オマエーサンノ オトツツァンワー イシャ カエー？
14	友達から聞いたんだけど、君のお父さんは医者だったの？ ツレカラ キータンヤケドー オマエーサンノ オトツツァンワー イシャ ヤッタノ？
15	君のお父さんは毎晩酒を飲むでしょ？ オマエーサンノ オトツツァンワー マエーバン サケ ノンドルヤロ？
16	君のお父さんは酒は飲まないでしょ？ オマエーサンノ オトツツァンワ サケワ {ノマンノヤナエーカ / ノンヤ セ ンノヤナエーカ}？
17	君のお父さんが酒を飲むかどうか知らない。 オマエーサンノ オトツツァッカ° サケオ ノムカ ドーカワ シラン.
18	君のお父さんが怖いかどうか知らない。 オマエーサンノ オトツツァッカ° オソカ° エーカ ドーカワ シラン.
19	君のお父さんが元気かどうか知らない。 オマエーサンノ オトツツァッカ° ゲンキカ ドーカワ シラン.
20	君のお父さんが医者かどうか知らない。 オマエーサンノ オトツツァッカ° イシャカ ドーカワ シラン.

5.9 文タイプ

ID	翻訳用例文
21	一升瓶があるけど、誰が酒を飲むの？
	イッショービンカ° アルケンドー ダレカ° サケノマエスノ？
22	先生の中では誰が一番怖いの？
	センセーノ ナカデワ ダレカ° イチバン オソカ° エーノ？
23	先生の中では誰が一番怖かったの？
	センセーノ ナカデワ ダレカ° イチバン オソカ° エーカッター？
24	同級生の中で誰が一番元気なの？
	ドーキューセーノ ナカデワ ダレカ° イチバン ゲンキヤノ？
25	同級生の中で誰が一番元気だったの？
	ドーキューセーノ ナカデワ ダレカ° イチバン ゲンキヤッタノ？
26	医者になった人がいると聞いたけど、誰が医者なの？
	イシャニ ナッタ ヒトカ° オルト キートッタカ° ダレカ° イシャヤノ？
27	この村で医者になった人がいたと聞いたけど、誰が医者だったの？
	コノムラデ イシャニ ナッタ ヒトカ° オッタト {キートッタカ° / キータケンドー} ダレカ° イシャヤッタノ？
28	俺は、おやじが何を飲むか知らない。
	オレワ オヤジカ° ナニオ {ノムカ / ノンドルカ} シラン.
29	俺は、おやじが何を飲むか知っている。
	オレワ オヤジカ° ナニオ ノムカ シットル.
30	おやじは酒を飲むかなあ。
	オヤジワ サケオ ノムカエーナー.

5.9 文タイプ

ID	翻訳用例文
31	おやじは酒を飲んでいたかなあ。
	オヤジワ サケオ ノンヨーッタカエーナー.
32	おやじは何を飲むかなあ。
	オヤジワ ナニオ ノムカエーナー.
33	おやじは何を飲むんだっけかなあ。
	オヤジワ ナニオ ノミヨーッタカエーナー.
34	酒にうるさいおやじがこんなまずい酒を飲むだろうか。
	サケニ ウルセー オヤジカ° コンナ アジナエー サケオ ノムカエーナー.
35	誰がこんなまずい酒を飲むだろうか。
	ダレカ° コンナ アジネー サケ ノムカエーナー.
36	おい、ぐずぐずせずに早く飲め。（兵隊の上官が部下たちに）
	オイ、グズグズ シトラズニ ハヨ ノメ.
37	お茶を入れたので、飲んでね。（訪ねてきた息子の友達に）
	オチャ イレタデー ノンヤー.
38	お茶を入れたのでどうぞお飲みください。（旅館の主人がお客さんに）
	オチャ イレタンデー ドーゾ ノンデ チョーダエー.
39	ここにきて一緒に酒を飲もうよ。
	ココエ イリヤー イッシヨニ サケ ノモマエー.

5.10 活用

ID	翻訳用例文
1	私は、寝ると必ず夢を見る。
	ワシャー ネルト イツモ ユメオ ミルワ ナモ.
1	私は、寝ても夢を見ない。
	ワシャー ネテモ ユメワ ミーヘンワ.
2	私はこのところ毎日変な夢を見る。
	ワシャー コノゴロ ンヤーニチ ヘンナ ユメオ ミルワ ナモ.
2	私は最近ぐっすり眠れていて、夢は見ない。
	ワシャー チカゴロ ヨー ネットッテ, ユメワ ミーヘンワ ナモ.
3	今日はもう疲れたから、宿題は明日見るよ。
	キョーワ {クタビレタデ / エリヤーデ}, {シュクデャー ~ シュクダエー} ワ アシタ {ミタマスワ / ミルワ} ナモ.
3	宿題は今日は見ないよ。
	キョーワ シュクデャー {ミーセン / ミーヘン}.
4	芝居に出ることはあっても、見はしない。
	シビャーニ デルケンド, ミーセンワ ナモ.
5	昨日変な夢を見た。
	{キンノー ~ キンニョー} {ヘンナ / カワッタ} ユメオ {ミタ / ミタギャー}.
5	昨日は珍しく夢を見なかった。
	キンノーワ メズラシク ユメオ {ミナンダ / ミーヘナンダ}.
6	小さい頃はよく変な夢を見た。
	{チッチャー / チッサー} コロワ ヨー カワッタ ユメ ミタワ.

5.10 活用

ID	翻訳用例文
6	今はときどき夢を見るけど、昔は全然見なかった。
	イマワ ユメオ ヨー ミルケド, ムカシワ {ミナンダ / ミーヘナンダ}.
7	よし、明日は芝居を見よう。
	ワシャー アシタ シビヤーオ ミヨーカナ.
8	一緒に芝居を見よう。
	イッショニ シビヤーオ {ミヨマイ / ミヨンヤー}.
9	今日も嫌な夢を見るだろう。
	キョーモ イヤナ ユメオ ミルヤロナー.
9	今日は夢を見ないだろう。
	キョーワ ユメオ ミーヘン {ヤローナー / ヤロナー}.
10	もう一度あの景色が見たい。
	モーイッキヤー アノ ケシキガ {ミテヤー / ミテヤーワナモ}.
11	花子の宿題ばかり見ないで、たまには太郎の宿題も見ろ！
	ハナコノ シュクデヤー バッカリ {ミトラント / ミトッタランデ}, タマニ タローノ シュクデヤーモ ミタリヤー.
12	(太郎のためにならないから) もう太郎の宿題は見るな！
	モー タローノ {シュクデヤー ~ シュクダエー} ミヤースナ.
13	私は芝居みるけど、お前も見る？
	ワシャー シビヤー ミルケンド, {オンヤー / オンヤーサン / オマハン / オマ サン} モ {ミヤースカ / ミリヤースカ}？
14	お前はなんで芝居を見るの？
	オンヤーワ ナンデ シビヤー ミヤースカ？

5.10 活用

ID	翻訳用例文
15	あまり歌舞伎は見ないの？ アツマリ カブキ {ミーヘン / ミーセン} キャー？
16	私は毎週末芝居を見ます。 ワシャー マイシュー シビヤーオ ミルワ ナモ.
17	あなたがよく見る芝居って何？ {オマエハン / オマサン} ヨー ミル シビヤーワ ナンヤ ナモ？
17	普段は見ない芝居を見ている。 イツモ {ミーセン / ミトレン} シビヤーオ ミトル.
18	昨日見たテレビに、太郎が出ていた。 キンノー ミトッタ テレビニ タローガ デテリヤータ.
18	昨日見なかった宿題を見てあげるよ。 キンノー ミナンダ {シュクダイ ~ シュクダエー} キョー {ミトツタル / ミタルヨ}.
19	芝居を見て、（そして）ご飯を食べに行った。 シビヤーオ ミテ, ホーシテ ゴハンオ クイニ イッタ.
20	漫才を見て笑った。 マンザエーオ ミテ ワラッタワ ナモ.
22	ここから見れば、遠くまで見られるだろう。 コツカラ {ミリヤー / ミヤー} トウェー トコロ マデ ミエルワ ナモ.
23	その芝居を見たら、すぐに内容を教えてね。 ソノ シビヤー {ミタラ / ミヤータラ}, ワシニモ オシエテ.

5.10 活用

ID	翻訳用例文
24	太郎は先生を見ると、いつも逃げる。 タローワ センセーオ ミタラ, {ニゲテ キャース / ニゲ ヤース}.
25	太郎は先生を見ると、すぐに逃げた。 タローワ センセーオ ミルト, スグ ニゲ ヤータ.
26	朝日を見るなら、あの丘の上に登ればいいよ。 アサヒオ ミルン ヤッタラ, アノ オカノ ウエニ {ノボリヤー / ノボリヤースト} {エーヨ / エー ワ ナモ}.
27	早くあの映画を見ないと、もう見られないよ。 ハヨー アノ エーガオ {ミンヤート / ミント}, {ミレン / ミレーセン / ミラレン} ヨーニ ナルワ ナモ.
28	(本当は母親にみてほしい子供に) 私がかわりに宿題を見るけど、それでいい? ワシャー カワリニ シュクデヤーオ {ミタルケンド / ミタマスケンド}, ホンデ エーキャ?
29	鞆の中を見ても、何も見つからないだろう。 カバン ナカ ミテモ, ナツモ ミツカレヘン {ワナモ / ヤロカ}.
30	いってくれれば私が宿題を見るのに、なんで言ってくれないの。 イッテ クレリヤー ワシガ シュクデヤ ミルニ, ナンデ {イワナンダ / イヤーセンノ}?
31	いつもお前が宿題を見るから、花子は自分で宿題をしなくなった。 イッツモ オマハンガ シュクデヤーオ {ミルデ / ミルモンデ}, ハナコワ ジブンデ ヤレヘン ヨーニ ナッテ マッタ.
32	テレビを見ながら、ご飯を食べるな。 テレビオ ミナガラ ゴハンオ クーナ.
33	授業中にいつも先生にノートを見られる。 {ジギョー ~ ジュギョー} チューニ イッツモ センセーニ ノートオ ミラレテマウ.

5.10 活用

ID	翻訳用例文
34	(芝居を見るのは嫌と言っている娘に) 無理やり芝居を見させる。
	ムリヤリ ムスメニ シビヤーオ ミサセル.
35	普段は見ない芝居を見ている。
	イツツモ ミーヘン シビヤーオ {ミトルワ / ミトル}.
36	花子はもうその芝居を見ている。
	ハナコワ モー ソノ シビヤーオ {ミテリヤータ / ミリヤータ / ミヤータ}.
	花子はアメリカに三回行っている。
	ハナコワ アメリカエ サンキヤーモ イキヤータ.
37	先生は毎週末芝居を見られる。
	センセーワ シビヤーオ ミヤース.
38	朝早く起きれば、日の出が見られるよ。
	アサ ハヨー オキヤー, ヒノデガ {ミレルヨ / ミレルワ ナモ}.
39	最近は(芝居ではなく)映画を見るようになった。
	サイキンワ シビヤーヨリ エーガ {バッカ ミトルワ ナモ / オ ミルヨーニ ナッタ}.
40	太郎は足が速い。
	タローワ アシガ ハヤエー.
40	次郎はあまり足が速くない。
	ジローワ アシガ {ハヤ ンヤー / ハヤ ナイ / ハヨ ナイ}.
41	昔は私も足が速かった。
	ムカシワ ワシモ アシガ ハヨカッタ.

5.10 活用

ID	翻訳用例文
42	あの馬はきっと足が速いだろう。 アシガ {ハヤエー / ハヤイ} ヤローナ.
43	足が速い人がうらやましい。 アシガ ハヤエー ヒトガ ウラヤマシー.
44	足が速かった友達は、人気者だった。 アシガ {ハヤカッタ / ハヨカッタ} トモダチワ ニンキモノ ダッタ.
45	太郎は足が速いので、とても追いつけない。 タローワ アシガ ハヤエーデ, オイツケヘンワ ナモ.
46	もっと足が速ければ、あいつに追いつけるのに。 モット アシガ {ハヤケリヤー / ハヨケリヤー} アイツニ オイツケレルニ.
47	あの選手は足が速くて、守備もうまい。 アノ センシュワ アシガ ハヤエーシ, シュビモ {ウンヤー / ウンヤー ガナ}.
48	練習すれば、足は速くなる。 レンシュウ シヤー アシモ ハヤ {ナル / ナルワ ナモ}.
49	もっと速く走れ！ モット ハヨ ハシリヤー!
50	このあたりはとても静かだね。／今住んでいるところは、あまり静かではない。 コノ ヘンワ トッテモ シズカヤネー / イマ スンドル トコワ アツマリ シズカヤナイ.
51	昔は、このあたりはとても静かだった。 ムカシワ コノ アタリワ トッテモ シズカヤッタ.

5.10 活用

ID	翻訳用例文
52	(外はうるさいけれど) 家の中に入れば、きっと静かだろう。
	イエナカニ ハイレバ キット シズカヤロー.
53	静かなところに住みたい。
	シズカナ トコロニ スミタイ.
54	さっきまで静かだった部屋が、(子どもがやってきて) うるさくなった。
	サッキマデ シズカヤッタ ヘヤガ ウルサナッタネー.
55	(住むところを探していて) 周りがもう少し静かなら、言うことないのに。
	マワリガ モスコシ シズカヤッタラ ユーコトナイノニネー.
56	このあたりは静かなので、過ごしやすいだろう。
	コノ ヘンワ {シズカヤデ / シズカダデ} スゴシヤスイヤロナー.
57	このあたりは、静かで、景色もよくて、最高だ。
	コノヘンワ シズカヤシ ケシキモ エーデ サイコーヤワ.
58	騒がしい子どもでも、先生が注意すれば、静かになる。
	サワガシー コデモ センセーガ {チューイシヤー / チューイスリヤ} シズカ ンナルワー.
59	静かに話す。
	シズカニ ハナス.
60	太郎は学生だ。／太郎は学生ではない。
	タローワ ガクセーヤワー / タローワ ガクセーヤナイヨ.
61	去年まで太郎は学生だった。
	ガクセーヤッタデショ.

5.10 活用

ID	翻訳用例文
62	太郎はまだ学生だろう。
	マダ ガクセーヤッタト モウヨ.
62	太郎はまだ学生だろう。
	マンダ ガクセーヤロー.
63	今も学生である友達と会った。
	イマモ ガクセーヤットル トモダチト アッタ.
64	去年まで学生だった友達と明日会う。
	キョネツマデ ガクセーヤッタ トモダチト アウ.
65	もし太郎が学生なら、この仕事は頼めない。
	モシ タローガ ガクセーヤッタラ コノ シゴトワ {タノメーヘン/[古]タノメーセン}.
66	太郎は学生なので、この仕事は頼めない。
	タローワ {ガクセーヤデ/ガクセーヤカラ/ガクセーヤモンデ/*ガクセーダデ} コノ シゴトワ タノメヘンワ.
67	太郎は学生で、花子は会社員だ。
	タローワ ガクセーデ アノコワ カイシャインダ.
68	この4月から専門学校の学生になる。
	タローワ コノ シガツカラ セツモンガッコーノ ガクセーニ ナルンヤワー.

5.11 形容詞述語

ID	標準語例文
1	今日は暑いね
	キョーワ アツツイ ナモ.
2	太郎は若い。
	タローワ ワキヤー.
3	次郎じゃなくて、太郎が若いんだよ。
	ジローヨリ タローガ ワキヤーデ エーナモ.
4	今日はやけに太郎が明るいな。
	キョーワ イヤニ チョーシガ エー ナモ.
	今日は雨がよく降るなあ。
	キョーワ ヨー フル ナモ.
5	太郎が若かったらいいのになあ。
	タローガ ワカカッタラ {エーナモ / エーギヤー}.
6	(俺は) おなかが痛い
	ワシャー ハラガ {イタエー / イテヤー}.
7	太郎は背が高いけど、次郎は背が低い。
	タローワ セガ タツキヤー ケンド, ジローワ セガ ヒックイ ナモ.
8	太郎は暑い or 太郎は暑そうだ
	タローワ アツツイ ヤロ マイ カナ.
8	太郎は暑い or 太郎は暑そうだ
	タローワ アツツソーヤ ナモ.

5.11 形容詞述語

ID	標準語例文
9	（「暑い？」ときかれて）うん，暑い。
	ホーヤ ナモ，{アツツイナモ / アツツイギャー}.
10	今日は昨日より暑い
	キョーワ キンンヨーヨリ アツツイ ナモ.
11	このところ，暑くなったねえ
	イマントコロ {アツ / アツー} {ナッタナモ / ナッタギャー}.
12	今日の暑さは耐えられない
	（無回答）
13	（いつもは涼しいのに）今日は暑い。
	イツツモ {スズシーニ / スズシーケンド} キョーワ アツツイ ナモ.
14	砂漠は暑い。
	サバクワ アツツイ ナモ.
14	砂漠は暑い。（推測）
	サバクワ アツツソーヤ ナモ.
15	この花はきれい{だ / な}
	コノ ハナワ キレーヤ ナモ.
16	あなたの髪は白々としている
	オマハンノ カミワ シロジロ シトル ナモ.
17	去年はいいこともわるいこともあった
	キョネンワ エー コトモ {ワルイー ~ ワリー} コトモ アッタ.

5.11 形容詞述語

ID	標準語例文
18	天気がいい/わるい。
	ヨーキガ エー / ワルイー.
19	大きな人も小さな人も、どちらも必要だ
	{オッキー～オーキー}{ヒトントラーモ / ヒトンターモ} チーサエー {ヒトントラーモ / ヒトンターモ} ドッチャモ イルワ ナモ.
	あの人は小さい
	アノ ヒトワ チッチャー ナモ.
	あの人は大きい
	アノ ヒトワ オッキー ナモ.
21	(外に出たときに、予想外に暑いのに気づいて思わず) 暑い！！
	アツツイ!
22	水がほしい
	ワシー ミズガ {ホシーギャー / ホシーナモ}.
	水が飲みたい
	ミズオ ノミテャー ナモ.
23	足が痛い／痛む
	アシガ イテャー.

5.12 名詞述語

ID	翻訳用例文
1	明日は休みだ
	アシタワ ヤスミヤ.
2	明日は休みだよ
	アシタワ ヤスミヤ《ワ》ナモ.
3	あ、雨だ
	アメヤ ナモ.
4	雑巾だか手ぬぐいだかを持っている
	(無回答)
5	雑巾だかなんだかを持っている
	ゾーキンカ ナンカ ワカラン モン モッテリヤース.
5	雑巾だかなんだかを持っている
	ゾーキンカ ナンカ ワカラン モン モットル. (断定)
6	これがないかわからない
	コリヤー {ナンジャー/ナンヤ} {ワカラヘン/ワカレヘン/ワカラセン/ワカレセン/ワッカーヘン/ワッカーセン}.
	これはなんだろうね
	コリヤー ナンジャロ ナモ.
	これはなんですか
	コリヤー ナンジャエー.
7	私は先生だった
	ワシャー センサー {ヤッタワイ/ヤッタギヤー}.

5.12 名詞述語

ID	翻訳用例文
8	ここは以前畑だった
	ココワ モトワ ハタケ ヤッタ 《ワ》 ナモ.
9	私は先生でなかった
	ワシャー センセーヤ ナカッタ.
9	私は先生でなかった
	ワシャー センセーヤ ナカッタ ワー.
10	ここは以前畑でなかった
	ココワ モト ハタケヤ ナカッタ.
11	私は先生ではなかった
	ワシャー センセーヤ ナカッタ.
12	(注文の際に) じゃあ, おれはうなぎ。
	ワシャー ウナギ.
13	私は男(女)だ
	ワシャー {オトコヤギャー / オトコヤガナモ}.
14	この人は先生である人だ。
	コノ ヒトワ センセーヤガナモ.
15	(2人の孫の写真を見せながら) 先生である孫はこっちで、牛飼いである孫はこっち
	センセーオ ヤットル マゴワ コッチ, ウシカイオ ヤットル マゴワ コッチ ヤ ギャー.
16	私には車が2台ある／私は車を2台持っている
	ワシャー クルマ ニダエー モットルワイ.

5.12 名詞述語

ID	翻訳用例文
17	(駅のロータリーで)今日はタクシーがいっぱいいるねえ キョーワ タクシー {イッピーヤー / ギョーサン / ヨーケ} オルナモ.
18	あそこに故障したタクシーがある。 アソコニ コワケタ タクシガ アル.
19	あそこの広場に馬がいる アソコノ ヒロバニ ウマガ オルワナモ.
20	今日は家に孫がいる キョーワ ウシニ マゴガ オルワナモ.
21	(駅のロータリーで)今日はタクシーがあまりいないねえ。 キョーワ タクシーガ アンマリ {オランワナモ / オレセンワナモ}.
22	あそこに故障したタクシーがあったけど、もうないねえ。 アソコニ {イゴカン / コワケタ} タクシーガ オッタケド, イマ {オレセン / オレヘン}.
23	あそこの広場には馬がない アソコノ ヒロバニワ ウマガ オレセン.
24	今日は家に孫がない キョーワ ウチニワ マゴガ オレセン.
25	弟は明日帰ってくる予定だ。 オトートワ アシタ キャーッテ クル {ヨテヤーガナモ / ヨテヤーワナモ}.

国立国語研究所共同研究

日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成

方言の記録と継承による地域文化の再構築

愛知県木曽川方言調査報告書

2019年3月20日 発行

編集 青井隼人・木部暢子

発行 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所

〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2

TEL. 042-540-4300（代表）

<http://www.ninjal.ac.jp>

© 国立国語研究所

Endangered Languages and Dialects in Japan

Research Report on Kisogawa Dialect



Edited by
AOI Hayato
KIBE Nobuko
March 2019